仕様書

Ⅰ 工事概要

1．工事名称　とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場　増築工事

2．工事場所

地名	富山市　地内	敷地面積	5,320.90　m2
都市計画区域	(内)・市街化区域・(市街化調整区域)・その他）・外		
用途地域	指定なし	防火地域	指定なし
構造	既存：鉄筋コンクリート造、増築：鉄骨造	階数	2階建
建築面積	2,963.10　m2	延べ面積	3,813.84　m2
建築物の用途（建築基準法）			卸売市場
耐火建築物の分類	耐火建築物(・イ・ロ－１・(ロ－２)・その他		
屋根仕上	ボルトレス長尺折板葺　二重折板断熱工法　超耐候性調板t=0.8+0.6		
外壁仕上	押出成形セメント板t=60　厳粘り　フッ素樹脂塗装（工場塗装）仕上		
最高高さ	10.10 m　最高軒高さ 9.80 m	居室床高さ	20 cm
基礎形式	独立基礎	地盤の設計長期許容支持力度	300 KN/m2
垂直積雪量	2.0m		

耐震安全性の分類（官庁施設の場合準位・対津波計画基準）	構造体	・Ⅰ類　・Ⅱ類　・Ⅲ類（重要度係数　・1.5　・1.25　・1.0）
	建築非構造部材	・A類（出入口扉除く）　・B類
	建築設備	・甲類　・乙類

3．建物概要

4．工事範囲

Ⅱ 建築工事仕様

1．共通仕様

（1）図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「標仕」という。）による。

（2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、各々の工事仕様書を適用する。

2．特記仕様

（1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、◇印の付いたものを適用する。
　⊙印の付かない場合は、＊印の付いたものを適用する。
　⊙印と◎印の付いた場合は、夫に適用する。

（3）特記事項に記載の（　．　）内表示番号は標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（4）特記事項に記載の（　．　）内表示番号は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「改修標仕」という。）の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（5）特記事項に記載の（　．　）内表示番号は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書・同解説　令和4年版」（以下「解体共仕」という。）の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（6）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。（　）内は製品名等を示す。

章	項目	特記事項
① 一般共通事項	① 適用基準等	＊ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修　令和4年版） ・ 公共建築木造工事標準仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　令和4年版） ＊ 工事写真の撮り方　建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） 営繕工事写真撮影要領（令和3年版）・同解説（公共建築協会編集） 営繕工事写真撮影要領（平成28年版）による工事写真撮影ガイドブック（平成30年版） ・ 建築物解体工事共通仕様書・同解説　国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版） ・ ISO9001適用　建築工事施工管理要領（公共建築協会）
	② 工事実績情報サービス（CORINS）への登録	＊ 適用する　（「工事カルテ受領書」の写しを提出）　（1.1.4）
	③ 品質計画等	建築基準法に基づき指定する条件 ・地区の区分に応じた風速（Vo (m/sec)）　・ 30（富山市は30）　・ 32 ・地表面粗度区分　・ Ⅰ ・ Ⅱ ・ Ⅲ（富山市はⅢ）・ Ⅳ ・多雪地域の指定　積雪区分　建告示第1455号　別表（　）
	④ 電気保安技術者	＊ 適用する　（1.3.3）
	⑤ 施工条件	施工時間、工程、安全対策、工事用道路、仮設設備等は監督職員と協議する。（1.3.5）
	⑥ 設計GL	＊ 図示　・ 設計GL＝現状GL
	⑦ 発生材の処理等	・ 現場説明書による　＊ 構外搬出適切処理　（1.3.11） ＊ 舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収し、適正に処理する。 ＊ 運搬、処分委託契約書の写しの提出 ＊ マニフェスト管理一覧表の提出 ・ マニフェスト（E票）の写しの提出 ・ 引渡しを要するもの　（　　） ・ 再利用を図るもの　（　　） ・ 再資源化を図るもの　（　　） ・ 分別を図るもの　（　　） ・ 特別管理産業廃棄物の種類（　　） ・ 同上処理方法　（　　）
	⑧ 解体工事等	・ 再資源利用計画書等作成及び提出（電子データ） ・ 建設リサイクル法対象工事 ・ 特定建設資材廃棄物の種類： ・ 再資源化施設の場所：
	⑨ 環境への配慮	（1）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上げ塗料は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 設計図書に規定がない場合、（2）による「規定対象外」の材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は可塑性（フタル酸ジーn－ブチル及びフタル酸ジー2－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 （2）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③ 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④ 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

⑩ 材料の品質等		本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマーク表示のない材料及びその製造所等は、次の1）から6）の事項を満たすものとする。 一般財団法人公共建築協会の建築材料等評価名簿に記載のある材料は、その基準を満たすものとする。 1）　品質及び性能に関する試験データが整備されていること。（1.4.2） 2）　生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3）　安定的な供給が可能であること。 4）　法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること。 5）　製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6）　販売保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出し承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 また、製造所名、製品名等が記載された材料は、当該製品又は同等以上を使用するものとし、同等以上を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
⑪ 建築材料等		＊ 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上のものとする。 但し、同等以上とする場合は、監督職員の承諾を受ける。また、品質が同等以上であり価格が適正である場合には、以下のものを優先使用する。 ＊ 県内地場産品 ＊ 富山市グリーン購入調達方針に定めるもの ・ 本工事で使用する下記の品目については、公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針において優先利用グループに区分されている製品を利用する。

工種	品目	規格

ただし、その製品の入手が困難な場合は、監督員と協議し、通常製品（新材で製造された製品）へ変更できるものとする。

＊ 公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針に基づくグループ区分一覧は、富山県のホームページを参照すること。

・ 本工事は、「公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針」に基づき、パイロット工事として、下記の製品を利用する。

工種	品目	規格	製品名

⑫ 特別な材料の工法		雑仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。
⑬ 技能士		・下記の表による　・監督員との協議による　（1.5.2）

適用工事種別	技能検定の職種
仮設工事	・とび
土・地業工事	・ウェルポイント施工
鉄筋工事	・鉄筋施工　（　・鉄筋施工図作成作業　・鉄筋組立て作業）
コンクリート工事	・型枠施工　・コンクリート圧送施工
鉄骨工事	・鉄工（・構造物鉄鋼作業　・構造物原図作業）
ﾌﾟﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ工事	・ﾌﾟﾛｯｸ建築（ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾟﾛｯｸ工事作業）
押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事	・エーエルシーパネル施工
防水工事	・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ防水工事作業（・ﾄｰﾁ工法　・常温粘着工法） ・ｼｰﾄ防水工事作業　（・合成ｺﾞﾑ系　・塩化ﾋﾞﾆﾙ系） ・塗膜防水工事作業　（・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系） ・ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業　・ｾﾙﾌﾗﾝｼﾞ防水工事作業　・FRP防水工事作業
石工事	・石材施工（石張り施工）
タイル工事	・タイル張り
木工事	・建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金（・内外装板金作業　・ﾀﾞｸﾄ板金作業）・かわらぶき
金属工事	・内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）
左官工事	・左官　・樹脂接着剤注入施工
建具工事	・ｻｯｼ施工（ﾋﾟﾎﾞ用）　・ｶﾞﾗｽ施工　・建具製作（木製）　・自動ﾄﾞｱ施工
カーテンウォール工事	・ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ施工　・ｶﾞﾗｽ施工
塗装工事	・塗装（建築塗装作業）
内装工事	・床仕上げ工事作業　（・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系　・ｶｰﾍﾟｯﾄ系　・木質系） ・鋼製下地工事作業　・ﾎﾞｰﾄﾞ仕上げ工事作業 ・表装（・表具作業　・壁装作業）　・吹付硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱工事作業
ユニット及びその他工事	・ｶｰﾃﾝ工事作業　・化粧ﾌｫﾙﾑ工事作業
排水工事	・建築配管作業
錆装工事	・防面標示施工　（　・　溶融ﾍﾟｲﾝﾄﾊﾝﾄﾞﾏｰｶｰ　・　加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ）
超軟弱及び星上緩化工事工事	・造園
解体工事	・解体工事施工技士

⑭ 技術検査		＊富山市建設請負工事監督要領による。（1.6.2）
⑮ 化学物質の濃度測定		施工完了時に室内空気中の揮発性有機化合物等の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告書を提出する。（1.5.9） 室内濃度測定対象物質 ＊ホルムアルデヒド　＊トルエン　＊キシレン　＊エチルベンゼン　＊スチレン ＊パラジクロロベンゼン（学校施設について測定） ・フタル酸ジーn－ブチル　・アセトアルデヒド 測定する室　＊図示　測定箇所数　＊図示 測定方法　測定時期（　　）

分類	ホルムアルデヒド・アセトアルデヒド	その他の揮発性有機化合物
採取	ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着／溶媒抽出法	固相吸着／溶媒抽出法
分析	高速液体クロマトグラフ（HPLC）	ガスクロマトグラフ法

＊採取はパッシブ型採取機器により行う。

⑯ 完成図等		＊ 着工時製本　・ 原図版 3 部　＊縮小版 A3版 3 部　（1.7.13）（表1.7.1） ＊ 完成図製本（黒表紙）　・ 原図版 3 部　＊縮小版 A3版 3 部 ＊ 工事写真　＊ 保全に関する資料（ 3 部）　・ 施工図
⑰ 工事の記録等		工事の履行報告に当たり整備すべき工事写真については1章1項による。（1.2.4）

分類	撮影時	規格	部数	備考
工事書類	着工前 施工中 完成時	＊A4版縦使いとし、3枚/頁、綴長、ﾀｲﾄﾙを揃えること 写真の綴に記事欄を設け、補足説明を記入する	1部	デジタルカメラは130万～300万画素とする
製本	完成時	・背文字製本（黒表紙・金文字） ただし、撮影箇所数は監督員との協議による	1部	

⑱ 電子納品		以下に示す書類を電子納品する。 ＊ 完成図CADデータ（JWW・PDFデータ）　・ 工事写真　・ 施工計画書
⑲ 施工図等の取扱い		施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
⑳ 設備工事との取合い		設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。
㉑ 調査・試験に対する協力		公共工事労務費調査等の対象工事となった場合は、監督員の指示により必要な協力をしなければならない。

㉒ 施工機械		＊下記の建設機械を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき国土交通省で指定された建設機械を使用するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械に代えて、国土交通省で認定された排出ガス浄化装置を装着した建設機械についても、排出ガス対策型と同等とみなすものとする。 バックホウ、トラクタショベル、ブルドーザ、発動発電機、空気圧縮機、油圧ユニット類（油圧ハンマー、アースオーガ、アースドリル等）、ローラ類、ホイールクレーン等でエンジン出力7.5KW以上260KW以下のもの。
㉓ 下請関係の適正化		本工事を下請けに付す場合は、「建設工事の下請関係の適正化に関する留意事項」を遵守すること。
㉔ 個人情報の取扱い		「富山県土木工事共通仕様書」1－1－1－47個人情報取扱特記事項による。
25　高度技術・創意工夫社会性等の実施		受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完成時までに「富山市請負工事成績評定要領」に定める様式により提出することができる。
㉖　第三者賠償責任保険		受注者は、本工事の基礎工事、杭工事等による、地盤緩動、沈下、軟弱化等より生じた、工事区域に隣接する地上構造物に対する賠償責任を含む第三者賠償責任に加入しなければならない。 発注者、受注者相互間の交差責任特約（BOTH－WAY）を付帯すること。
㉗ 安全教育・訓練の実施		労働安全衛生法等に基づき行う日々の安全教育のほか、すべての作業員を対象に、工事現場に即した安全教育・訓練等を、月当たり1時間以上の頻度で実施するものとする。
28　特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置		＊ 本工事において、建設業法第26条第3項ただし書きの適用を受ける監理技術者（以下、「特例監理技術者」という。）の配置を行う場合は、以下の（1）から（5）の要件を全て満たすこと。 （1）　設計金額（税込）が1億円未満の工事であること。 （2）　営務する工事は、他の請負が発注する公共工事・民間工事を含め2件までとする。 （3）　24時間体制で応急処理や緊急巡回等が必要な工事でないこと。 （4）　特例監理技術者としての職務を適正に遂行できるよう営務できる工事現場は富山市内にあること。 （5）　低入札価格調査制度の調査基準価格に満たない価格をもって契約を締結した工事でないこと。 ＊ 監理技術者補佐は、監理技術者の職務を補佐する者として工事現場に専任で配置される技術者で主任技術者の資格を有する者のうち、一級施工管理技士補又は一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者である。 ＊ 本工事の監理技術者が特例監理技術者として営務することとなる場合、上記（1）から（5）の事項について確認できる書類を提出すること。 ＊ 本工事において、特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は直ちにコリンズ（CORINS）への登録を行うこと。
29　週休2日促進工事		本工事は、発注者が週休2日に取り組むことを指定する週休2日促進工事である。 工事の実施にあたっては、「営繕工事における週休2日促進工事実施要領」に基づくものとする。

② 仮設工事	① 足場等	内部足場　種別　・ 脚立、足場板等　（2.2.4） 外部足場　種別　＊ 枠組足場　・（さび緊結式足場　・ 単管本足場　・（　　） ＊ 枠組足場を設ける場合は「手すり先行工法に関するガイドライン」（厚生労働省，平成21年4月）により、設置については同ガイドラインに基づく働きやすい安心感のある足場とし、二段手すり中桟及び幅木の機能を有する部材があらかじめ備えられた手すり先行専用足場型とするか、又は改善措置機材を用いて手すり先行専用足場型と同等の機能を確保するものとする。 防護ｼｰﾄ等による養生 ＊ 設置する　・ 養生ｼｰﾄ　・ ﾈｯﾄ状養生ｼｰﾄ　・ 防音ｼｰﾄ　・ 防音ﾊﾟﾈﾙ　・（　　） ・ 設置しない 材料、搬去材等の運搬　・ A種　＊ B種　・ C種　・ D種　・ E種
	2　監督職員事務所等	・ 設ける（規模：　m2程度）設備・備品等：（・　　・ 監督員との協議による）（2.3.1）
	③ 工事用水	構内既存の施設　＊ 利用できない　・ 利用できる（＊ 有償　・ 無償）
	④ 工事用電力	構内既存の施設　＊ 利用できない　・ 利用できる（＊ 有償　・ 無償）
③ 土工事	① 埋戻し及び盛土	材料　・ A種　＊ B種　・ C種　・ D種　・ 建設汚泥から再生した処理土　（3.2.3）（表3.2.1）
	② 建設発生土の処理	＊ 現場内で処理 ・ 埋戻しに使用しない発生土　搬出先：　OO事業所　（3.2.5） （片道運搬距離　km　市　地内） ＊ 搬出先等が変更になった場合は、監督員と別途協議すること。
④ 地業工事	① 試験及び報告書	杭の支持力、支持層の位置及び土質、これらの試験方法は、構造特記仕様書及び構造図による。 試験の方法、報告書の記載事項は、国土交通省監修「敷地調査共通仕様書」による。 ・ 杭基礎　試験杭の位置（＊ 図示　・　）　（4.2.2） ・ 直接基礎　試験掘り（・ 行う　・ 行わない）　（4.2.1） ・ 地盤改良　六価クロム溶出試験　・行う　・行わない ・ 杭の載荷試験　試験方法：　・ 鉛直載荷試験（地盤工学会基準　JGS（　）による）（4.2.3） ・ 水平載荷試験（地盤工学会基準　JGS 1831による） 試験の位置、本数、載荷荷重：＊ 図示 ・ 地盤の載荷試験　試験方法　・ 平板載荷試験（地盤工学会基準　JGS 1521による）（4.2.4） 対象土質（・粘土質　・砂質　・図示）試験深さ（・GLより（　）m　・図示） 試験の位置、箇所数、載荷荷重（＊ 図示　・　）
	2　既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭地業	施工法　・ セメントミルク工法　・ 特定埋込杭工法　（4.3.1）（4.3.3～5） ・ 特定埋込杭工法（建築基準法に基づくもの）　（4.3.2）（表4.3.1） 種　類　・ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭） ・ 外殻鋼管付きコンクリート杭（SC杭）（鋼管材料　・ SKK400　・ SKK490） ・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭） 以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。　（4.3.3～8） 1）杭の性能、曲げ強度等による区分等 杭の寸法、継手の箇所数、杭先端部の形状、杭頭の処理等 2）セメントミルク工法におけるアースオーガーの掘削深さ及び杭の支持層への根入れ長さ 3）セメントミルク工法における根固め液及び杭周固定液の管理試験 4）特定埋込杭工法における杭の継手の工法（アーク溶接又は機械式継手の種別） 5）杭の水平方向の位置ずれの精度
	3　調杭地業	杭の種類　・調管杭（・SKK400　・SHK490）・H型調杭（・SHK400　・SHK490M）（4.4.3） 以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。　（4.4.5）（4.4.6） 1）杭の寸法、継手の箇所数と工法、杭先端部の形状、杭頭の処理等 2）打ち込み工法における杭の設計支持力及び推定支持力の算定方法 3）打ち込み工法におけるプレボーリングの掘削深さ及び径 4）杭の水平方向の位置ずれ及び精度
	4　場所打ちｺﾝｸﾘｰﾄ杭地業	堀削工法　・ アースドリル工法（・安定液使用　・無水堀削）　（4.5.1）（4.5.4～6） ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法（・揺動式　・全周回転式）（孔内の水張　・行う　・行わない） ・ 場所打ち調管コンクリート杭工法　・拡底杭工法（＊安定液使用　・　　） コンクリートの種別及び設計基準強度（Fc）（・A　・B）種かつ（　　）N/mm2 以上（4.5.5） 構造体強度補正値（S）　＊ 3N/mm2　スランプ値（　　） セメントの種類　＊ 高炉セメントB種 孔壁測定　・ 行う（測定方法：超音波測定器）　・ 行わない　（4.5.5）
	⑤ 砂利及び砂地業等	鉄筋の種類　5章鉄筋工事の鉄筋の種類による 以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による　（4.5.4）（表4.5.1） 1）鉄筋の種類及び加工組立、鉄筋かごの補強 2）調管部分の材料 3）杭の支持層への根入れ長さ及び水平方向の位置ずれの精度 砂利地業　種別（＊ 再生クラッシャラン　・ 切込砂利　・ 切込砕石）　（4.6.2）（4.6.3） 厚み（＊ 図示　・　） 砂地業　＊ 山砂　・ シルト　・ 川砂　・ 砕砂　厚み（＊ 図示　・　）
	⑥ 捨てコンクリート地業	厚み　＊ 図示　・ 50mm　（4.6.4）
	⑦ 床下防湿層	材料　＊ ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上　（4.6.2） 範囲　＊ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）　・ 図示　（4.6.5）
⑤ 鉄筋工事	① 鉄筋の種類	（5.2.1）（表5.2.1）

種類の記号	呼び名（mm）
・SD295	＊D16以下
・SD345	＊D19以上

	② 溶接金網	種類の記号、鉄線の形状、網目寸法及び鉄線の径は、構造図及び構造特記仕様書による　（5.2.2）
	③ 鉄筋の継手及び定着	呼び名19mm以上の柱、梁の主筋　＊ ガス圧接　・ 重ね継手　・ 機械式継手　・溶接継手 以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による　（5.3.4） 1）各種継手の適用箇所、性能、工法、鉄筋相互のあき等及び重ね継手の長さ、最小かぶり厚さ 2）鉄筋の定着の長さ、継仕5.3.4（5）（イ）の場合の折り曲げ定着の方法 3）機械式定着工法を適用する場合の適用箇所、種類 4）各種継手部の試験　（5.4.10）（5.4.11）
	④ 鉄筋の最小かぶり厚さ	最小かぶり厚さは目地底から算定する。　（5.3.5） ・ 耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施工箇所	継仕表5.3.6の値に加える寸法（mm）
柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面	＊10

	⑤ 各部配筋	＊ 構造特記仕様書及び構造図による。　（5.3.7）
	⑥ 機械式継手	適用箇所、性能、種類、工法、品質の確認方法及び不良となった継手の修正方法等は図示による。　（5.5.3）
⑥ コンクリート工事	① コンクリートの種類	コンクリートの種別　＊ Ⅰ類　・ Ⅱ類　（6.2.1～4）（表6.2.1～2） コンクリートの気乾単位容積質量による種類　＊ 普通コンクリート　・ 軽量コンクリート
	② ｺﾝｸﾘｰﾄの使用材料,施工条件,要求性能等による種類	コンクリートの使用材料、施工条件、要求性能等による種類

適用	種　類	適用箇所	特記事項
・	寒中コンクリート		適用期間（　　）
・	暑中コンクリート		構造体強度補正値（S）の値　＊6N/mm2　・
・	マスコンクリート		セメントの種類（　　） 混和材料（　　） スランプ（　　）
・	無筋コンクリート		スランプ（　）
・	流動化コンクリート		

・ 建築基準法第37条第二号の規定に基づき認定を受けたコンクリート　（6.2.1）
適用箇所（　　）

	③ ｺﾝｸﾘｰﾄの設計基準強度及びスランプ	コンクリートの設計基準強度及びスランプは、構造特記仕様書及び構造図による。（6.2.2）（6.2.4）
	④ 気乾単位容積質量	＊ 2.3t/m3程度　・　（6.2.3）
	⑤ コンクリートの仕上り	打放し仕上げ　種別　・ A種　＊ B種　・ C種　（6.2.5）（表6.2.4） 仕上りの平たんさ　種別　・ a種　＊ b種　・ c種　（6.2.5）（表6.2.5）
	⑥ セメントの種類	＊ 普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ又は混合セメントのA種　（6.3.1） 普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下かつ28日目で402J/g以下のものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。 ・ 高炉セメント　＊ A種　・ B種（適用箇所　＊ 図示　・　） ・ シリカセメント　＊ A種　・ B種（適用箇所　＊ 図示　・　） ・ フライアッシュセメント　＊ A種　・ B種（適用箇所　＊ 図示　・　） ・ 普通ｺﾝｸﾘｰﾄ（適用箇所　＊ 図示　・　）　・ 再生骨材H（適用箇所　＊ 図示　・　）
	⑦ 骨材の種類	アルカリシリカ反応性による区分　（6.3.1） ・ A（土と接する範囲・・・必要に応じ現場にて協議） ・ B（＊ コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m3 以下） ＊ 監督職員との協議による。（基礎以外） ・ ﾌｪﾛﾆｯｹﾙｽﾗｸﾞ骨材、銅ｽﾗｸﾞ細骨材及び電気炉酸化ｽﾗｸﾞ骨材（適用箇所　　）
	⑧ 混和材料	混和剤及び混和材の種類は、構造特記仕様書及び構造図による。　（6.3.1）（6.3.2）
	⑨ 構造体強度補正値	・ 構造体強度補正値（S）　＊ 継仕（表6.3.2）による。　（6.3.2） ただし、普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄを用いるｺﾝｸﾘｰﾄでは、以下の補正値適用期間を使用することができる。

打設日	7月14日～9月2日	3月10日～7月13日 9月3日～11月19日	11月20日～3月9日
補正値	6 N/mm2	3 N/mm2	6 N/mm2

	⑩ 養生期間	＊ セメントの種類が普通エコセメントの場合は、次による。　・（　　）日以上　（6.7.2）
	⑪ 型枠	打放し仕上　打増し厚さ（mm）　外部：＊ 20　・　内部：・ 10　・ 20　（6.8.1） 打増し範囲　＊ 図示による 以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。　（6.8.2～4） 1）打継の位置及びひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法、スリーブの材種・規格等 せき板の材料は、次による。 ＊ 合板（＊ 12mm　・　mm）　・ 床型枠用鋼製デッキプレート　・ メッシュ型枠 ・ 断熱材兼用型枠（適用個所及び品質等は、継仕19章9節　断熱・防露による） ・ MCR工法用シートの使用（打増し厚さ　・20mm　打増し範囲　・図示による） せき板、支柱の存置期間は、継仕（表6.8.2）、継仕（表6.8.3）による。 なお、セメントの種類が普通エコセメントの場合は、次による。

	存置期間中の平均気温	施工箇所 せき板の存置期間 基礎、梁側、柱、壁	支柱の存置期間 スラブ下	梁下
ｺﾝｸﾘｰﾄの材齢による場合（日）	15℃以上	・（　）以上	・（　）以上	・（　）以上
	5℃以上	・（　）以上	・（　）以上	・（　）以上
	0℃以上	・（　）以上	・（　）以上	・（　）以上
ｺﾝｸﾘｰﾄの圧縮強度による場合	—	圧縮強度が $5N/mm^2$ 以上となるまで	圧縮強度が設計基準強度（Fc）の85%以上又は12N/mm以上であり、かつ、施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全であることが確認されるまで	圧縮強度が設計基準強度以上であり、かつ、施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全であることが確認されるまで

工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺 A1：non A3：non	一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所 東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル 一般建築士事務所　登録（東京都）知事　第44606号 一般建築士登録　第190508号　大村　浩之	訂正事項　DATE　CHECK	図名　特記仕様書（1）
作成日	2024.2.26	確認			図番　A-002

⑦ 鉄骨工事

① 鉄骨製作工場
- 監督職員の承諾する製作工場 (7.1.3)
- 建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた（株）日本鉄骨評価センター及び鋼全国鉄骨評価機構（旧（社）全国離構工業協会）の「鉄骨製作工場の性能評価基準に定める「　　グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場

② 施工管理技術者 ＊適用する (7.1.3)（7.1.4）

③ 鋼材 鋼材の材質、形状・寸法、板厚方向に引張力を受ける鋼材の試験は構造特記仕様書（7.2.1）（7.2.10）及び構造図による。

④ 高力ボルト 以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。 (7.2.2)（7.4.2）
1）高力ボルトの種類、ねじの呼び及び建築基準法に基づき認定を受けた高力ボルトを使用する場合
2）すべり係数試験の実施、試験方法等

⑤ 普通ボルト ボルト及びナットの材料等、ねじの呼びは、構造特記仕様書及び構造図による。 (7.2.3)

⑥ 緯端距離、ボルト間隔、ゲージ等 以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。 (7.3.2)
高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの緯端距離、ボルト間隔、ボルト径、ゲージ等

⑦ アンカーボルト 以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。 (7.2.4)（7.10.3）（表7.10.1～2）
1）ｱﾝｶﾞﾙの材質・種類、ねじの公差ﾏﾗｽ、仕上げの程度、緯端距離、ｱﾝｶﾞﾙ間隔、ｹﾞｰｼﾞ等
2）構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状及び寸法
3）建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法

⑧ ターンバックル ターンバックルの種類、ねじ呼び等は、構造特記仕様書及び構造図による。 (7.2.6)

⑨ 床構造用ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ 以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。 (7.2.7)（7.7.8）
1）工法の種別
2）デッキプレートの材質、形状及び寸法
3）鉄骨部材への溶接方法
4）耐火認定の有無

⑩ スタッド スタッドの種類等は、構造特記仕様書及び構造図による。 (7.2.8)

⑪ 柱底均しモルタル 工法 ＊ A種 ・ B種　モルタル厚 ＊ 図示 (7.2.9)（7.10.3）（表7.10.2）

⑫ 工作図 ＊ 作成する （ｱﾝｶﾞﾙ等の緯端距離、ボルト間隔、ｹﾞｰｼﾞ等の記載を行うこと。） (7.3.2)
ただし 溶接工事等を含め、既存建築物と取合う箇所がある場合は、現場実測の上、作成を行う。

⑬ 鉄骨の仮組 ・ 行わない　・ 行う（仮組を行う範囲及び確認方法等は、図示による。） (7.3.10)

⑭ 溶接技能者の技術付加試験 試験の要領　・図示による (7.6.3)

⑮ 溶接接合 以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。 (7.6.4)（7.6.7）
1）開先の形状
2）スカラップの形状
3）鋼製エンドタブの切断する箇所及び切断範囲、切断面の仕上げ
4）低疲労高サイクル疲労を受ける部位

⑯ 溶接条件 入熱、パス間温度の溶接条件
適用箇所　・ 図示
・ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
・

鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 (7.2.5)

鋼材の種類	規 格	溶接材料	入 熱 (kJ/cm)	パス間温度 (℃)
400N 級炭素鋼	JIS Z 3211	引張強さ570MPa以上のものを除く	40 以下	350 以下
	JIS Z 3312	YGW-11, 15		
	JIS Z 3214	引張強さ570N/mm2以上のものを除く		
	JIS Z 3315	YGA-50W, 50P		
490N 級炭素鋼	JIS Z 3211	引張強さ570MPa以上のものを除く	40 以下	350 以下
	JIS Z 3312	YGW-11, 15	30 以下	250 以下
		YGW-18, 19		
	JIS Z 3214	引張強さ570N/mm2以上のものを除く	40 以下	350 以下
	JIS Z 3315	YGA-50W, 50P		
520N 級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, 19	30 以下	250 以下

ただし、下記の溶接条件以外による場合は、監督職員と協議する。
・400N級鋼のSTKR・BCR及びBCPの作業条件は、YGW-11, 15で入熱30KJ/cm以下、パス間温度250℃以下
YGW-18, 19での作業条件は入熱40KJ/cm以下、パス間温度350℃以下とする。
・490N級鋼のSTKR・BCPの作業条件は、YGW-18, 19で入熱30KJ/cm以下、パス間温度250℃以下とする。

⑰ 溶接部の試験 溶接部の外観試験 (7.6.12)
平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等
・「突合せ継手の良い違い仕口のずれの鉄骨・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による
・抜き取り検査① ＊抜き取り検査②
JASS 6 付則 6 【鉄骨精度検査基準】の付表3「溶接」に関する試験方法等
・JASS 10.4 【受入検査】 e.溶接部の外観検査（1）から（5）までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて項任7.6.13による補修を行い、再試験する。
完全溶込み部の超音波探傷試験 ＊ 行う ・ 行わない (7.6.12)
＊ 工場溶接の場合　AOQL ＊ 4.0%　・ 2.5%
検査水準 ＊ 第6水準　・ 図示
・ 工事現場溶接の場合　AOQL ＊ 4.0%　・ 2.5%

⑱ 錆止め塗装 塗装の範囲　耐火被覆材の接着する面: ＊ 図示 (7.8.2)
耐火被覆材の接着する面以外の面: ＊ 種仕7.8.2（1）による。 ・ 図示
塗装の種別　屋外 ＊ A種（JISK5674 1種）・ B種 (表18.3.1)
屋内 ＊ A種（JISK5674 1種）・ B種
耐火被覆が接着する面 ＊ 監督員との協議による。
工程　見掛かり（＊ A種 ・ B種）見隠れ（・ A種 ＊ B種）

⑲ 耐火被覆 材料 (7.9.2～8)

種 別		適用箇所	耐火性能（時間）
・ ラス張りモルタル塗り		・	・
・ 耐火材吹付け	・ 乾式吹付けロックウール	・	・
	・ 半乾式吹付けロックウール	・	・
	・ 湿式ロックウール	・	・
・ 耐火板張り	・ 繊維混入けい酸ｶﾙｼｳﾑ板	・	・
・ 耐火材巻付け	・ 高断熱ロックウール	・	・
・ 耐火塗料		・	・

⑳ 軽量形鋼構造 ボルトの接合方法は構造特記仕様書及び構造図による。 (7.11.2)

㉑ 溶融亜鉛めっき高力ボルト セットの種類　・ 1種（F8T）相当 (7.12.4)
摩擦面の処理　＊ ブラスト処理（表面粗度50μmRz以上）　・ リン酸処理
摩擦面の確認方法　・ 図示　・ 試験片によるすべり耐力試験

⑧ コンクリートブロック ALCパネル押出成形セメント板

1 補強ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ造及びｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ帳壁・塀
＊ 種仕表8.3.1及び下表による。 (8.2.2)（8.3.2）（表8.3.1）

	適用箇所	ブロックの種類	正味厚 (mm)	ｾﾞﾗﾝｺｰﾅﾙ呼び寸法 (mm) 長さ	高さ	化粧の有無
・ 補強ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ造		＊空胴ブロックC（16）	・120 ・150			・ 有 ・ 無
・ ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ帳壁・塀						

各部の配筋は、構造特記仕様書及び構造図による。 (8.2.5)（8.3.4）
モルタルの調合　・ A（08）　・ B（12）　・ C（16） (8.2.3)（8.3.3）
目地仕上げ　・ 押し目地仕上げ　・ 化粧目地仕上げ (8.2.7)

2 ALCパネル (8.4.2～5)（表8.4.2～4）

パネルの区分 用途	形状	表面加工	単位荷重 (N/m2)	厚さ (mm)	幅 長さ	耐火性能（時間）	耐火目地	ﾊﾟﾈﾙ幅 最小限度	構法の種別
・ 外壁用	・ 一般 ・ コーナー	＊ 平 ・ 意匠		・100 ・120	＊図示	・有（1） ・無	・ 適用する ・ 適用しない	＊300mm ・図示	・A種 ・B種
・ 間仕切壁用	・ 一般 ・ コーナー	＊ 平 ・ 意匠		・80 ・100	＊図示	・有（1） ・無	・ 適用する ・ 適用しない	＊300mm ・図示	・C種 ・D種 ・E種
・ 屋根版用	—	—		・100	＊図示	・有（0.5） ・無	・ 適用する ・ 適用しない	＊300mm ・図示	＊F種
・ 床版用		—		・100 ・150	＊図示	・有（ ） ・無	・ 適用する ・ 適用しない	＊300mm ・図示	

建築基準法に基づき定まる風圧力の（・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3）倍の風圧力に対応した工法
耐震性能（　　） (8.4.3)（8.4.4）
ﾊﾟﾈﾙ短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁ﾊﾟﾈﾙの出隅及び入隅のﾊﾟﾈﾙ接合部並びにﾊﾟﾈﾙと他部材との取合い部の目地幅（mm）　＊ 10～20　・ 図示による

3 押出成形セメント板（ECP） (8.5.2～8.5.4)（表8.5.1）（表8.5.2）

種 類	表面形状	厚さ (mm)	幅 (mm)	ｺﾝｸﾘｰﾄ充填	工 法	耐火性能	耐震性能
・ 外壁パネル	＊ F	・50	・60	・有 ・無	・A種 ・B種	・有り （　）	・有り
	・ D	・50	・60	・有 ・無			
	・ T		・60	・有 ・無			
・ 間仕切パネル	＊ F				・B種 ・C種	・有り （　） ・無し	・有り （　） ・無し
	・ D						
	・ T						

表面形状はJIS A 5441規格に基づく
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3）倍の風圧力に対応した工法
目地幅（mm）ﾊﾟﾈﾙ相互（ ＊ 長辺 10、短辺 15 ・ 図示） (8.5.3)（8.5.4）
出隅及び入隅のパネル接合目地幅（ ＊ 15 ・ 図示）
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 ・
パネルの開口寸法等の限度　＊メーカーの指定による　・図示

⑨ 防水工事

① アスファルト防水
防水層の種別 (9.2.2)（9.2.3）（表9.2.3～9）

種 別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量
・A－1			
・A－2			
・A－3			
・B－1			
・B－2			
・B－3			
・A1－1			
・A1－2			
・B1－1			
・B1－2			
・D－1			＊製造所の仕様による
・D－2			
・D1－1			
・D1－2			
・E－1			
・E－2			

⊙ ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ 種別：・ 改質ｱｽﾌｧﾙﾄ ⊙ 部分粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄ (9.2.2)
厚さ（mm）：・ 1.5以上 ⊙ 2.0以上
種類：＊ 種仕（表9.2.3）（表9.2.4）による
⊙ JIS A 6013に基づく種類材料構成区分：⊙R種 ・N種）
⊙ 押え金物　材質及び形状寸法：＊アルミニウム製L－30×15×2.0m
・ 断熱材 種類：・屋根保護防水断熱工法　＊押出ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種ｂA（ｽｷﾝ層付）・ 図示
・屋根露出防水断熱工法　・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材（・2種1号 ・2種2号）
（透湿係数を除くJIS A 9521の規格に準ずる）
厚さ（mm）：＊25 ・30
・ 絶縁用シート　材料：・ ポリエチレンフィルム（厚さ0.15mm以上）
・ フラットヤーンクロス（70g/m2程度）
・ 立上り部　断熱材の設置：　有　＊ 無 (表9.2.4)（表9.2.6）
絶縁シートの設置：・ 有　＊ 無
⊙ 保護層の施工　平場：⊙保護コンクリート　厚さ100mmⓒこて仕上げ ＊水上80mm以上(9.2.5)
・床タイル張仕上 ＊水上60mm以上
立上り部：・ 乾式保護材（材料 ・押出成形セメント板 ・金属複合板）(9.2.2)
・ コンクリート押え
・ モルタル押え
・ れんが押え（材料 ＊JIS R 1250 普通れんが及び化粧れんが）
・ 脱気装置　種類　＊製品所の指定（・ ｽﾃﾝﾚｽ製 ・ ｱﾙﾐ製 ・ 塩化ﾋﾞﾆﾙ製） (9.2.3)
設置数量 ＊製品所の指定　・1箇所/50m2 ・1箇所/（　）m2
⊙ 防水下地　平場：＊直均し仕上 ・モルタル塗り（適用箇所　　） (9.2.2)
立上り部：　＊種仕（表6.2.4）のB種
⊙ 屋上排水溝　＊図示による (9.2.5)
・ 絶縁断熱工法のﾙｰﾌﾊﾞﾝ四り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 (9.2.4)
＊ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の指定　・図示による

2 改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ防水
防水層の種別 (9.3.2)（9.3.3）（表9.3.1～3）

種 別	施工箇所	防湿用シートの設置	仕上塗料の種類
・AS－T1			
・AS－T2			
・AS－T3			
・AS－T4			
・AS－J1			
・ASI－T1			
・ASI－J1			

＊ アスファルトは低整、低臭タイプとし、改良無機鉱を使用する。 (9.3.2)
・ ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ　・ 改質ｱｽﾌｧﾙﾄ　・ 粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄ　・ 部分粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄ
種類・厚さ：＊種仕（表9.3.1～表9.3.3）による　・図示
・ 脱気装置　種類　＊ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の指定 (9.3.3)
設置数量 ＊ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の指定
・ 断熱材 種類：＊押出ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種ｂA（ｽｷﾝ層付）・ 図示
・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材（・2種1号 ・2種2号）
（透湿係数を除くJIS A 9521の規格に準ずる）
・ 押え金物　材質及び形状寸法：＊アルミニウム製L－30×15×2.0m
・ 仕上塗料　使用量：＊製造所の仕様による

3 合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水
防水層の種別 (9.4.2～4)（表9.4.1）（表9.4.2）

種 別	施工箇所	仕上塗装種類	使用分類
・S－F1			・ 軽歩行
・S－F2			＊ 非歩行
・S－M1			・ 軽歩行
・S－M2			＊ 非歩行
・S1－F1			
・S1－F2			
・S1－M1			
・S1－M2			

・ ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ　種類・厚さ：＊種仕（表9.4.1～3）による (9.4.2)
・ 固定金具　材質：＊防錆処理した鋼板、ｽﾃﾝﾚｽ鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を被覆加工したもので、厚さ0.4mm以上のもの
厚さ（mm）＊0.4以上　・
・ 可塑剤移行防止ｼｰﾄ（SI－M2）＊発泡ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝｼｰﾄ
・ 断熱材　種類：＊押出ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種ｂA（ｽｷﾝ層付）・ 図示
・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材（・2種1号 ・2種2号）
（透湿係数を除くJIS A 9521の規格に準ずる）
厚さ（mm）：＊25 ・30
・ 仕上塗料　使用量：＊製造所の仕様による
・ 防湿ﾌｨﾙﾑ（SI－M1・2）・設置する ・設置しない (表9.4.2)
・ 脱気装置　種類　＊ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の指定 (9.4.3)
設置数量 ＊ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の指定
＊ シート防水の取り扱いと注意事項の貼り付け（400×600以上）
・ PCｺﾝｸﾘｰﾄ下地　目地処理　・行う（適用範囲・図示 ・ ）・行わない (9.4.4)
入隅部の増張り　・行う（適用範囲・図示 ・ ）・行わない
・ 機械的固定工法　建築基準法に基づき定まる風圧力の（・ 1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応

屋内防水層の種別 (9.4.2～4)（表9.4.3）

種 別	施工箇所	保護層 平場のモルタル塗り 塗厚	工法	立上り部の保護 モルタル塗り厚さ
・S－C1	・	・	・床塗り ・下地ﾓﾙﾀﾙ塗り	＊7mm以下 ・

④ 塗膜防水 (9.5.2)（9.5.3）（表9.5.1）（表9.5.2）

種 別	施工箇所	仕上げ塗料 種類
・X－1		・
⊙X－2	設備基礎	
・Y－1		Y－2工法の保護層仕様
・Y－2		・保護ｺﾝｸﾘｰﾄ ・保護ﾓﾙﾀﾙ

＊ Y－1については地下外壁防水、Y－2については屋内防水に適用する
・ 仕上塗料　使用量：＊製造所の仕様による
・ 脱気装置（X－1） (9.5.3)

種 類	材 質	設置数量
・ 平面部脱気型	＊ 製造所の標準仕様（立上がり型） ・ｽﾃﾝﾚｽ製 ・ｱﾙﾐ製又はｱﾙﾐ鋳物	・ 製造所指定数量 ・ 1箇所ノ約50m2当たり
・ 立上がり部脱気型	＊ 製造所の標準仕様	・ 製造所指定数量 ・ 1箇所ノ約10m間隔

⑤ ケイ酸質系塗布防水 (9.6.2)（9.6.3）（表9.6.1）（表9.6.2）

種 別	施工箇所	備 考
・C－SUI		
・C－SUP		

・ 防水層下地　壁及び天井部　＊ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上げ（種仕 表6.2.4のB層） (9.6.4)
・ 下地処理　ｺﾝｸﾘｰﾄ打継目所の処理　＊種仕（9.6.4）（2）（7）による
種仕（9.6.4）（2）（4）（9）以外 ＊図示による

⑥ シーリング 下表以外は、種仕表9.7.1による (9.7.2)（表9.7.1）

施工箇所	シーリング材の種類（被着体）	
・ 建具廻り	MS－2（ｺﾝｸﾘｰﾄ,ALC仕上無,ECP）PU－2（ALC仕上有）	
・ ｺﾝｸﾘｰﾄ打継目地	PS－2（仕上無）	PU－2（仕上有）
・ ガラス・水廻り	SR－1	

（注）仕上有とはｼｰﾘﾝｸﾞ材表面に仕上塗材、塗料等を行う場合を示す
・ ｼｰﾘﾝｸﾞ材表面に仕上塗材・塗装等を行わない場合　（施工箇所　　）
シーリング材の目地寸法 (9.7.3)

施工箇所	幅（mm）	深さ（mm）
コンクリート打継目地、ひび割れ誘発目地	＊20以上	＊10以上
種仕（16,14,3）以外のガラス回り	＊5以上	＊5以上
上記以外	＊10以上	＊10以上

接着性試験　＊簡易接着性試験　・引張接着性試験 (9.7.5)

10 石工事

1 施工 石材の割付け　・ 図示による (10.1.3)

2 天然石張り
石の形状及び寸法　形状:　・　（矩形） (10.2.1)
大きさ:　・　（1枚の面積が0.8m2以下）
石の種類・表面仕上げ (10.2.1)（表10.2.1）（表10.2.2）

施工箇所	岩石の種類	表面仕上げ の種類	バフ仕上げ 有	無
	・大理石 ・花こう岩 ・砂岩			

3 テラゾ張り (10.2.1)（表10.2.1）（表10.2.2）

施工箇所（種別）	種石の種類	種石の大きさ（mm）	形状区分	仕上区分	寸法	表面仕上げ
・（テラゾブロック）	＊大理石 ・花こう岩	＊1.5～12	・平物 ・役物	・片面 ・両面	・図示	・粗磨き ・水磨き ・本磨き
・（テラゾタイル）	＊大理石 ・花こう岩	＊1.5～12	—	—	・300角 ・400角	

4 壁の石張り工法
・ 外壁湿式工法 (10.2.2)（10.3.2）（10.3.3）（表11.1.1）（表9.7.1）（表10.2.4）

石材の厚さ	石裏面処理	裏打ち処理	一般目地 寸法	一般目地 ｼｰﾘﾝｸﾞ	伸縮目地 位置	伸縮目地 幅・深さ
・（25mm以上）	・行う ・行わない	・行う ・行わない	＊6mm以上 ・図示	上行う ・行わない	＊（表11.1.1）による	＊10mm以上 ・図示

受金物　材質：＊SUS304製　形状及び寸法：＊L－75×75×6（mm）（長さ・100m ・150m）
アンカー　材質：＊SS400　寸法:　mm
あと施工アンカー　種類:　材質:　寸法:　mm
上記以外の金物　材質、形状、寸法：＊図示による
ドレンパイプ　材質：・樹脂ﾈｯﾄ状ﾊﾟｲﾌﾟ ｸﾛｽｽﾘｯﾄ巻 25～35φ
下地ごしらえ　＊あと施工ｱﾝｶｰ横筋流し工法 ・流し筋工法 ・あと施工ｱﾝｶｰ工法

・ 内壁空積工法 (10.2.2)（10.4.2）（10.4.3）（表9.7.1）

石材の厚さ	石裏面処理	裏打ち処理	一般目地 寸法	一般目地 ｼｰﾘﾝｸﾞ	伸縮目地 位置	伸縮目地 幅・深さ
・（20mm以上）	・行う ・行わない	・行う ・行わない	＊6mm以上 ・図示	・行う ・行わない	＊6m程度毎 ・図示	＊10mm以上 ・図示

受金物　材質：＊SUS304製　形状及び寸法：＊L－75×75×6（mm）（長さ・100m ・150m）
アンカー　材質：＊SS400　寸法:　mm
あと施工アンカー　種類:　材質:　寸法:　mm
上記以外の金物　材質、形状、寸法：＊図示による
下地ごしらえ　＊あと施工ｱﾝｶｰ横筋流し工法 ・流し筋工法 ・あと施工ｱﾝｶｰ工法

・外壁乾式工法 (10.2.2)（10.5.2）（10.5.3）（表10.2.4）

石材の厚さ	方式		裏打ち処理	目地 目地幅	目地 ｼｰﾘﾝｸﾞ
・（30mm以上）	・スライド方式 ・ロッキング方式	・図示	・行う ・行わない	＊8mm以上 ・図示	・行う ・行わない

金物　種類、寸法：＊種仕（表10.2.4）による ・図示
だぼ用の穴　位置：＊種仕（10.5.2）（2）（7）による ・図示
アンカー　材質：＊SS400　寸法:　mm
あと施工アンカー　種類:　材質:　寸法:　mm
上記以外の金物　材質、形状、寸法：＊図示による
建築基準法に基づき定まる風圧力の（ ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3）倍の風圧力に対応した工法 (10.6.2)（10.6.3）

⑤ 床及び階段の石張り

石材の厚さ	浸透性吸水防止剤	石裏面処理	裏打ち処理	一般目地 寸法	一般目地 ｼｰﾘﾝｸﾞ	伸縮目地 位置	伸縮目地 幅・深さ
・ 床	・行う ・行わない	・行う ・行わない	・行う ・行わない	・図示	・行う ・行わない	＊（10.6.2）（5）（イ）による ・図示	＊10mm以上 ・図示
・ 階段	—	・行う ・行わない	—	・図示	・行う ・行わない	＊（10.6.2）（5）（イ）による ・図示	＊10mm以上 ・図示

⑥ 笠木、甲板等の石張り (10.2.2)（10.3.3）（10.5.3）（10.7.2）（表11.1.1）

取付工法	石材の厚さ	石裏面処理	石裏の補強用ｼﾄｼﾝ	一般目地 寸法	一般目地 ｼｰﾘﾝｸﾞ	伸縮目地 位置	伸縮目地 幅・深さ
・湿式工法	・	・行う ・行わない	—	＊6mm以上 ・図示	・行う ・行わない	＊（表11.1.1）による	＊10mm以上 ・図示
・乾式工法	・	・行う ・行わない	・行う ・行わない	＊8mm以上 ・図示	・行う ・行わない	—	—

取付金物及び特殊部位用金物：・種仕（10.2.2）（1）～（3）による・図示 ファスナー:・図示
方式　・スライド方式　・ロッキング方式
アンカー　湿式工法　材質：＊SUS304製 ・図示　寸法：・図示
乾式工法　材質：＊SS400 ・図示　寸法：・図示
あと施工アンカー　種類:　材質:　寸法:　mm
上記以外の金物　材質、形状、寸法：＊図示による
乾式工法の場合の取付代　＊種仕（10.5.3）（2）による

7 隅て板 石材の厚さ（mm）＊ 40 ・図示 (10.7.3)

⑪ タイル工事

① 目地 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置　＊種仕（表11.1.1）による ・図示 (11.1.3)
見本焼き　＊行わない　・行う（・　　） (11.1.4)
試験張り　＊行わない　・行う（・　　）

2 ｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙによるﾀｲﾙ張り
タイルの種類 (11.2.2)（11.2.3）（11.2.6）

施工箇所	主な用途による区分（JIS）	形状寸法（mm）	吸水率による区分 I類	II類	III類	うわぐすり 施釉う	無釉う	有	無	役物 特注	標準	裏足 適用	有	無	新潟り性	備考

標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする
・既調合モルタル　＊既調合ﾓﾙﾀﾙの製造所の仕様による（公共建築協会の基準を満たすものとする）
下地モルタル塗りのコンクリート素地面の処理　＊MCR工法 ・目荒らし工法（高圧洗浄）
壁タイル張りの工法　外装タイル ・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り （表11.2.3）
内装タイル ・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り
内装タイル以外のﾕﾆｯﾄﾀｲﾙ ・マスク張り ・モザイクタイル張り

③ 有機系接着剤によるタイル張り
タイルの種類 (11.3.2～11.3.8)

施工箇所	主な用途による区分（JIS）	形状寸法（mm）	吸水率による区分 I類	II類	III類	うわぐすり 施釉う	無釉う	有	無	役物 特注	標準	色	再生材の配合率 適用	有	無	備考
男女トイル	A－1509－6	7.0	○				○			○	○		無	○		
ｴﾝﾄﾗｽﾋﾞ	A－1509－9	12.0	○				○			○	○		無	○		

標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする
外装タイル接着張りにおける目地のシーリング材 (11.3.4)
打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地　＊ポリウレタン系シーリング材
伸縮調整目地・その他の目地　＊変成シリコーン系シーリング材
下地モルタル塗りのコンクリート素地面の処理　⊙MCR工法 ・目荒らし工法（高圧洗浄）

12 木工事

1 施工一般 ホルムアルデヒド放散量　＊種仕（12.2.1）（ｳ）のいずれかによる (12.2.1)
・JAS 1083に基づく製材 (12.2.1)（表12.2.1）

	樹種	寸法	等級	形状	含水率	保存処理
・下地用針葉樹製材			＊2級 ・		＊A種・B種	
・造作用針葉樹製材					＊A種・B種	
・広葉樹製材			＊1等 ・		＊10%以下	

・JAS 1083以外の製材 (12.2.1)（表12.2.1）（表12.2.2）（12.3.2）

施工箇所	樹種	寸法	材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率
						＊A種 ・B種

造作材の材面の品質の種別　＊（表12.2.2）のA種

2 製材

3 集成材等
・「集成材の日本農林規格」による集成材 (表12.2.2)

種類	施工箇所	品 名	樹種名	寸法（mm）	見付け材面の品質	見付け材面	化粧薄板の厚さ（mm）
・造作用					＊1等 ・2等	・	
・化粧ばり造作用							

・「集成材の日本農林規格」以外の集成材 (12.2.1)

種類	施工箇所	寸法（mm）	見付け材面の品質	化粧薄板の厚さ（mm）	含水率
・造作用			＊1等 ・2等		
・化粧ばり造作用					＊15%以下

4 造作用単板積層材 (12.2.1)（12.3.2）

日本農林規格	施工箇所	品名	寸法（mm）	表面の品質	防虫処理	含水率
・規格に基づく材				・有（・天然木・塗装） ・無（等級・1等・2等・3等）	・する ・しない	—
・上記以外		—		・有（・天然木・塗装） ・無（　　）	・する ・しない	＊14%以下 ・

5 直交集成板 (12.2.1)

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能	樹種名	寸法（mm）
			＊1等・2等			

6 合板等 (12.2.1)（12.3.2）

種類	施工箇所	品名	厚さ（mm）	接着の程度	単板の樹種名	板面の品質	等級	防虫処理	保存処理
・普通合板	・図示	・	・5.5	＊1類 ・2類	・	・	・	・	・
・構造用合板	・図示	・	・12.0	＊1類 ・特類	・	・	・	・	・
・天然木化粧合板	・図示	・	＊4.0	・1類 ・2類	・	・	・	・	・
・	・	・		・	・	・	・	・	・

接着の程度　常時湿潤状態となる場所での使用　＊特類　その他の場合　＊1類
構造用合板の強度等級　指定する場合（　　）
特殊加工化粧合板の化粧加工の方法　・オーバーレイ ・プリント ・塗装 (12.2.1)

種類	施工箇所	厚さ（mm）	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分
・ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ		＊15.0 ・20.0		＊13タイプ		
・MDF						

ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞの耐水性による区分　＊MRI（M）又は MR2（P）
・構造用パネル　施工箇所:　品目:　寸法（mm）:

工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺 A1：non A3：non	確認
作成日	2024.2.26		

一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所
東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル
一般建築士事務所　登録（東京都）知事　第44606号
一般建築士登録　第190508号　大村　浩之

訂正事項　DATE　CHECK

図名	特記仕様書（2）
図番	A-003

7 接着剤等
造作材の化粧面の釘打ち　・適用する（※隠し釘打ち　・　　）・適用しない　(12.2.2)
語金物の形状,寸法,材質　※種仕(12.2.2)（2）(7)による　・図示　(表12.2.3~5)
接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添付されていないものとする。

8 防腐・防蟻処理
・薬剤による防腐・防蟻処理を省略できる樹種による製材　適用部材（　　）(12.3.1)
・工場における薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理　適用部材（　　）
保存処理性能区分（・K2・K3・K4）
※加圧注入処理等を行った後、加工、切断、孔あけ等を行った箇所は、薬剤の塗布を行うこと。
※JIS A 9002に基づく使用薬剤、注入量等の証明書を監督員に提出する。
・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理　適用部材（　　）
処理の方法:　※製造所の仕様による
薬剤の種類:
※処理に使用した薬剤、注入量等の記録を監督員に提出する。
・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理　適用部材（　　）

9 各部位の樹種
・圓仕切軸組に用いる木材　※（製材を用いる場合・杉　・絵）(12.4.1)
・床組に用いる木材　※（製材を用いる場合・杉　・絵）
・窓,出入口,その他に用いる木材　吊元枠,水掛りの下枠,敷居　※ひのき　(12.5.1)
その他に用いる木材　※絵又は杉
・縁甲板及び上がまちに用いる木材　※（製材を用いる場合・ひのき）(12.6.1)
・壁及び天井に用いる木材　※（製材を用いる場合・杉　・絵）(12.7.1)
・土圓スラブ類の場合　土台、転ばし、大引き等　・ひのき　※保存処理木材

⑬ 屋根及びといい工事

1 長尺金属板葺　(13.2.2)（13.2.3）(表13.2.1)

板及びコイルの種類	塗膜の耐久性の種類 めっき付着量等	屋根葺形式	葺板の寸法・厚さ	下地	厚さ(mm)	留め付け方法
※JIS G 3322の屋根用コイル		・横葺 ・立て平葺 ・心木なし瓦棒葺			※0.4	

雪止め　・設ける（施工箇所：※図示　・　　）
下葺材料　・ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940
・改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ下葺材（・一般タイプ　・複層基盤タイプ　・粘着層付タイプ）
横葺の場合のけらば納め　・つかみ込み納め　・けらば包み納め
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法　(13.2.3)
(13.3.2)（13.3.3）(表13.2.1)

② 折板葺

施工箇所	形式	ピッチ 山高	ピッチ 山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先固戸板	雪止め
	※はぜ締め形				※鋼板製			※有

材質の種類　※塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑｰ亜鉛合金めっき鋼板及び調帯（JIS G 3322）
塗膜の耐久性の種類,めっきの付着量等（　　）
断熱材　・有（種別:　厚さ100（mm）;　防火性能:　時間）・無
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
耐雪性能に応じた工法　・適用する（・図示　・　）・適用しない　(13.3.3)
折板のけらば納め　※けらば包みによる方法
(13.4.2)

3 粘土瓦葺

形状による区分	寸法による区分	製法による区分	大きさ	産地	備考
※J形 ・S形 ・F形	※53A ・49A・49B ・40	・ゆう薬がわら ・いぶしがわら ・無ゆうがわら			色調（　　） 雪止め瓦・有（図示） 役物瓦（種類:・図示）

JIS A 5208に基づく凍害試験　・行う　・行わない
瓦桟木　材質:※杉　・　寸法:※幅21×高さ15（mm）以上
練補強用心材　材質:※杉　・　寸法:※幅40×高さ30（mm）以上
瓦緊結用釘又はねじ　種類:　径:　長さ:
練補強等に使用する金物等　材質:・ステンレス製　・溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製
形状・寸法:　留め付け方法:
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法　(13.4.3)
地震力に対応した瓦の緊結方法等の工法（　　）
瓦緊結用釘又はねじの有効長さの最小値（　　）mm
面戸・雀口・葺土の露出する瓦接続部に仕上げを施す場合　・モルタル　・瓦葺用しっくい
瓦桟木の留め付け工法　・図示

④ といい
材種　・配管用鋼管　※硬質塩化ビニル管 ⊙VP　・RF−VP　）(13.5.2)（表13.5.1）
・表面処理鋼板（表面及び裏面の塗膜の種類:　耐候被覆鋼板:　）
といい受金物　材種・形状・取付間隔　※種仕（表13.5.2）による　(表13.5.2)
足金物　材種・形状・取付間隔　※種仕（表13.5.2）による
多雪地域の場合の軒樋の取付間隔　※0.5m以下　・図示による
鋼管製といの防露巻き　※種仕（表13.5.3）による　(13.5.3)
排除口　※有り　・無し

5 ルーフドレイン　JCW 301によるルーフドレインの種類及び呼び　(13.5.2)

種類		呼び	施工箇所
・ろく屋根用たて形Ⅰ型	ねじ込み式		
・ろく屋根用横形Ⅰ型	ねじ込み式		
・バルコニー中継用	・ねじ込み式　・差し込み式		
・バルコニー用	・ねじ込み式　・差し込み式		

⑭ 金属工事

① あと施工ｱﾝｶｰ引張試験　※適用する。(14.1.3)
(14.2.1)（表14.2.1）

② ｱﾙﾐﾆｳﾑ及びｱﾙﾐﾆｳﾑ合金の表面処理

種別	色合い	施工箇所
・BA−1種	・無着色	
※BB−1種		
・BC−1種		
・BA−2種	・ブラウン系	
※BB−2種	・ブラック	
・BC−2種	・ステンカラー	

(14.2.2)（表14.2.2）

③ 鉄鋼の亜鉛めっき

表面処理方法	種別	施工箇所（手すり、クラッブ以外）
溶融亜鉛めっき	・A種	図示材料厚みによる
	・B種	図示材料厚みによる
	・C種	図示材料厚みによる
電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

④ 軽量鉄骨天井下地
野縁等の種類　屋外　※25型　・19型　(14.4.2)（表14.4.1）
屋内　※19型　・25型　(14.4.3)（14.4.4）
屋外の場合の形式及び寸法※下表以外は、(14.4.3)（表14.4.2）による　(表14.4.2)

施工箇所	下地材の間隔（mm） 野縁受け、つりﾎﾞﾙﾄ、ｲﾝｻｰﾄ 中央部	周辺部	野縁

建築基準法に基づき定まる風圧力・積雪荷重の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力・積雪荷重に対応した工法
つりボルトの間隔が900mを超える場合の補強　※図示　(14.4.4)
天井のふところが3.0mを超える場合の補強　※図示
天井下地材における耐震性・耐風圧を考慮した補強　・行う（補強箇所　※図示）
屋外の軒,ﾋﾟﾛﾃｨ等の天井における耐風圧性を考慮した補強　・行う（補強箇所　※図示）

⑤ 軽量鉄骨壁下地
スタッド,ランナ等の種類　※種仕（表14.5.1）による　・図示（14.5.3）（表14.5.1）
スタッドの高さが5.0mを超える場合　・図示による
出入口等の開口部の補強　※種仕（14.5.4）（5）による　・図示

⑥ 金属成形板張り
材料　(14.6.2)（表14.2.1）

形状	製法	材種	厚さ	寸法	表面処理	色合い
・スパンドレル形 ・パネル形	・押出し ・ロール ※プレス	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製			・BB−1種 ・BB−2種	・無着色 ・ｱﾌﾞﾗｳﾝ　・ｱﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝｶﾗｰ　・ｱﾙﾐｰ

伸縮調整継手　※設けない　・設ける（施工箇所は図示）　(14.6.3)
取付用下地　※種仕（14.4）による　・設ける（施工箇所は図示）

⑦ アルミニウム製笠木
オーブン形式アルミニウム製笠木の種類　(14.7.2)（14.7.3）(表14.2.1)（表14.7.1）

種類	所要肉厚（mm）	表面処理及び色合い	固定間隔・方法
・100形	1.5以上	※AB−1又はBB−1種（無着色） ・BB−2種 ・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法
・250形	1.6以上		
・300形	1.8以上		
・350形	2.0以上		

隅角部及び突当り部等の役物は笠木本体製造所の仕様による。

⑮ 左官工事

1 モルタル塗り材料
モルタル　・現場調合材料　・既調合材料　(15.3.2)
吸水調整材の品質及び性能は、種仕（表15.3.2）によるものとする。　(表15.3.2)
既設目地材　・設ける（施工箇所:　形状:・図示　・　）・設けない
床の目地　・設ける　目地割:　※押し目目地
(15.3.5)
種類　:　※押し目地
外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整材塗りの接着力試験　・行う　・行わない

② 床ｺﾝｸﾘｰﾄの直均し仕上
下表以外は種仕（表6.2.5）(15.4.2）による　(表6.2.5）(15.4.2）

施工箇所	平たんさ（mm）	備考
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ（パネル鋼法）範囲	1mにつき1.0以下	塗料塗りの場合も含む
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ（流鋼法）範囲	3mにつき7以下	

3 セルフレベリング材塗り
・せっこう系　・セメント系　(15.5.2)（表15.5.1）

④ 仕上塗材仕上げ　(15.6.2)（表15.6.1）

種類	呼び名	仕上げの形状等
・薄付仕上塗材	・外装薄塗材S I ・可とう形外装薄塗材S I ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S ・内装薄塗材C ・内装薄塗材L ・内装薄塗材S I ・⊙内装薄塗材E ・内装薄塗材W	・砂壁状 ・さざ波状 ・ゆず肌状　（・吹付け　・ローラー塗り） ・着色骨材砂壁状（・吹付け　・こて塗り） ・凹凸状　（・吹付け　・こて塗り） ・平たん状 ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく
・厚付け仕上げ塗材	・外装厚塗材C ・外装厚塗材S I ・外装厚塗材E ・内装厚塗材C ・内装厚塗材L ・内装厚塗材G ・内装厚塗材Si ・内装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状　（・こて塗り　・ローラー塗り） ・凹凸状　（・こて塗り　・ローラー塗り） ・ひき起こし（・こて塗り　・ローラー塗り） ・かき落とし 上塗材（外装厚塗材S I及び外装厚塗材E） ・適用する　・適用しない
・複層仕上塗材	・複層塗材CE ・複層塗材S I ・複層塗材E ・複層塗材RE ・可とう形複層塗材CE ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状 耐候性　※2種　・1種 防水形複層塗材E（透湿型）を使用する場合の所要量　※メーカー推奨塗布量による
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材	砂壁状 平たん状

防火材料の指定　※屋内の壁、天井の仕上げは防火材料とする
吸放湿性（内装厚塗材・内装厚塗材）　・適用する　・適用しない
複層仕上塗材の上塗材　樹脂　※ｱｸﾘﾙ系　・ｳﾚﾀﾝ系　・ﾌｯｿﾘｳﾚﾀﾝ系　・ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ系　・ふっ素系
外観　※つやあり　・つやなし　・ﾒﾀﾘｯｸ
溶媒　※水系　・溶剤系　・弱溶剤系
外装厚塗材Cにおける上塗材がセメントスタッコ以外の場合　（　　）

5 マスチック塗材塗り
種別　・A種　・B種（　　）　(15.7.2)（表15.7.1）

6 こまい壁塗り
土壁用ののり　※つのまた　(15.11.2)
砂壁用ののり　※ふのり
色土の種類
塗厚　mm　(15.11.4)
工程　種別　※A種　・B種　(15.11.5)（表15.11.9）
大津仕上げ工法　・普通大津仕上げ工法　・大津磨き仕上げ工法　(15.11.8)

7 ロックウール吹付け
厚さ　25 mm　(15.12.3)

⑯ 建具工事

1 見本の製作等
・特殊な建具の仮組等（建具番号:　　）(16.1.4)

② 防犯建物部品
※ 建具表による　(16.1.6)

③ アルミニウム製建具
外部に面する建具の性能値等　耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級　(16.2.2)
※建具図による　・図示による
外部に面する建具の種別　ｺﾝｸﾘｰﾄ系下地及び鉄骨下地　・A種　・B種　・C種
木下地　・D種　・E種
防音ドアセット　※ 適用は建具表による　(16.2.2)（16.2.4）(表14.2.1)
断熱ドアセット　※ 適用は建具表による
副窓ドアセット　※適用は建具表による
結露水の処理方法　水抜き穴　※ 設ける　・ 設けない　(16.2.4)
水切り板、せん板　※ 設ける　・ 設けない　(16.2.5)
ステンレス鋼板の種類　※SUS304又はSUS430J1L,SUS443J1とする　(16.2.3)（16.6.3）
ステンレス製くつづりの仕上げ　※HL　・　(16.2.4)（16.4.4）
木下地の内付け建具　・適用する（建具製作所の仕様）　・適用しない　(16.2.5)
表面処理　(16.2.4)（表14.2.1）

施工箇所	種別	色合い等
外部建具	※ BB−1種	無着色
	・ BB−2種	※標準色（ ・ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ　・ｱﾙﾐｰ）
内部建具	※AC−1種・BB−1種	無着色
	・AC−2種・BB−2種	※標準色（ ・ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ　・ｱﾙﾐｰ）

④ 網戸
材料　(16.2.3)

種類	材質	形式	線径	網目
・防虫網	※合成樹脂製・ｽﾃﾝﾚｽ製（SUS316） ・ガラス繊維入り合成樹脂製	※外部可動式 ・固定式	※0.25mm以上 ・	※16~18ﾒｯｼｭ ・

5 樹脂製建具
外部に面する建具の性能値等　耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級　(16.3.2)
※建具図による　・図示による
外部に面する建具の種別　ｺﾝｸﾘｰﾄ系下地及び鉄骨下地　・A種　・B種　・C種
木下地　・D種　・E種　(16.3.2)（表16.3.1）
防音ドアセット　※適用は建具表による　・右記による（・T−1種　・T−2種）
断熱ドアセット　※適用は建具表による
副窓ドアセット　※適用は建具表による
外部に面する建具の日射熱取得性の等級　※建具表による　(16.3.3)
ステンレス製くつづりの仕上げ　仕上げ:　※HL　・　表面色:　※標準色　・特注色
水切り板、せん板　※ 設ける　・ 設けない　(16.3.4)（16.4.4）
木下地の内付け建具　・適用する（建具製作所の使用）　・適用しない　(16.3.5)（16.2.5）

⑥ 鋼製建具
簡易気密型ドアセットの性能の適用は建具表による　(16.4.2)（表16.4.1）
外部に面する建具の耐風圧性（・S−4　・S−5　・S−6）　(16.4.2)（表16.2.1）

材料	メッキ付着量	施工箇所
・JISG3302（溶融亜鉛めっき鋼板）	※Z12又はF12	
・JISG3317（溶融亜鉛−5%ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金めっき鋼板）	※Y08	

防音ドアセット　※適用は建具表による　・右記による（・T−1種　・T−2種）
断熱ドアセット　※適用は建具表による
副窓ドアセット　※適用は建具表による
ステンレス鋼板の種類　※SUS304又はSUS430J1L,SUS443J1とする　(16.4.3)（16.6.3）
ステンレス製くつづりの仕上げ　※HL　・　(16.4.3)
点検口類のくつづりの材料　※図示による　・アルミ製　・ステンレス製
鋼板類の厚さ（1枚の戸の有効開口幅950mm、又は　有効高さ2,400mmを越える場合）(16.4.4)
※ 下表以外は種仕（表16.4.2）による。図示による　(16.4.4)（表16.4.2）

区分		使用箇所	厚さ(mm)
窓	枠類	外部の下枠、水切り板	2.3以上
出入口	枠類	外部に面するスイングドアの建具	2.3以上
	戸	中骨	2.3以上

標準型鋼製建具の有効内法寸法（表16.4.5による）　・適用する（形式及び寸法は建具表による）
(16.4.6)

⑦ 鋼製軽量建具
簡易気密型ドアセットの性能の適用は建具表による　(16.5.2)
防音ドアセット　※適用は建具表による　・右記による（・T−1種　・T−2種）
断熱ドアセット　※適用は建具表による
副窓ドアセット　※適用は建具表による
鋼製の種類　※亜鉛めっき鋼板　・ビニル被覆鋼板　・カラー鋼板　・ステンレス鋼板
鋼板の厚さ　※図示による　・種仕（表16.5.1）による
召合せ、縦小口包み板の材質　※鋼板　・ステンレス鋼板　・アルミニウム合金
ステンレス製くつづりの仕上げ　※HL　・
標準型鋼製軽量建具の有効内法寸法（表16.4.5による）・適用する（形式及び寸法は建具表による）

⑧ ステンレス製建具
外部に面する建具の性能値等　耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級　(16.6.2)
※建具図による　・図示による
外部に面する建具の耐風圧性（・S−4　・S−5　・S−6）　(16.4.2)（表16.2.1）
防音ドアセット　※適用は建具表による　・右記による（・T−1種　・T−2種）
断熱ドアセット　※適用は建具表による
副窓ドアセット　※適用は建具表による
簡易気密型ドアセットの性能の適用は建具表による　(16.4.2)（16.6.2）(表16.4.1)
ステンレス鋼板の種類　※SUS304,SUS430J1L又はSUS443J1　(16.6.3)
表面仕上げ　※HL仕上げ　・ 鏡面仕上げ　(16.6.4)
ステンレス製くつづりの仕上げ　※HL　・
曲げ加工　※ 普通曲げ　・ 角出し曲げ（補強あり）　(16.6.5)

9 木製建具
建具材の加工、組立時の含水率　※A種　・B種　(16.7.2)
・ フラッシュ戸　(16.7.2)（表16.7.2）(表16.7.6)

合板の種類	表面材の品質等	表面板の厚さ
・普通合板	接着の程度:　※水掛り箇所　1類,その他　2類以上 板面の品質:　※広葉樹　1等	※ 2.5以上 ・ 図示
・天然木化粧合板	接着の程度:　※水掛り箇所　1類,その他　2類以上	※ 3.2以上 ・ 図示
・特殊加工化粧合板	接着の程度:　※水掛り箇所　1類,その他　2類以上 タイプ:・F　・FW　・W　・SW	※ 2.4以上 ・ 図示
・MDF	表裏面の状態による区分:　・DV　・DO　・DC 曲げ強さによる区分:　・30　・25　・15　・5 接着剤による区分:　・U　・M　・P 難燃性による区分:　※難燃2　・難燃3	・ 図示

・ かまち戸　樹種:かまち（　　）、鏡板（　　）(16.7.2)
見込み寸法:※図示　・36mm
・ ふすま　種別:・I型　・II型
ふすま紙の上張り:※新鳥の子又はビニル紙程度　・鳥の子　(表16.7.3)
縁の仕上げ:・塗り縁　・生地縁　(表16.7.10)
ふすま見込み寸法:※図示　・19.5m　(16.7.3)
戸ふくろ見込み寸法:※図示　・30m
紙張り障子見込み寸法:※図示　・30m
材種　枠:　※木製　・鋼製　(16.7.2)
くつづり:・木製　・鋼製　・ステンレス製
防虫処理:※行う　・行わない

⑩ 建具用金物
レバーハンドルのバックセット　※ 64mm　(16.8.2)（表16.8.1）
マスターキー:　※ 製作する　・ 製作しない　(16.8.4)
製作本数:　※ 3本1組　・
鍵箱　※ 有り　・ 無し

11 自動ドア開閉装置
多機能トイレ出入口に設置される引き戸用駆動装置の性能　※ 補助センサー設置　(16.9.2)
自動ドア開閉装置の性能　・SSLD−1　・SSLD−2　・DSLD−1　・DSLD−2
防錆の適用　・適用する
自動ドアの開閉機構　(16.9.2)（表16.9.4）

開閉方法	センサーの種類
※ スライディングドア ・ スイングドア	・光線（反射）センサー　・熱線センサー　・押しボタンスイッチ ・光電センサー　・電波センサー　・音波センサー ・タッチスイッチ（・無線式　・光電式） ・多機能便所スイッチ（・大形（開・閉）押しボタン　・非接触）

凍結防止措置　※行わない　・行う（　　）(16.9.2)

⑫ 重量シャッター
シャッターの種類　・管理用　⊙外壁用防火　・屋内用防火　・防煙　(16.11.2)
外部に面するシャッターの耐風圧強度　耐風圧性区分（ ・ 125 ・ 100 ・ 75 ・ 50 ）Pa
開閉方式の種類　※ 電動式（手動併用）　⊙ 上部手動式
管理用シャッターのシャッターケース　・ 設ける　・ 設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板　鋼板の種類・JIS G 3302・JIS G 3312　(16.11.3)
めっき付着量　※Z12又はF12
ステンレス鋼板の種類　※SUS304,SUS430J1L又はSUS443J1　(16.11.3)（16.6.3）

13 軽量シャッター
開閉方式の種類　※手動式　・電動式（手動併用）　(16.12.2)（表16.12.1）
外部に面するシャッターの耐風圧性区分（ ・ 125 ・ 100 ・ 75 ・ 50 ）Pa
スラット　材質　※JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び調帯）　(16.12.3)
めっき付着量　※Z06又はF06　・図示
・JIS G 3322（塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑｰ亜鉛めっき鋼板及び調帯）
めっき付着量　※AZ90　・図示
種類　・ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ形　・ｵｰﾊﾞｰﾗｯﾋﾟﾝｸﾞ形　(16.12.4)
ガイドレール等　※鋼板製　・ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm）
(16.13.2)（16.13.3）

⑭ オーバーヘッドドア

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
●ステールタイプ ⊙アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	⊙スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	・溶融亜鉛めっき鋼板 ※ステンレス鋼板（SUS304）

耐風圧性区分（ ⊙125 ・100 ・75 ・50 ）Pa
ガイドレール下地　⊙コンクリート及び鉄骨下地　・木下地

⑮ ガラス
下記以外は、建具表による　(16.14.2)
・合わせガラス　特性による種類　※II−1類
・強化ガラス　※ヒートソーク処理を行う

材料板ガラスによる種類	特性による種類
・フロート強化ガラス ・型板ガラス ・熱線吸収強化ガラス	III類（曲面は1類）

・熱線吸収板ガラス　(16.14.2)

板ガラスによる種類	厚さ(mm)	色調
※熱線吸収フロート板ガラス	・図示	・ブルー　・グレー　・ブロンズ ・グリーン

・複層ガラス、Low−E複層ガラス　(16.14.2)
厚さ（mm）　・図示による
断熱性による区分　・T1　・T2　・T3　・T4　・T5　・T6
日射取得性及び日射遮蔽性による区分　・G　・S
乾燥気体の種類　・アルゴン　・クリプトン　・ネオン
到止の加速耐久性による区分　※II種
・熱線反射ガラス　(16.14.2)

品質	反射皮膜面	板ガラスの種類	日射熱遮蔽性による区分	耐久性による区分	色調
・熱線反射ｶﾞﾗｽ	※内面 ・外面	・フロート板ガラス ・熱線吸収フロート板ガラス	・1種 ・2種 ・3種	・A種 ・B種	・ｱﾙﾐｰ ・ｸﾞﾚｰ ・ｱﾌﾞﾛﾝｽﾞ ・ｼﾙﾊﾞｰ
・高性能熱線反射ガラス	内面	・強化ガラス ・倍強度ガラス			

・網入りガラス及び線入りガラス　(16.14.2)

施工箇所	網又は線の形状	板の表面の状態	厚さ(mm)
	・ヒシワイヤ ・クロスワイヤ ・プロテックス	・磨き ・霜み	

・倍強度ガラス　(16.14.2)

材料板ガラスによる種類の名称	色調
・フロート倍強度ガラス	
・熱線吸収倍強度ガラス	・グレー　・ブルー　・ブロンズ

⑯ ガラス留め材
ガラス留め材　(16.14.2)（16.14.3）(図16.14.1)

建具の種類	材種
アルミニウム製	※シーリング材　・建築用ガスケット（ＦＩＸ部はシーリング材）
樹脂製	※シーリング材　・建築用ガスケット　・ｸﾛﾚｲﾝｺﾞﾑｼｰﾄ
鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

ただし、防火戸は建築基準法に基づく規定に定められたもの又は認定を受けた条件による

⑰ ガラス溝
板ガラスをはめ込む溝の大きさ　(16.14.3)
※ 建具製造所の仕様による。ただし、強化ガラス及び倍強度ガラスを使用する場合は性能値等が確認できる資料を監督職員に提出し、承認を受ける。

18 ガラスブロック積み
材料等　(16.14.5)

表面形状	寸法(mm) 呼び寸法	尺さ	色調 ｸﾘｱ	乳白	目地幅(mm) 平積み	壁面積み	伸縮調整 目地位置(mm)	防火性能
・正方形 ・長方形	・160×160 ・200×200	95			※ 8~15 ・15~25	外側　※15以下 内側　※6以下	※6m以下毎 幅10~25	・無 ・有

建築基準法に基づき定まる風圧力の（・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3）倍の風圧力に対応した工法
壁用金属枠及び補強材　・ 設ける（形状及び材質等　※ 図示）　・ 設けない

壁用金属枠の種類	規格及び補強材等
※ アルミニウム製	※ 種仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による

力骨　材料:　※ステンレス鋼（SUS304）
寸法:　※径5.5mm
形状:　※はしご形状複筋及び単筋
化粧目地モルタル　色:　※モルタル色　・白　・図示
金属製化粧カバー　材質:　・ステンレス製　・アルミニウム製
寸法:　・図示　形状:　・図示
目地部の縦力骨の納まり　※製造所の仕様による　・図示
シーリング材料　※下表以外は種仕表9.7.1による　(16.14.5)（9.7.2）（表9.7.1）

被着体の組合せ		シーリング材の種別 記号	主成分による区分	耐久性による区分

ただし、防火区画等に用いる場合は建築基準法に基づく規定に定められたもの
又は、認定を受けた条件による。

㉑ ガラス用フィルム
JIS A 5759の用途による区分

名称	張り面　記号（JISA5759）	分類	備考
⊙日射調整フィルム	※内張り　SC−1　・外貼り　SC−2	⊙ｽﾓｰｸ ・ミラー ・ﾌﾛｽﾄ ・ﾌｸｼｱ	・防虫 ・親水性 ・断熱性 ・ｴﾝﾎﾞｽ加工 ・ｸﾞﾗﾃﾞｰｼｮﾝ
・低放射フィルム	※内張り　LE		
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	※内張り　GI−1　・外貼り　GI−2		
・層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	※内張り　GD−1　・外貼り　GD−2		
・ガラス普通防止フィルム	※内張り　SF−1		

性能区分　・日射遮蔽性能による区分　⊙A　・B　・C　・D　・E
・熱貫流率による区分　・A　・B　・C　・D
・ガラスの普通防止性能による区分　・A　・B

工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺 A1：non A3：non	一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所 東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル 一級建築士事務所　登録（東京都）知事　第44606号 一級建築士登録　第190508号　大村　浩之	訂正事項　DATE　CHECK	図名　特記仕様書（3）
作成日	2024.2.26	確認			図番　A-004

17 カーテンウォール工事

1 取付方法、性能等

性能 (17.1.3)

耐風圧性能　性能値：＊建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。
グレード：・1　・2　・3
耐震性能　設計用震度：　水平方向（＊1.0kH　・　）　水平方向（＊0.5kV　・　）
水密性能　ＦＩＸ部グレード：・1　・2　・3　・4　・5
可動部グレード　：・1　・2　・3　・4　・5
気密性能　グレード：・1（A−3）　・2（A−4）　・3（A−5）
耐火性能　・30分　・1時間
耐温度差性　・80℃　・70℃　・60℃
遮音性能　グレード：・1（T−1）・2（T−2）・3（T−3）・4（T−4）
断熱性能　グレード：・1（H−1）・2（H−2）・3（H−3）・4（H−4）・5（H−5）
映像調整　・行う　・行わない

2 メタルカーテンウォール

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会ＪＡＳＳ１４による。 (17.2.2)

金属系材料の種類　＊アルミニウム材　規格：＊種住（16.2.3）による
種別：・ (表14.2.1)
着色：＊顕革色　・特注色

カーテンウォール方式　・方立方式
・バックマリオン方式（・単純２辺支持構法　・ＳＳＧ構法）
・スパンドレル方式
・パネル方式
・小型パネル組み合わせ方式（・ノックダウン方式　・ユニット方式）

ｼｰﾘﾝｸﾞ材（ガラス取付は除く）下表以外は種住（表9.7.1）による (17.2.2)（9.7.2）（表9.7.1）

被着体の組合せ		シーリング材の種類	
		記　号	主成分による区分
金属	ガラス		
	石、タイル		
ガラス	ガラス		

ガラス取付け方法　＊シーリング　種類：＊上記表及び種住（表9.7.1）による (17.2.2)（17.2.6）
・構造ガスケット　施工箇所：　＊　図示
材質・形状：＊　図示

断熱材　＊適用しない
・適用する　施工箇所：＊　図示
種類：
厚さ（mm）：

製品の寸法許容差　＊　種住（表17.2.1）による (17.2.3)（表17.2.1）
・　製造所標準製作規定寸法許容差による

アルミニウムの表面処理 (17.2.3)（表14.2.1）

種　別		色合い等
・AB−1種	・BB−1種	無着色
・AB−2種	・BB−2種	＊ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー　・
・着色塗膜	塗装材料（　　）焼付け方法（　　）コート（　　）ベーク	

主要部材のたわみ

支点間距離（h）	たわみ量	状　態
＊4m以下	＊±（1/150）×h かつ絶対量20mm以下	＊各部の破損、残留変形有害な変形が起こらないこと
・4mを超える	・	

構造種別	許容層間変位量（h＝支点間距離）	状　態
鉄骨造	＊±（1/200）×h以上	＊部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないシーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	＊±（1/300）×h以上	

3 PCカーテンウォール

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会ＪＡＳＳ14による。 (17.3.2)

コンクリートの種類及び品質　＊種住（17.3.2）による
・下表による。ただし下表以外は17.3.2による。

コンクリートの種類	設計基準強度（Fc）	所要スランプ（cm）

鉄筋　＊SD295（・D13　・D10）
配筋　＊図示　・
補強筋線　径（mm）：＊3.2　・
網目寸法（mm）：

シーリング材　下表以外は種住（表9.7.1）による (17.3.2)（9.7.2）（表9.7.1）

施工箇所	シーリング材の種類	
	記　号	主成分による区分
カーテンウォール板囲目地		

ガラスの取付け方法　・シーリング (17.3.2)
・構造ガスケット　施工箇所　：＊図示
材質・形状：＊図示

耐火目地　・適用する　・適用しない
断熱材　＊適用しない　・適用する　施工箇所：＊　図示
種類：
厚さ（mm）：

先付の材料　仕上材：・石材（・花こう岩　・大理石）　・セラミックタイル
建具枠：
ゴンドラ用ガイドレール：

製品の寸法許容差　＊種住（表17.3.1）による
・製造所標準製作規定寸法許容差による

表面仕上げ　（　　） (17.3.3)（表17.3.1）

取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質　下表以外は製作所の仕様による (17.3.2)

金物種類及び部位	内　部	外　部
ＰＣ版打込み金物	＊E種	＊A種　・
ＰＣ版打込み取付けボルト	＊E種	＊ステンレスボルト
２次ファスナー	＊E種	＊A種　・
取付けボルト	＊E種	＊A種　・
レベル調整ボルト	＊E種	＊A種　・

耐火材料

施工部位	種　別	規格等
・ファスナー部		
・取付けブラケット		
・パネル目地部		
・層間ふさぎ		

(17.1.3)

構造種別	許容層間変位量（h＝支点間距離）	状態
鉄骨造	＊ ±（1/200）×h以上	＊部材ガラスの損傷、破損、脱落がなく、シーリングは補修程度の状態であること。
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	＊ ±（1/300）×h以上	

18 塗装工事

① 素地ごしらえ

(18.2.2〜7)（表18.2.2〜7）

下地面等		種　別
木部	不透明塗料塗りの場合	＊A種　・B種
	透明塗りの場合	・A種　＊B種
鉄鋼面	耐候性塗料塗り（DP）の場合	・A種　＊B種　・C種
	上記以外の場合	・A種　・B種　＊C種
亜鉛めっき鋼面		・A種　・B種
モルタル面、せっこうプラスター面		・A種　＊B種
コンクリート面（DP以外）、ALCパネル面		・A種　＊B種
コンクリート面（DP）の場合		＊A種　・B種
押出成形セメント板面		・A種　＊B種
せっこうボード面及びその他ボード面	目地：疎ぎ目処理工法	＊A種　・B種
	目地：疎ぎ目処理工法以外	・A種　＊B種

② 錆止め塗料塗り

錆止め塗料の種類　＊JIS K 5674　・ (18.3.2)（18.3.3）（表18.3.1〜6）

下地面等			塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	見え掛り部分	SOP	・A種　・B種	＊A種・B種
		DP	・C種（1回目）・D種（2,3）回目	＊種住（表18.3,4）による
		EP−G	・A種　＊B種	＊A種・B種
	見え隠れ部分	SOP	・A種　・B種	・A種　＊B種
		DP	・C種（1回目）・D種（2,3）回目	＊種住（表18.3,4）による
		EP−G	・A種　＊B種	・A種　＊B種
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具	SOP	＊A種　・B種	＊A種・B種
		DP	・B種	＊種住（表18.3,6）による
		EP−G	・C種	＊A種・B種
	鋼製建具以外	SOP	・A種　＊B種	・A種　＊B種
		DP	・B種	＊種住（表18.3,6）による
		EP−G	・C種	・A種　＊B種

③ 合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り（SOP）

塗料の種類　＊１種 (18.4.2〜4)（表18.4.1〜3）
・木部　屋外　＊ A種 、屋内　＊　B種
・鉄鋼面　・ A種　＊　B種

④ ｸﾘｱｰﾗｯｶｰ塗り（CL）

種別　・ A種　＊ B種 (18.5.2)（表18.5.1）
A種の場合における、種住（表18.5.1）の工程２ 塗料の種類：

⑤ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（NAD）

・ モルタル面及びプラスター面　・ A種　＊ B種 (18.6.2)（表18.6.1）

6 耐候性塗料塗り（DP）

・ コンクリート面及び押出成形セメント板面　・ A種　・ B種　・ C種 (18.7.2〜4)（表18.7.1〜3）
上塗り塗料の等級　・鉄鋼面　（　　）級
・亜鉛めっき鋼面　（　　）級

⑦ つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り（EP−G）

・ コンクリート面及びボード面等　・ A種　＊ B種 (18.8.2〜5)（表18.8.1〜4）
・屋内の鉄鋼面　・ A種　＊ B種

8 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り（EP）

種別　・ A種　＊ B種 (18.9.2)（表18.9.1）

9 ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾆｽ塗り（UC）

種別　・ A種　＊ B種 (18.10.2)（表18.10.1）
種住（表8.10.1）の工程1の着色　・適用する

10 ステイン塗り

・ピグメントステイン (18.11.2)（表18.11.1）
・オイルステイン（OS）　・水性　・油性

11 木材保護塗料塗り（WP）

種別　・ A種　＊ B種 (18.12.2)（表18.12.1）

12 仕上げ塗料塗り（各種）

＊特記あり (18.4〜18.12)

塗装名	種　別	備　考

19 内装工事

① ビニル床シート張り

材料 (19.2.2)

種　類	JIS記号	厚さ（mm）	色柄	備　考
＊発泡層のないもの	＊FS	・2.0	＊無地　・マーブル柄	
・発泡層のあるもの	・HS	・2.8	＊斑物　・無地	

特殊機能（・ 帯電防止　・ 耐動荷重性　・ 防滑性　・耐薬品性）
再生ビニル樹脂系材料の合計重量が、製品の総重量比で 15%以上使用されていること。
（PFの場合を除く）
接合部の処理　＊　熱溶接工法　・ 突付け（施工箇所：　　） (19.2.3)

② ビニル床タイル張り

材料 (19.2.2)

種類の名称	記号	色柄	厚さ（mm）	寸法（mm）	備　考
＊ｺﾝﾎﾟｼｼｮﾝﾋﾞﾆﾙﾀｲﾙ（接着形）	KT	・無地 ・斑物	＊ 2.0 ・	・300×300 ・450×450 ・500×500 ・	
・単層ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾙ（接着形）	TT				
・複層ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾙ（接着形）	FT				
・置敷きﾋﾞﾆﾙﾀｲﾙ（置敷形）	FOA				
・薄形置敷きﾋﾞﾆﾙﾀｲﾙ（置敷形）	FOB				

・ 特殊機能床

シート・タイルの種類		種　類	性　能	厚さ（mm）	寸法（mm）
・帯電防止床	・シート				
	・タイル	下記による			
・視覚障がい者用床タイル			―		
・耐動荷重性床シート			―		
・防滑性床	・シート		―		
	・タイル		―		
・耐薬品性	・シート				
	・タイル				

再生ビニル樹脂系材料の合計重量が、製品の総重量比で 15%以上使用されていること。

3 帯電防止床タイル張り

材料 (19.2.2)

種　類	厚さ（mm）	性　能
・コンポジションビニル床タイル	＊2.0	体積抵抗値（JIS K 6911による） 1.0X10^9 Ω以下、または、 漏洩抵抗値（JIS A1454による） 1.0X10^10　Ω未満
・ホモジニアスビニル床タイル	＊4.0又は5.0	

4 誘導用,注意喚起用床材

視覚障害者用床タイル (19.2.2)

適用箇所	タイプ	材　質	形　状
・屋内 ・屋外	・埋め込み	・コンクリート 表面材：・有（・合成ゴム　・磁器） ・無	ブロックパターンは JIS T 9251による ＊ 寸法は300mm角とする ＊ 色彩は周囲の床面との色の明度の差が大きく容易に識別できるものとする。
		・レジンコンクリート	
	・張付け	・磁器質タイル	
		・合成ゴム	
		・塩化ビニル系	
	・溶融	・熱可塑性樹脂	

⑤ ビニル幅木

材質の種類　＊ 軟質　・ 硬質 (19.2.2)
高さ（mm）＊ 60　・ 75　・ 100
厚さ（mm）＊ 1.5以上

6 ゴム床タイル

種類　・ 単層品　・ 積層品 (19.2.2)
色柄　（　　）
厚さ（mm）・3.0　・4.5　・6.0　・9.0
寸法（mm）（　　）

7 カーペット敷き

消防法に基づく防炎性能を有するものとし、防炎表示のあるものとする。 (19.3.1)
・敷じゅうたん（JIS L4404） (19.3.1〜19.3.4)（表19.3.1）

種　別	敷り方	パイル形状	帯電性	色柄
・A種 ・B種 ・C種	・ｳｨﾙﾄｯｶｰﾍﾟｯﾄ ・ﾀｯﾌﾄﾞﾌｫｰｽﾄﾞｶｰﾍﾟｯﾄ	・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用	人体帯電圧 ＊3kv以下	＊単一色（無地） ・斑物（標準品）

色柄、パイル糸の種類等　種別：・A種　・B種　・C種
下敷き材　＊反毛フェルト（JIS L 3204）の第２種１号 呼び厚さ 8mm (19.3.3)
敷じゅうたんの接合方法　＊ ﾋｰﾄﾄﾞｿﾞﾙ工法　・垂直糸若しくは合成繊維糸手縫いでつづり縫い

・ タフテッドカーペット（JIS L 4405） (19.3.2)（19.3.3）（表19.3.2）

パイル形状	パイル長（mm）	工法	帯電性
・カットパイル	＊5〜7　・	＊全面接着工法 ・グリッパー工法	人体帯電圧 ＊3kv以下
・マルチレベルループ	＊4〜6　・		
・レベルループパイル	＊4		
・カット、ループ併用			

下敷き材　＊反毛フェルト（JIS L 3204）の第２種１号 呼び厚さ 8mm

・ タイルカーペット（JIS L4406） (19.3.2)（19.3.3）

種別	パイル形状	寸法	総厚さ	敷き方
＊第一種 ・第二種	＊ループパイル ・カットパイル ・カット、ループ併用	＊500×500	＊6.5	平場　＊市松敷き　・模様流し 階段部　＊模様流し　・市松敷き

見切り、押え金物　・適用する（材質、形状等;　・図示　・　）　・適用しない (19.4.2)

8 合成樹脂塗床

材料 (19.4.2〜19.4.4)（表19.4.1〜表19.4.8）

種　別	施工箇所	工　法	仕上げの種類
・ 厚膜型塗床材（弾性ウレタン樹脂系塗床）			＊ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ
・ 厚膜型塗床材（弾性エポキシ樹脂系塗床）		・ 薄膜流しのべ工法 ・ 厚膜流しのべ工法 ・ 樹脂モルタル工法	・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ
・ 薄膜型塗床材			
・ アクリル樹脂塗床（JIS K 5970）			工程 塗布量 ＊0.25Kg/㎡以上 ・　kg/㎡ 表面仕上げ ・ 平滑　・ 防滑 溶剤 ・ 水性系　・ 溶剤系 ・ 無溶剤系 仕上げ色 ・標準色

⑨ 床用塗料塗り

材　質　ウレタン樹脂系塗料（＊　標準色　・　　）
仕上種別　＊ 平滑仕上げ　・ 防滑仕上げ
塗布量　プライマー塗のうえ主剤２回塗りとし、総塗布量は 0.5kg/m2以上とする

⑩ 防塵用塗料塗り

材　質　水性アクリル系樹脂塗料（＊　標準色　・　　）
仕上種別　コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗布量　主剤２回塗とし、総塗布量は 0.25kg/㎡ 以上とする。

11 フローリング張り

フローリングは、JAS 1073による工場塗装品とする。

・ 単層フローリング (19.5.2〜19.5.7)（表19.5.1〜表19.5.6）

品名	工法	厚さ（mm）	樹種	幅,長さ（mm）
・フローリングボード　1等	・釘どめ工法（根太張り）	＊ 15 ・	・なら ・かば桜 ・	幅：　＊75以上 ・ 長さ：＊400以上 ・
	・釘どめ工法（直張り）	＊12以上 ・		
	・接着工法	＊8以上		
・フローリングブロック　1等	・接着工法	・		
・モザイクパーケット　1等	・接着工法	・		

＊ 複合フローリング

品名	工法	種別	樹種	厚さ,幅,長さ（mm）
天然木化粧複合フローリング	・釘どめ工法（根太張り）	・A種 ・C種	・なら ・	＊種仕表（19.5.2）による ・
	・釘どめ工法（直張り）	・A種 ・C種	・なら ・	＊種仕表（19.5.4）による ・
＊一般塗装品 ・WPC加工品	・接着工法	・A種 ・C種	・なら ・	＊種仕表（19.5.6）による ・

12 畳敷き

畳の種別　・A種　・B種　・C種　・D種 (19.6.2)（表19.6.1）
畳床の記号（　）

13 ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ床下地材

畳下地　厚さ（mm）＊ 40　・ 65　・ 80
フローリング類　厚さ（mm）＊ 80　・ 95

14 せっこうボードその他のボード張り

(19.7.2)（表19.7.1）

種　類		記号	厚さ（mm）、規格等
木質系セメント板	・硬質木毛セメント板	HW	・15　・20　・25
	・中質木毛セメント板	MW	・15　・20　・25
	・普通木毛セメント板	NW	・15　・20　・25
	・硬質木片セメント板	HF	・12　・15　・18　・21
	・普通木片セメント板	NF	・30
・けい酸カルシウム板		FK	ﾀｲﾌﾟ2（無石綿）・6・8・10　かさ密度・0.8・1.0
・火山性ガラス質複層板		VS	・
・ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	・単板張り	PB	・10・12・15・18　・無研磨板　・研磨板
	・化粧		・10　・12　・単板ﾅﾁｭﾗﾙ　・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾗﾐﾈｰｼｮﾝ　・塗装
繊維板	・ﾃｯｸﾎﾞｰﾄﾞ	MDF	・3　・7　・9　・12
			・2.5　・3.5　・5　・7
	・素地		（・無研磨板　・研磨板）（・スタンダード　・ﾃﾞｺﾊﾟｰﾄﾞ）
	・化粧		・2.5　・3.5　・5　・7
			・内装用　・外装用
	・ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ		A種（・天井仕上　・内装仕上　・　　）
			・9　・12　・15　・18
吸音材料	・ロックウール化粧吸音板	DR	＊フラットタイプ（＊9　・12　・　）
			・凹凸タイプ（＊12　・15　・19　・　）
	・ロックウール化粧吸音板（軒天井用）		＊フラットタイプ　9（（個）不燃）
			・凹凸タイプ　（＊12　・15）（（個）不燃）
	・ロックウール吸音ﾎﾞｰﾄﾞ1号	RW−B	・25
	・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音32K	GW−B	・25（ｶﾞﾗｽｳｰﾙ32K）
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ製品	・せっこうボード	GB−R	・12.5（不燃）　・15.0（不燃）
	・不燃積層せっこうボード	GB−NC	・9.5（不燃）　化粧無（下地張り用） 化粧有（裏板　・　）
	・ｼｰﾘﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ	GB−S	・12.5（（個）不燃）
	・強化せっこうボード	GB−F	＊12.5（不燃）・15.0（不燃）
	・せっこうラスボード	GB−L	・9.5
	・化粧せっこうボード	GB−D	・9.5（準不燃）　・12.5（不燃）幅440mm程度 専用下地材有り 模様（・トラバーチン　・石目　・石目）
	・吸音穴あきせっこうﾎﾞｰﾄﾞ	GB−P	・9.5（不燃）　・12.5（不燃）
・メラミン副飾化粧板			JIS K6903による　厚さ1.2

＊ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ、繊維板、木質系ｾﾒﾝﾄ板は、「富山県グリーン購入調達方針」に適合した製品を使用するよう努力すること。
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材　＊ 適用する　・ 適用しない
目地工法の種類　・ 縦目処理工法　・ 突付け工法　・目透し工法
エッジの種類　・ テーパーエッジ　・ ベベルエッジ　・ スクエアエッジ (19.7.3)
合板の張付け　・A種　・B種 (19.7.3)（表19.7.3）
＊その他の合板張りの規定は、12章による。
天井ボードの重ね張りの張付け方法　＊製造所の仕様による (19.7.3)

⑮ 壁紙張り

材料 (19.8.2)

施工箇所	壁紙の種類						防火性能の級別	備　考
	紙	繊維（織物）ﾌｪﾙﾄ	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾌｨﾙﾑ	無機質	塩化ﾋﾞﾆﾙ	その他		
仕上げ表による					○		＊不燃　◎準不燃　・難燃	
							＊不燃　・準不燃　・難燃	
							＊不燃　・準不燃　・難燃	
							＊不燃　・準不燃　・難燃	

素地ごしらえ (19.8.3)（表18.2.4）（表18.2.5）（表18.2.7）
モルタル、コンクリート面　＊ B種　・ A種（施工箇所：　　）
せっこうボード、ケイカル板面　＊ B種　・ A種（施工箇所：　　）

⑯ 断熱材

＊断熱材は、原則として「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」における特定調達品目を使用する。

材料 (19.9.2)（19.9.3）

種　類		施工箇所	厚さ（mm）	品質等
・押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板 ・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材 ・ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材 ・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材	＊2種ｂ	＊一般部	＊25 ・	スキン層 ・有 ・無（防湿ﾌｨﾙﾑ設置）
	・3種ｂ	・接地部分 ・壁上	＊35	
	・	・	・ ・	
◎現場発泡断熱材	◎A種1	＊断熱材補修部分	・15・20 ・25◎40	難燃性　＊3級 ・2級
	＊A種1H	◎ 冷蔵加工室		
・断熱材兼用型枠		・壁（図示の範囲）	＊40以下	断熱抵抗 ＝厚さ／熱伝導率 ＝0.676以上 （t・m2・kl/w）
		製造所：　建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの		

⑰ 乾式耐火間仕切壁

耐火性能		下地材等	構造方法	仕上げ材等
耐火（非耐力壁）	＊ 大臣認定品 ・ 告示仕様	軽量鉄骨壁下地	両面	・強化せっこうボードt12.5 ＋硬質せっこうボードt9.5 ◎強化せっこうボードt12　二重張り ・
			片面	・強化せっこうボードt21　二重張り ・

大臣認定品とは、建築基準法に基づく耐火構造の通則的指定又は個別的指定を受けたものとする。

工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺 A1：non A3：non	一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所 東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル 一般建築士事務所　登録（東京都）知事　第44606号 一般建築士登録　第190508号　大村　浩之	訂正事項　DATE　CHECK	図名　特記仕様書（4）
作成日	2024.2.26	確認			図番　A-005

章	項目	特記事項

① 共通仮設

① 適用

※適用基準等の一般共通事項は、特記仕様書（1）によるものとする。
・改修特記仕様書において、特記仕様書（1）～（5）と共通する事項についてはそれらを適用する。

（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「標仕」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」以下「改修標仕」という。）による。
（2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

② 仮設工事

1 足場その他（新営参照）

屋根工事、小屋組みの立て方工事における墜落事故防止対策 [2.2.1]
足場 ・ 渡り歩廊 ・ 水平足場 ・ はしご型足場 ・ 可動式足場
装飾繞材 ・ 墜落防護さく ・ 養面、開口部墜落防護工 ・ 養用ネット ・ 親綱
屋根勾配 ・ 陸屋根（水平勾配含） ・ 3.5/10未満 ・ 3.5/10～5.5/10 ・ 5.5/10以上

② 既存部分の養生

既存部分の養生方法 ※ ビニールシート、合板等 [2.3.1]
既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニールシート等
既存ブラインド、カーテン等の養生方法及び保管場所 ・ 行う（保管場所：・図示 ・ ）
固定された備品、机・ロッカー等の移動 ・ 行う（図示）

③ 仮設間仕切り等

仮設間仕切り等の種別 [2.3.2][表2.3.1]

種別		仕上げ材（mm）		充填材（mm）	塗装
・A種	※軽量鉄骨	※せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（※9.5 ・ ）		（厚さ ）	※無
※B種	・木造	・合板（※9 ・ ）			・有（・片面 ・両面）
・C種	単管	防炎シート			
・仮設扉	※木製扉	合板張り程度		・行う（厚さ ）	※無 ・有（・片面 ・両面）
	・				

③ 防水改修工事

① 既存防水層等の撤去及び既存下地の処理

既存保護層、防水層等の撤去 ・図示 ・なし
既存下地の処理 補修箇所の形状、長さ、数量 ・図示 ・なし [3.2.6]
立上り部の既存防水層及び保護層の撤去 ※行う ・行わない
改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける [3.2.5]
工法（・P0AS ・P0ASI ・P0D ・P0DI ・P0S ・P0SI ・P0X）
仕上げ塗料の除去 既存露出防水層 ・行う 工法（・M4AS ・M4ASI ・M4C ・M4DI）
既存塗膜防水層 ・行う 工法（L4X）

2 アスファルト防水 [3.1.4][表3.1.1][3.3.3][表3.3.3~10]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水工法の種別	脱気装置
保護防水 ・P1B		・B−1 ※B−2	・有 ・無
・P1BI		・BI−1 ※BI−2	・有 ・無
・P2AI		・AI−1 ※AI−2・AI−3	・有 ・無
・P2A		・A−1 ※A−2 ・A−3	・有 ・無
露出防水 ・M4C		・C−1 ※C−2 ・C−3 ・C−4	・有 ・無
・P0D ・M3D		・D−1 ※D−2	・有 ・無
・P0DI ・M3DI ・M4DI		・DI−1 ※DI−2	・有 ・無
屋内防水 ・P1E ・P2E		・E−1 ※E−2 保護層：・設ける ・設けない	・有 ・無

改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ JIS A 6013 ※改修標仕（表3.3.3）～（表3.3.9）による [3.3.2]
部分貼着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ JIS A 6013 ※改修標仕（表3.3.3）～（表3.3.9）による
・ 断熱材 種類：・屋根保護防水断熱工法 ※押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種bA（ｽﾁﾛﾝ層付）
・押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種bA（ｽﾁﾛﾝ層付）
・屋根露出防水断熱工法 ・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材（・2種1号 ・2種2号）
厚さ： ※ 25mm ・ 30 ・ 35
・ 押え金物 ※ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製L−30×15×2.0mm程度 ・図示 [3.3.2]
・ 立上り部 断熱材の設置： ・有 ※ 無 [表3.3.4][表3.3.5]
絶縁シートの設置： ・有 ※ 無
・ 保護層の施工 平場： ・保護コンクリート 厚さ ・こて仕上げ ※水上80mm以上 [3.3.5]
・床タイル張仕上 ※水上60mm以上
立上り部： ・ 乾式保護材 （材料 ・押出成形セメント板 ・金属積層合板）
・ コンクリート押え
・ モルタル押え
・ れんが押え （材料 ※JIS R 1250 普通れんが及び化粧れんが）
・ 仕上塗料塗り 種類 ※ 図示 ・ [表3.3.7～表3.3.9]
使用量 ※ 製造所の仕様による ・ 図示
・ 脱気装置 工法 （・P0D ・M3D ・P0DI ・M3DI ・M4DI）
種類 ※ 製造所の指定（・ ｽﾃﾝﾚｽ製 ・ ｱﾙﾐ製 ・ 塩化ﾋﾞﾆﾙ製） [3.3.3]
設置数量 ※ 製造所の指定 ・1箇所/50m2 ・1箇所/（ ）m2
・ 絶縁断熱工法のﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※ ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の指定 ・図示による
・ 屋上排水溝 ※ 図示による ・ [3.3.5]

3 改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ防水 [3.1.4][表3.1.1][3.4.2][3.4.3][表3.4.1][表3.4.2][表3.4.3]

防水改修工法の種類	施工箇所	断規防水層の種別		脱気装置	防湿シート
密着工法 ・M4AS		・AS−T1	下層用 ※2.5以上 上層用 ※3.0以上	・有 ・無	
		・AS−T2	※4.0以上		
		・AS−J2	※3.0以上		
絶縁工法 ・M3AS ・P0AS		・AS−T3	下層用 ※1.5以上 上層用 ※3.0以上	・有 ・無	
		・AS−T4	※4.0以上		
		・AS−J1	下層用 ※1.5以上 上層用 ※2.0以上		
		・AS−J3	※3.0以上		
断熱工法 ・M3ASI ・M4ASI ・P0ASI		・ASI−T1	下層用 ※1.5以上 上層用 ※3.0以上	・有 ・無	・有 ・無
		・ASI−J1	下層用 ※1.5以上 上層用 ※2.0以上		

改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ JIS A 6013 ※改修標仕（表3.4.1）～（表3.4.3）による [3.4.2]
部分貼着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ JIS A 6013 ※改修標仕（表3.4.1）～（表3.4.3）による
・ 断熱材 種類：・ 押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種bA（ｽﾁﾛﾝ層付）
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材（・2種1号 ・2種2号）
厚さ： ※ 25mm ・
・ 押え金物 ※ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製L−30×15×2.0mm程度 ・図示
・ 仕上塗料塗り 種類 ※ 図示 ・ [表3.4.1～3]
使用量 ※ 製造所の仕様による ・ 図示
・ 脱気装置 種類 ※ 製造所の指定（・ ｽﾃﾝﾚｽ製 ・ ｱﾙﾐ製 ・ 塩化ﾋﾞﾆﾙ製） [3.4.3]
設置数量 ※ 製造所の指定 ・1箇所/50m2 ・1箇所/（ ）m2

4 合成高分子系ルーフィングシート [3.1.4][表3.1.1][3.5.2][3.5.3][表3.5.1~3]

防水改修工法の種類		施工箇所	新規防水層の種別 厚さ（mm）	脱気装置
・P0S ・S4S			・S−F1（※1.2 ・ ） ・S−F2（※2.0 ・ ）注1 ・S−M1（※1.5 ・ ） ・S−M2（※1.5 ・ ）注1	・有 ・無
・S3S			・S−F1（※1.2 ・ ） ・S−F2（※2.0 ・ ）注1	・有 ・無
・M4S			・S−M1（※1.5 ・ ） ・S−M2（※1.5 ・ ）注1	
断熱工法	・P0SI ・S4SI		・S−F1（※1.2 ・ ） ・S−F2（※2.0 ・ ） ・S−M1（※1.5 ・ ）注2 ・S−M2（※1.5 ・ ）注2	・有 ・無
	・S3SI		・S−F1（※1.2 ・ ） ・S−F2（※2.0 ・ ）	・有 ・無
	・M4SI		・S−M1（※1.5 ・ ）注2 ・S−M2（※1.5 ・ ）注2	
屋内防水	・P1S		・S−C1 （※1.0 ・ ）注3	

合成高分子系ｼｰﾄｺﾝｸﾘｰﾄ JIS A 6008 ※改修標仕[表3.5.1]~[表3.5.3]による
絶縁シート及び可塑剤移行防止用シート 材質：※ 発泡ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ [3.5.2]
・ 固定金具 種類： ※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
厚さ： ※ 0.4mm以上
・ 仕上塗料塗り 種類： ※ 図示 （仕様：※ 非歩行 ・ 軽歩行） ・ [表3.5.1][表3.5.2]
使用量： ※ 製造所の仕様による ・ 図示
・ 断熱材 種類：・ 機械的固定工法 ・ 硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材（・2種1号 ・2種2号）
・ 接着工法 ・ 押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種bA
・ 硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材（・2種1号 ・2種2号）
厚さ： ※ 25mm ・ 30 ・ 35
・ 脱気装置 種類： ※ 製造所の指定（・ ｽﾃﾝﾚｽ製 ・ ｱﾙﾐ製 ・ 塩化ﾋﾞﾆﾙ製） [3.5.3]
設置数量：※ 製造所の指定 ・1箇所/50m2 ・1箇所/（ ）m2
注1： 新規防水層の使用分類 ・ 非歩行 ・ 軽歩行（ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ 厚み2.0mmとする）
注2： 下地の防湿方法 防湿フィルム ※ 設置する ・ 設置しない（スキンタイプ断熱材使用）
注3： 工程4の保護ｺﾓﾘﾝの塗厚 ※ 図示 ・
既存下地がﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄの場合 接着工法における目地処理 ・ 行う ・ 行わない
入隅部の増張り（S−F1、SI−F1） ・ 行う ・ 行わない
・ 機械的固定方法の場合
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3）倍の風圧力に対応した工法

5 塗膜防水 [3.1.4][表3.1.1][3.6.3][表3.6.1][表3.6.2]

・ウレタンゴム系

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	脱気装置
・P0X ・L4X		・X−1 ・X−2 ・X−2H	・有 ・無

・ゴムアスファルト系 [表3.6.3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	保護層の仕様	脱気装置
・P1Y ・P2Y		※Y−2	・保護コンクリート ・保護モルタル	・有 ・無

・ 仕上塗料塗り 種類 ※ 図示 ・ [表3.6.1][表3.6.2]
使用量 ※ 製造所の仕様による ・ 図示
・ 脱気装置 種類 ※ 製造所の指定（・ ｽﾃﾝﾚｽ製 ・ ｱﾙﾐ製 ・ 塩化ﾋﾞﾆﾙ製） [3.6.3]
設置数量 ※ 製造所の指定 ・1箇所/50m2 ・1箇所/（ ）m2

6 シーリング

※下表以外は、改修標仕[表3.7.1]を標準とする [3.7.2]

施工箇所	シーリング材の種類（記号）	目地寸法（mm）

（注）仕上有とはｼｰﾘﾝｸﾞ材表面に仕上塗材、塗装等を行う場合を示す
・ ｼｰﾘﾝｸﾞ材表面に仕上塗材、塗装等を行わない場合 （施工箇所 ）

改修工法の種類	施工箇所
・ ｼｰﾘﾝｸﾞ充填工法	
・ ｼｰﾘﾝｸﾞ再充填工法	
・ 拡幅ｼｰﾘﾝｸﾞ再充填工法	
・ ブリッジ工法	

[表3.1.2][3.7.4~7]

ﾎﾞﾝﾄﾞﾌﾞﾚｰﾛｰ張り及びｴｷｽﾊﾟﾝﾄﾞｼｰﾄ張り（ﾌﾟﾘｳｪｯﾄ工法の場合） ・適用する [3.7.7]

接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験（対象施工部位 ） [3.7.8]
撤去既存シーリングの処理
事前調査等 現場においてサンプルを採集し、専門分析機関で分析を行う。
採取箇所 ※外壁目地 ・建具周目地 ・図示
採取個所数 ・部材が異なる毎に1箇所 ・図示
分析によりPCBの含有が確認された場合は施工調査等を行い、適切に処理を行う。
施工調査等 調査範囲 ※今回改修工事範囲全て ・図示
調査内容 シーリング使用部位及び長さの確認
施工範囲と工事管理区分の確認
仮設計画
廃棄物等の搬出方法

7 とい

配管用開口 材質： ※ 硬質ポリ塩化ビニル管 （・VP ・RF−VP） [3.8.2][表3.8.1]
とい受金物及び足金物 ※ 改修標仕[表3.8.2]による ・ 図示 [3.8.2]
軒どい取付間隔 ※ 0.5m以下（多雪地域仕様） ・ 図示
調管製といの防露巻き ※ 改修標仕[表3.8.4]による ・ 図示 [3.8.3]
たてどい受け金物の取付け ※ 図示 ・ 接着系アンカー（径： 全長： ）

8 アルミニウム製笠木

部材の種類 ・オーブン形式; ・押出形材（・250形 ・300形 ・350形） ・板材折曲げ形
・シール形式 ； ※板材折曲げ形 [3.9.2][表3.9.1]
既存笠木等の撤去 ・行う（範囲 ※図示 ・ ）
板材折曲げ形 取付方法 ※図示
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3）倍の風圧力に対応した工法

4−1 外壁改修工事共通事項

① 施工数量調査

調査範囲 ※外壁全面 ・図示の範囲 [1.5.2]
・既存外壁仕上げ材等撤去後の躯体面（仕上げ材等撤去範囲）
調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
コンクリート、モルタル及びタイル等のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
また、欠損部の寸法形状等を調査する。
モルタル及びタイルの浮き部分を壁面に表示する。
仕上げ塗材等の劣化部分、はく落部分等を壁面に表示する。
また、既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。
調査報告書の部数 ※2部

② 改修使用材料

可とう性エポキシ樹脂（JIS A 6024） [4.2.4]

項目	引張り強さ（N/mm2）	伸び（%）	引張り接着性 最大引張り応力（N/mm2）	引張り接着性 破断時の伸び（%）
常温特性	1.0以上	30.0以上	1.0以上	10.0以上
低温性	1.0以上	30.0以上		
加熱変化	1.0以上	30.0以上		

比 重 表示値：±0.10
押出し性 60秒 以下
スランプ 3.0mm 以下
加熱減量 5.0% 以下
その他 1） 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
2） 対象とする被着体を浸さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
3） 常温常湿（温度5℃～35℃、湿度45%～85%）において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後にあっても、品質・性能の各項目に適合していること。

ポリマーセメントモルタル [4.2.4]

項目	曲げ強さ（N/mm2）	圧縮強さ（N/mm2）	接着強さ（N/mm2） 標準時	湿潤時	低温時
性 能	6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態 だれの下がり量は5mm以内かつ、ひび割れの発生がないこと。
透水性 裏面の濡れ、水滴の付着がないこと。
その他 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙに用いる高分子ｴﾏﾙｼｮﾝは、常温上湿において製造後6ヶ月保存しても変質しないこと。

パテ状エポキシ樹脂 （JIS A 6024） [4.2.4]

項目	初期硬化性（N/m2）	接着強さ（N/m2）	圧縮強さ（N/mm2）	曲げ強さ（N/mm2）	硬化収縮率（%）
品 質	標準：2.0以上	標準：6.0以上	50.0以上	30.0以上	3.0以下

その他 1） 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
2） 対象とする被着体を浸さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
3） 常温常湿（温度5℃～35℃、湿度15%～85%）において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後にあっても、品質・性能の各項目に適合していること。
4） 試験方法はJIS A6024（建築補修用注入ｴﾎﾟｷｼ樹脂）に準ずる。

エポキシ樹脂モルタル （JIS A 6024） [4.2.4]

項目	接着強さ（N/m2）	圧縮強さ（N/mm2）	曲げ強さ（N/mm2）
品 質	1.0以上	20.0以上	10.0以上

その他 1） こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がりが良好であること。
2） 形状に異常がなく、だれが生じない。
3） 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
4） 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
5） 常温常湿（温度20±1.5℃、湿度65±20℃）において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後にあっても、品質・性能の各項目に適合していること。

ポリマーセメントスラリー [4.2.4]

項目	注入性 広がり速度（cm/s）	注入性 粘調整（粘調係数）	保水性（保水係数）	長さ変化率（収縮）（%）	引張り接着性（28日材齢）（N/mm2）	曲げ性能（28日材齢）（N/mm2）	吸水性（72時間）（%）	耐久性（劣化曲げ強さ）（N/mm2）
品質	3以上	0.05~1.00	0.35~0.55	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上

吸水調整材 [4.3.5][表4.3.2]

項目	全固形分（%）	吸水性（g）	接着強度（N/mm2）	界面破断率（%）
品質・性能	表示値±1%以内	30分間で1g以下	0.98以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

既調合モルタル [4.2.4]

項目	保水率（%）	単位容積質量（kg/l）	接着強さ（N/mm2） 標準時	温冷繰返し後	長さ変化率（%）	曲げ強さ（N/mm2）
品質・性能	70.0以上	1.8以上	0.6以上	0.4以上	0.2以下	4.0以上

アンカーピン 材質 ※ステンレスSUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
注入口付アンカーピン 材質 ※ステンレスSUS304、呼び径外径6mm

4−2 コンクリート打放し仕上げ外壁改修工事

① ひび割れ部改修工事

※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（ml/m）
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	※200~300	※130
		・	・
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・鋼線式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3以下	※50~100	※40
	0.3超え~0.5以下	※100~200	※70
	0.5超え~1.0以下	※150~250	※130
		・	・

注入材料 ※建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂（JIS A 6024低粘度形又は中粘度形） [4.2.4]
注入状況の確認 ※行わない [4.2.5]
（コア抜取り） ・行う 補修方法： ※充填工法（・ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ ・ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ ）
個数： ※500m毎（端数切上）

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.4][4.2.6]

充填材料	種別	備考
・シーリング材	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材 ・	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIS A 6024による	

・シール工法 [4.1.4][4.2.4][4.2.7]
シール材料 ・パテ状エポキシ樹脂 （4−1、2項 改修使用材料による）
・可とう性エポキシ樹脂（4−1、2項 改修使用材料による）

② 欠損部改修工事

※充填工法 [4.1.4][4.2.4][4.2.8]
充填材料 ・エポキシ樹脂モルタル （4−1、2項 改修使用材料による）
・ポリマーセメントモルタル（4−1、2項 改修使用材料による）

4−3 モルタル塗り仕上げ外壁改修工事

① 既存ﾓﾙﾀﾙ塗りの撤去

・ 行う（※ 全面 ・ 図示の範囲）

② ひび割れ部改修工法

既存モルタルの撤去 ・ 行う（範囲は図示 撤去部分の補修は、[3.欠損部改修工法]による）
・ 行わない（詳細は下記による）

※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.5][4.3.6]

注入工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（ml/m）
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	※200~300	※130
		・	・
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・鋼線式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3以下	※50~100	※40
	0.3超え~0.5以下	※100~200	※70
	0.5超え~1.0以下	※150~250	※130
		・	・

注入材料 ※建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂（JIS A 6024低粘度形又は中粘度形） [4.2.4]
注入状況の確認 ※行わない [4.2.5]
（コア抜取り） ・行う 補修方法： ※充填工法（・ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ ・ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ ）
個数： ※500m毎（端数切上）

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.4][4.2.7][4.3.8]

充填材料	種別	備考
・シーリング材	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材 ・	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う

・シール工法 [4.1.4][4.2.4][4.2.7][4.3.8]
シール材料： ・パテ状エポキシ樹脂 （4−1、2項 改修使用材料による）
・可とう性エポキシ樹脂（4−1、2項 改修使用材料による）

③ 欠損部改修工法

・充填工法 [4.1.4][4.2.4][4.2.8][4.3.9]
材料： ※ ポリマーセメントモルタル（4−2、1項 改修使用材料による）
・ エポキシ樹脂モルタル

・ モルタル塗替え工法 [4.1.4][4.2.4][4.3.10]
材料： ・ 現場調合モルタル ・ 既調合モルタル
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置：
※ ｽﾃﾝﾚｽ製ﾗｽｶｰﾄﾞﾝｸﾞを躯縁200mm程度の間隔に打ち込み、ｽﾃﾝﾚｽﾗｽ等を張る。 ・ 図示

④ 浮き部改修工法

既存モルタルの撤去 ・ 行う（範囲は図示 撤去部分の補修は、[3.欠損部改修工法]による） [4.3.4]
・ 行わない（詳細は下記による）

モルタルを撤去しない場合の改修工法の種類	アンカーピンの本数 一般部	アンカーピンの本数 指定部	注入口の間所数 一般部	注入口の間所数 指定部	注入量（個所/ml）
・アンカーピニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・			※25 ・
・アンカーピニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・アンカーピニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・			※25 ・
・注入口付アンカーピニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・
・注入口付アンカーピニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・

既製目地材 ・適用する （形状 ※図示 ・ ） [4.3.5]
・ アンカーピン 材質： ※ ｽﾃﾝﾚｽSUS304 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
・ 図示
・ 注入口付アンカーピン 材質： ※ ｽﾃﾝﾚｽSUS304、呼び径外径6mm
・ 図示

4−4 タイル張り仕上げ外壁改修工事

1 既存タイル張りの撤去

外壁タイル貼り全面 ・図示の範囲
撤去範囲 ※下地モルタルまで ・貼付けモルタルまで ・タイルのみ

2 ひび割れ部改修工法

タイル張り仕上げの撤去 ・ 行う（範囲は図示 露出したｺﾝｸﾘｰﾄ表面又はﾓﾙﾀﾙ表面のひび割れ改修の詳細は4−2章1節又は4−3章2節による） [4.4.2]
・ 行わない（下記の樹脂注入工法を適用する）

※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.5][4.4.6]

注入工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（ml/m）
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	※200~300	※130
		・	・
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・鋼線式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3以下	※50~100	※40
	0.3超え~0.5以下	※100~200	※70
	0.5超え~1.0以下	※150~250	※130
		・	・

注入材料 ※建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂（JIS A6024低粘度形又は中粘度形） [4.2.4]
注入状況の確認 ※行わない [4.2.5]
（コア抜取り） ・行う 補修方法： ※充填工法（・ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ ・ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ ）
個数： ※500m毎（端数切上）

3 欠損部改修工法

既存下地モルタルの撤去 ・ 行わない：タイル部分張替え工法 [4.4.3]
・ 行う ：タイル張替え工法

・ タイル部分張替え工法 [4.4.7]
張付け材料： ※ポリマーセメントモルタル（4−1.1による）
・一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系（JIS A 5557）
1か所当たりの張替え面積： ※0.25m2以下 ・0.25m2を超える

・ タイル張替え工法 [4.4.8]
伸縮調整目地及び、ひび割れ誘発目地位置： ※改修標仕[表4.4.2]による ・図示
・セメントモルタルによるタイル張り
張付け用材料： ・改修標仕[4.4.5]による ・既調合モルタル
下地モルタル塗りの接着力試験： ・行う ※行わない
タイル張りの工法： 外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良縦上げ張り
ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り
・有機系接着剤によるタイル張り
シーリングの種類： 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 ・
伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系 ・
コンクリート素地面の下地処理方法： ・図示
下地調整塗材塗りの接着力試験： ・行う ※行わない
タイルの種類： ・外装タイル（目地詰め ※行う ・行わない） ・ユニットタイル
タイルの見本焼き： ・行う ※行わない
試験張り： ・行う ※行わない

工事名	とやま市漁業協同組合 岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事
作成日	2024.2.26

縮尺 A1：non A3：non
確認

一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所
東京都千代田区岩本町3-4-6 トナカイタワーズビル
一級建築士事務所 登録（東京都）知事 第44606号
一級建築士登録 第190508号 大村 浩之

訂正事項 DATE CHECK

図名	改修特記仕様書（1）
図番	A-007

20 ユニット及びその他工事

① 耐震スリット

方向	タイプ	耐火性能	防水性能
・垂直方向 ・水平方向	※完全（全貫通型）スリット	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し

目地	内壁（幅×深さ）	外壁（幅×深さ）
目地材	シーリング材（見え掛かりのみ）	シーリング材（内外とも）
目地寸法（mm）	※20×10	※20×10

製造所： ※図示による

② 止水板

形　状　・差込式　・据置式　・壁張り式
施行箇所　※図示

③ ｴｷｽﾊﾟﾝｼｮﾝｼﾞｮｲﾝﾄ金物

材　種	クリアランス	耐火性能	遮音性能	断熱帯
・アルミニウム製 ⊙ステンレス製 ・樹脂製 ・	※図示による ・50 ◎150 ◎250	◎耐火型 図示による 時間（分）・60 ◎45 ・非耐火型	・有 ・無	・有 ・無

④ フリーアクセスフロア　(20.2.2)

施工箇所	構造	高さ(mm)	寸法(mm)	許容水平力	耐荷重性能注（1）	表面仕上げ材注（2）
◎ WC	・置敷式 ◎支柱調整式	◎ 200	□500 ・	◎1.0G ・0.6G	・3,000N ◎5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット
◎ 渉協事務室 無線室	・置敷式 ・支柱調整式	・		・1.0G ・0.6G	・3,000N ◎5,000N	・帯電防止床タイル ◎タイルカーペット

注 1．耐荷重性能（5,000N）については、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等のものとする。
注 2．表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による
寸法精度　※種仕20.2.2（2）（ｲ）（g）～（c）による
スロープ及びポーダー　※製造所の標準仕様（ただし、構成材は夫仕による）　・図示
コンセント等の取付け対応　※製造所の標準仕様　（コンセント本体は別途設備工事）
コンセントの箇所数　※10～15m　に1箇所程度
配線取出しパネル　フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　※20～30%
※配線取り出し開口：　40mm×80mm　程度の開口
空調用吹き出しパネル　※無し
・有り（※固定式　・可変式　：施工箇所は図示）

5 可動間仕切　(20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ（mm）	表面材種厚さ（mm）	パネル表面仕上げ	遮音性(dB/500Hz)
※パネル式 ・スタッド式（内蔵） ・スタッド式（露出） ・スタッドパネル式		※鋼板 （※0.6・0.8）	※メラミン樹脂又はアクリル樹脂焼付け ・壁紙	・0　・12　・20 ・28　・36

不燃材料の認定　・　有り

6 移動間仕切　(20.2.4)

遮音性による区分	厚さ（mm）	表面材	表面仕上げ（注2）	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ（注1）		※鋼板	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

注 1．JIS A 1416による試験方法において、中心周波数500Hzの音の透過損失が36dB以上の性能を有するものとする。
注 2．表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事　15壁紙張りによる。
パネル圧接装置操作方法　※製造所標準仕様

⑦ トイレブース　(20.2.5)

※パネル表面材、金物、（脚部、ﾄﾞｱｴｯｼﾞ、笠木形状）については建具表による
表面仕上げ材　⊙メラミン樹脂系化粧板（標準色　アルミ製コーナーエッジ付き）
・ポリエステル樹脂系化粧板
脚部　※幅木タイプ　・支柱タイプ
笠木形状等　・畳有り　・畳無し
ドアエッジの材質　※製造所の仕様による　・アルミニウム製　・ステンレス製　・表面材と同材

8 階段滑止め　(20.2.7)

材　種　ステンレスSUS304
形　状　ピニルタイヤ入り
両端フラットエンド　※有り（※ビニル製　・ステンレス製）　・無し
幅（mm）　※35　・
取付工法　※接着工法　・埋込み工法

9 手すり　(20.2.6)

設置用途：　・階段　・転落防止（・吹き抜け　・窓　・　）

種別	施工箇所
※集成材クリアラック一仕上げ	
・ビニル製手すり（幅　約40mm）	
・ステンレスパイプ（HL仕上）	
・鋼製パイプ（・EP－G　・SOP）	

10 黒板及びﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ　(20.2.8)

種類			寸法（mm）	色彩	備考
・黒板	※塗付け	・鋼製 ・ほうろう		※ 緑	※平面　・曲面　・ｽｸﾘｰﾝ付分分
				・ 黒	・曲面（上下スライド）
・ホワイトボード	※ほうろう			・ 白	※平面　・曲面　・ｽｸﾘｰﾝ付分分
					・曲面（上下スライド）

⑪ 表示　(20.2.10)

・室名札、ピクトグラフ、案内板等　※図示による
・衝突防止表示　※図示（市販品　※ｽﾃﾝﾚｽ製　径約30mm　・ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ　）
・非常用進入口等の表示等　※図示（消防法に適合する市販品）
法令に基づく表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。

12 タラップ　(20.2.12)

材料の種類　※ステンレス製
仕上げ　※研磨等の仕上げを行わない
昇降禁止板　・設置する
有かご　※有　・無

13 避雷ライニング　(20.2.13)

適用安全使用温度　※400℃　・650℃

⑭ ブラインド　(20.2.14)

形式	種類		スラットの材質	スラットの幅（mm）
※横型	※ギア式 ・操作鎖式	・コード式	※アルミニウム合金製	※25
・縦型	・1本操作コード ※2本操作コード	・片開き ・両開き	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

⑮ ブラインドボックス及びカーテンボックス

材質	使用区分	内幅×深さ（mm）
・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製（押出型材）	⊙横形ブラインド	※120×150　・90×150　・
・集成材	・縦形ブラインド	※120×80　・150×80　・
⊙鋼製	・カーテン（又はレース共）	※150×80　・180×80　・
・	・カーテン＋横形ブラインド	※180×150

アルミニウム製の表面処理種別　・BC－1種（無色）　・BC－2種（有色）
色彩　・標準色　・特注色　・図示

16 ロールスクリーン　(20.2.15)

材種	操作方法	スクリーンの種類	品質等
・ポリエステル	・ブルコード式（ストッパー付） ・ワンタッチチェーン式 ・チェーン式 ・電動式	・無地 ・柄物 ・遮光タイプ（　級）	

※防炎表示の有るものとする。　(20.2.16)（表20.2.1）

17 ｶｰﾃﾝ及びｶｰﾃﾝﾚｰﾙ

施工箇所	ｼﾝｸﾞﾙ	ﾀﾞﾌﾞﾙ	形式 片引	引分	装置 電動	ﾁｪｰﾝ	手引	生地の種別・品質特殊加工	ひだの種類
	・	・	・	・	・	・	・	・遮光（　級）	
	・	・	・	・	・	・	・		
	・	・	・	・	・	・	・		
	・	・	・	・	・	・	・		

暗幕カーテンの面積、上部及び召合せの重なり　※300mm以上

18 ピクチャーレール

レール　材　質　アルミニウム製（シルバー）
形　式　先付け天井埋込型（見切縁兼用）
ランナー　材　質　本体：爽織製　フック：ステンレス製（可動式）
耐荷重　25kg程度/個
個　数　2個/レール1m

⑲ 天井点検口

目地形状	適用箇所	寸法（mm）
額縁タイプ	下記以外全て	※ 450×450 ・ 600×600
目地タイプ	※図示 ・天井仕上げ材がDRの範囲	

品質及び性能等

項目	材料の品質・規格及び性能
内外枠の材質	ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金押出型材（表面処理：BC－1種又はBC－2種による）（JIS H 4100 A6063S－T5による）
内枠の仕上げ材留付け金具	ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金押出型材、亜鉛めっき鋼板製及び同等の性能を有するもの
ｺｰﾅｰﾋﾟｰｽ及び取付金物等	鋼材に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの
寸法許容差	枠の許容差　±0.5mm以内 外枠と内枠のクリアランス　2.0mm以内

本体の材質	目地の材質	形式等		寸法（mm）	適用箇所	鍵
・ｱﾙﾐ製	※ｱﾙﾐ　・ｽﾃﾝﾚｽ ・黄銅	・一般型 ※密閉型	※屋内外用 ・屋内用	※600×600 ・450×40	・	・有り ・無し
・ｽﾃﾝﾚｽ製	・ｽﾃﾝﾚｽ	・結露防止型				

品質及び性能等

材質	品質、規格及び性能等	
アルミ合金押出型材	JIS H 4100 A 6063Sによる	表面処理
アルミニウム板	JIS H 4000 A 1100P H24による	BA－1種又はBA－2種による ・
ステンレス製	JIS G 4305（目地材はG 4308も含む）のSUS304による	表面処理 HL又はNo.2B程度
寸法許容差（mm）	受け枠寸法の許容差	±0．5
	畳枠寸法の許容差	±0．5
	受け枠と畳枠のクリアランス（片側）	2．0以内
耐荷重性能	荷重Pn=1,000Nにおける畳中央部の残留たわみ	点検口有効径の0．08％以内
	耐破壊荷重	荷重値Pnの2倍以上

21 収納家具、書架・物品棚

	品質	主要構造部材の材料	形状、寸法（mm）	備考
・収納家具	JIS S1033（ｽﾁｰﾙ製収納家具）による	・鋼製 ・木製	※ 図示 ・	
・書架	JIS S1039（書架物品棚）による	・鋼製 ・	※ 図示 ・	※JIS S 1039による種類は図示による 耐荷重による区分 書架（・1種　・2種　・3種） 物品棚（・5種　・6種　・7種）
・物品棚		・鋼製 ・	※ 図示 ・	
・移動式書架・物品棚		※ 図示 ・	※ 図示 ・	

22 ロールスクリーン

市販品　材　質　・塩化ビニル製（コイル状　ステンレス製受枠）
・ビニル製（ステンレス製受枠）
・硬質アルミニウム合金製（受枠とも）
・ステンレス製　SUS304（受枠とも）

23 流し台ユニット

種類	材料等	適用内容	規格・品質等
・流し台	※天板ｽﾃﾝﾚｽ製	※トラップ付き	※優良住宅部品 （ｾﾗｯｼｭｽﾃﾑｷｯﾁﾝ1型）
・コンロ台	※天板ｽﾃﾝﾚｽ製	※バックガード付き	
・つり戸棚	・		
・水切り棚	※ｽﾃﾝﾚｽ製	※1段式	※市販品

形状、寸法は図示による。　品質、性能はJIS A 4420による。

24 屋内掲示板

枠の材質　※　アルミニウム製
表面の材質　※　塩ビ発泡シート張り

㉕ 洗面カウンター

材　種　⊙　メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）　・　人工大理石（仕様は図示）
奥行き（mm）　・　約450　◎　約600

26 防腰垂れ壁

・固定式

材質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備考
※ 網入り磨板ガラス ・ 線入り磨板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き

・可動式

種類	材質	高さ（mm）	備考
・ 垂直降下式（巻取り型）	不燃布（不燃認定品）	※500 ・800	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・ 回転降下式	・鋼板製 ・アルミ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り

降下機構　感感知警報連動及び手動開放装置（埋込型）
品質、規格　（財）日本建築センターの防災性能評定品

27 敷地境界石柵

※　コンクリートブロック製（市販品）　・　花こう岩（文字記号等入り）

28 旗竿

材　質　※　アルミニウム合金製　　操作方法　※　ハンドル式　・　ロープ式
形　式　※　テーパー型　・　同一断面型　　固定方法　・　埋込式　・　ベース式　・　バンド式
地上高さ（m）　・　6　・　8　・　10　・　12
※　旗竿受金物　材種・　ステンレス製SUS304

29 フェンス

形状　※耐雪型（積雪150ｃｍ対応）　・　一般型
種類　・ﾋﾞﾆﾙ被覆ｴｷｽﾊﾟﾝﾄﾞﾌｪﾝｽ　・樹脂塗装ｸﾞﾗｲﾝﾌｪﾝｽ　・鋼管ﾌｪﾝｽ　・ｱﾙﾐﾌｪﾝｽ

30 屋外掲示板

照明器具　※　有り　・　無し
施錠　※　有り　・　無し
材質　枠　※図示（・アルミニウム製　・ステンレス製）
表面　※図示（・塩ビ発泡シート張り　・スチールボード）

31 車止め支柱

材質　・ｽﾃﾝﾚｽ製　仕様：※反射ﾃｰﾌﾟ付　・図示　スプリング：※有　・無
形状：・上下式　・固定式　寸法（mm）：※図示・φ114.3 t2.5 H=GL+700
・図示

21 排水工事

① 排水管

排水管用材料　(21.2.1)（表21.2.1）

材種	管の種類	管形状（接合方法）
※遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管（※1種　・2種）	日形（ゴム接合）
・硬質ポリ塩化ビニル管	※VP　・VU	
・排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管		

・耐衝撃性、耐重性のものは図示
基床の厚さ及び種類　※図示　(21.2.2)
地築に用いる材料　※　種仕（21.2.1）（7）（ｱ）及び（ｲ）　・　図示

② 排水桝及びふた

形状及び寸法　※　図示　(21.2.1)（21.2.2）
地築に用いる材料　※　種仕（21.2.1）（7）（ｱ）及び（ｲ）　・　図示
鋳鉄製マンホールふた　(21.2.1)（21.2.2）

種類	適用荷重	鍵
・水利弁 ・簡易密閉弁（パッキン式）	・密閉形（テーパー・パッキン式） ・中ふた付密閉弁	・T－2用 ・T－6用 ・T－20用	・有り ・無し

上記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会SHASE－S209による
グレーチングふた　(21.2.2)

材質	形式	種類	適用荷重	ﾒﾝﾍﾞｰﾋﾞｯﾁ	上面形状	亜鉛ﾒｯｷ（付着量）
・鋳製 ・ｽﾃﾝﾚｽ製	※受枠付き ・ ・ボルト固定 ※無し ・図示	・溝ふた用（縦断用） ・溝ふた用（横断用） ・桝ふた用 ・かき上げ用 ・U字溝用	・歩行用 ・T－2用 ・T－6用 ・T－14用 ・T－20用 ・T－25用	※細目 ※普通目 ・細目	※凹凸形 ※平形 ・凹凸形	・ ・

3 張きょ、縁石、側溝　(21.3.1)

・　縁石　・　L型側溝　・　U形側溝　・　U形側溝ふた
形状及び寸法　※　図示　・
地築に用いる材料　※　種仕（21.2.1）（7）（ｱ）及び（ｲ）　・　図示　(21.3.2)
砂利地築の厚さ　※　100（mm）　・　図示

④ 材料

コンクリート基礎等に用いる材料　※　種仕（6.14）、設計基準強度18N/mm2による。
ただし、コンクリートが簡易な場合の調合（容積比）セメント1：砂2：砂利4程度とする。
・　図示
埋戻し土　※　B種　・　図示

22 舗装工事

① 路床

路床の材料　(21.2.1)（22.2.2）（22.2.3）（表3.2.1）

種別	形式		厚さ（mm）
・盛土	・A種　※B種　・C種　・D種 ・建設汚泥から再生した処理土		※図示 ・
・凍上抑制層	※再生クラッシャラン　・クラッシャラン　・切込砂利		※図示 ・
・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂（75μmふるい通過量6%以下）		※図示 ・

路床安定処理の適用　※なし　・　あり（・置き換え工法　・安定処理工法）（22.2.3）（表22.2.1）
添加材料　種類　・　普通ポルトランドセメント　・　フライアッシュセメントB種
・　高炉セメントB種　・　生石灰（・特号　・1号）　・消石灰（・特号　・1号）
・　回化材（・　セメント系　・　石灰系）
添加量　kg/m3　（目標CBR　※　3以上　・　）

② 試験

室内CBR試験　(22.2.5)
├添加量を定めるための設計CBR試験　※行う（※乱した土　・乱さない土）　・行わない
├修正CBR試験（路盤材料を対象）　・行う　・行わない
└安定処理土のCBR試験　・行う　・行わない
現場CBR試験　・行う　・行わない
路床締固め度の試験（現場密度試験：砂置換法）　※行う　・行わない
砂の粒度試験　※行う　・行わない
六価クロム溶出試験（地盤改良を行った場合）　※行う　・行わない

③ 路盤　(22.3.2)（22.3.3）

材料　・　砕石　（　・　クラッシャラン　・　粒度調整砕石）・　粒度調整鉄鋼スラグ
※　再生材（　※　クラッシャラン　・　粒度調整砕石）・　水硬性粒度調整鉄鋼スラグ
・　クラッシャラン鉄鋼スラグ
厚さ　※　図示による
路盤締固め度の試験（現場密度試験：砂置換法）　※行う　・行わない

✗ アスファルト舗装

・　アスファルト舗装（表層及び基層の厚さは図示による）　(22.4.2)（22.4.3）
材料　アスファルト　※　再生アスファルト　・　ストレートアスファルト
骨材　※　道路用砕石　・　アスファルトコンクリート再生骨材
配合（加熱アスファルト混合物の種類）　(22.4.4)（表22.4.4）

区分	地域	種類
表層	・一般地域	※密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物（13）
	※寒冷地域	※密粒度アスファルト混合物（13F） ・細粒度ギャップアスファルト混合物（13F）
基層	・一般地域　※寒冷地域	・粗粒度アスファルト混合物（20）

アスファルト混合物の抽出試験　※　行わない　・　行う　(22.4.6)

⑤ コンクリート舗装

舗装の構成及び厚さ　※　図示　・　(22.5.1)
材料　コンクリート　※　種仕（表22.5.1）による　・　(22.5.3)（表22.5.1）
早強ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ　※　使用しない　・　使用する
注入目地材料　※　低弾性タイプ　・　高弾性タイプ　(22.5.4)
コンクリート版厚さの試験　※行わない　・　行う　(22.5.6)

✗ カラー舗装

※加熱系カラー舗装　(22.6.2)
構成、厚さ　※　図示
表層に用いる加熱系混合物の結合材　・アスファルト混合材
・石油樹脂系混合材（顔料の添加量：　%）(22.6.4)
加熱系混合物に添加する材料　・　着色骨材（　）　・　自然石（　）(22.6.3)
アスファルト混合物の抽出試験　※　行わない　・　行う
・常温系カラー舗装
工法　・ニート工法　・塗布工法
着色部の下部　・アスファルト舗装　・コンクリート舗装
ニート工法及び塗布工法の配合等　・　(22.6.4)

7 透水性及び排水性舗装

・　透水性アスファルト舗装（表層及び基層の厚さは図示による）　(22.7.2)
・　排水性アスファルト舗装（表層及び基層の厚さは図示による）
表層種類　・ポリマー改質アスファルト（　・H型　・HF型　・　）
・開粒度アスファルト混合物（13）
アスファルト混合物等の抽出試験　行う　・　行わない　(22.4.6)（22.7.6）
・　ポーラスコンクリート舗装（舗装構成は図示による）

8 ゴムチップ舗装

下地　・コンクリート舗装（透水性：　・有　・無）
・アスファルト舗装（透水性：　・有　・無）
・縁石、側溝等
トップコート：　・適用する　・適用しない
フィルター層：　・図示による

⑨ ブロック系舗装

・　コンクリート平板舗装　(22.8.2)（22.8.3）

種類	寸法（mm）	厚さ（mm）	目地材	表面加工
※普通平板（N） ・透水性平板（P） ・保水性平板（M）	※300角 ・	※60	※砂 ・モルタル	・研ぎ出し　・洗い出し ・たたき出し

クッション材　材料：　・砂　・空練りモルタル　厚み：　※30mm　(表22.8.2)
仕上り面の平坦性　※　歩行に支障となる段差がないものとし、ｺﾝｸﾘｰﾄ平板間の段差は3mm以内

⊙ インターロッキングブロック舗装　(22.8.2)（22.8.3）

種類	施工箇所	曲げ強度	厚さ（mm）	最断面勾配	表面加工及び色彩等
※普通タイプ ・誘導、注意喚起用タイプ ・透水性タイプ ・保水性タイプ ・着生タイプ	※車道部 ※歩道部 ・	5N/mm2以上 3N/mm2以上 ・	80 60 ・100 ・	2% 1.5~2% ・	※種等タイプ ・表面化粧タイプ 誘導、注意喚起用は黄色とする

区分	部位	厚さ（mm）	種類
クッション材	・車路、駐車場 ⊙歩行者用通路	・20 ⊙ 30	砂
フィルター層	⊙ 100		川砂、海砂又は良質な山砂（75μmふるい通過量6%以下）

目地材　※　砂
舗装の割付　・　ヘリンボンボンド　（　⊙　45°　・　90°）
仕上り面の平坦性　※　歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の段差は3mm以内

・　縁石舗装　(22.8.2)（22.8.3）

種類	厚さ（mm）	施工方法	基層
※小舗石（花こう岩）	※80~100　・ ・	※うるこ張り ・	※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装

目地材　※モルタル　・　・インジェクト工法

区分	種類	厚さ（mm）	備考
ｸｯｼｮﾝ材	※砂　・空撮りモルタル	30	
基層	・コンクリート版	70	
	・再生粗粒度アスファルト混合物（20）	50	

コンクリート版は、コンクリート舗装による。
加熱アスファルト混合物は、アスファルト舗装による。
仕上り面の平坦性　※　歩行に支障となる段差がないものとし、縁石側の段差は3mm以内

⑩ 砂利敷き　(22.9.2)

通路　※A種　・図示による
建築物周囲その他　※B種　・図示による

⑪ 区画線

路面表示用塗料

規格番号	種類	施工時の条件	適用	寸法（mm）		色彩
JIS K 5665	・1種 ・2種 ※3種1号	常温 加熱 溶融	車道	幅	※150 ・	※白 ・黄
			歩道	厚さ	※1.0	

低揮発性有機溶剤型の路面表示用水性塗料

23 植栽工事

1 植栽地の確認　(23.1.3)

土壌の水素イオン濃度指数（pH）試験　・　行う　・行わない
電気伝導度（EC）試験　・　行う　・行わない

2 樹木の植栽基盤整備

・芝及び地被類　(23.2.2)（23.2.3）（表23.2.1）（表23.2.2）

適用	有効土層の厚さ（cm）	工法	整備範囲
※行う　・行わない	※20	※B種	※植栽範囲　・図示

・樹木　(23.2.2)（23.2.4）

樹木の樹高（m）	有効土層の厚さ（cm）	工法	整備範囲
・12以上	※100　・120　・150	※A種	※業張り の範囲
・7以上～12未満	※80　・100	・B種	ただし、低木は植栽範囲
・3以上～7未満	※60　・80	・C種	・図示
・3未満	※50　・60	・D種	

※工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで載込み用土で盛土を行う。

3 植込み用土

※　現場発生土の良質土　・　客土（　※　畑土　・　黒土）　(23.2.3)

4 土壌改良材　(23.2.3)（23.2.4）

※　適用する　施工箇所：　※　植栽範囲　・　図示
・　バーク堆肥　指定量　植栽基盤面積1ｍ2当たり（・　L　・図示による）
幼植物試験の結果　：育成阻害その他の異常が認められない
有機物の含有量（乾物）　：70%以上　水分　：55~65%
炭素窒素比（C/N比）　：35以下　窒素全量（現物）　：1.2%以上
陽イオン交換容量（乾物）：70me/100g以上　りん酸全量（現物）：0.5%以上
pH　：5.5~7.5　カリ全量（現物）　：0.3%以上
・　汚泥発酵肥料　指定量　植栽基盤面積1ｍ2当たり（・　L　・図示による）
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする
ひ素　：0.005%以下　有機物の含有量（乾物）　：35%以上
カドミウム　：0.0005%以下　炭素窒素比（C/N比）　：20以下
水銀　：0.0002%以下　pH　：8.5以下
ニッケル　：0.03%以下　水分　：50%以下
クロム　：0.05%以下　窒素全量（現物）　：0.8%以上
鉛　：0.01%以下　りん酸全量（現物）　：1.0%以上
アルカリ分（現物）　：15%以下

5 支柱　(23.3.2)

支柱材の種類　※　丸太（職伐材）　・　真竹
形式　・　添え柱形　・　鳥居形　・　八ツ掛け型　・　布掛け形　・　ワイヤ掛け形　・　地下埋設形
防腐処理方法　※加圧式防腐処理丸太材　(23.3.3)

6 幹巻き用材料　(23.3.2)

※　幹巻き用テープ　・　わら　・こも

7 芝　(23.4.2)

種類　※　コウライシバ　・　ノシバ　(23.4.3)
芝張り　平地：　※　目地張りの工法　・べた張り　法面　※　べた張り　・目地張り

8 吹付け植種　(23.4.4)

種子の種類　※　洋芝類　・クローバー（採取後2年以内）
種子の量　※　発芽率80%以上

9 新植、移植樹木、芝等の枯補償　(23.3.4)（23.4.7）

※　引渡しの日から1年　・　無し
移植樹木の枯補処置を行う期間　(23.3.6)
※　引渡しの日から1年　・　無し

10 屋上緑化　(23.5.2)（23.5.3）

・　屋上緑化システム　土壌層の厚さ　・　図示
保水・排水層　・　軽量骨材（層の厚さ：　）　・　板状成型品
植込み用土　※　改良土　・　人工軽量土
樹木の材種、寸法、株立数、寸法等　※　図示
・　屋上緑化軽量システム　芝及び地被類の樹種並びに種類等　※　図示
支柱　・　設置する（形式　・　図示　・　）
かん水装置　・　設置する（工事区分は図示による）
建築基準法に基づき定まる風圧力の（　・　1　・　1.15　・　1.3）倍の風圧力に対応した工法

24 その他

① 1,2年目点検の義務

建築工事の受注者は、発注者に立会いを求めて1年及び2年目点検を行い、報告書を提出すること。
設備工事の受注者は、発注者に立会いを求めて1年目点検を行い、報告書を提出すること。

工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺 A1：non A3：non	一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所 東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル 一級建築士事務所　登録（東京都）知事　第44606号 一級建築士登録　第190508号　大村　浩之	訂正事項　DATE　CHECK	図名　特記仕様書（5）
作成日	2024.2.26	確認			図番　A-006

4-4 タイル張り仕上げ外壁改修工事

4 浮き部改修工法

既存タイルの撤去　・行う　（3節 欠損部改修工法による）　[4.4.4]
・行わない（下記の表を適用する）

・ 二丁張タイル以上のもの　[4.1.4][4.2.5][4.4.9]~[4.4.15]

モルタルを撤去しない場合の改修工法の種類	アンカーピンの本数 一般部	アンカーピンの本数 指定部	注入口の箇所数 一般部	注入口の箇所数 指定部	注入量（箇所/ml）
・アンカーピニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・			※25 ・
・アンカーピニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・アンカーピニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・			※25 ・
・注入口付アンカーピニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・
・注入口付アンカーピニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・

・ 小口タイル以下のもの　※ 外壁裏合改修工法（同等品：　　工法）
材料：・ アンカーピン　材質：※ ｽﾃﾝﾚｽSUS304 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
・ 図示　[4.3.5]
・ 注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ　材質：※ ｽﾃﾝﾚｽSUS304、呼び径外径6mm
・ 図示

5 目地改修工法

工法　・目地ひび割れ部改修工法　[4.4.16]
・伸縮調整目地改修工法　：・既存の目地を改修
・既存タイル面に目地を新設（位置・寸法：※図示　・　）
シーリング材　種類：※改修種仕[表3.7.1]による　[3.7.2][表3.7.1]

4-5 塗り仕上げ外壁改修工事

1 仕上げ塗材仕上げ

種類、仕上げの形状、工法　[4.1.5][4.5.2][表4.5.1][表4.5.2]

種　類	呼び名	仕上げの形状
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S	・砂壁状 ・さざ波状 ・平たん状 ・凸凹状 ・ゆず肌状　（・吹付け　・ローラー塗り） ・着色骨材砂壁状（・吹付け　・こて塗り）
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C ・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理 ・掻き落とし ・平たん状　（・こて塗り　・ローラー塗り） ・凸凹状　（・こて塗り　・ローラー塗り） ・ひき起こし（・こて塗り　・ローラー塗り）
・複層仕上塗材	・複層塗材CE ・複層塗材S1 ・複層塗材E ・複層塗材RE ・可とう形複層塗材CE ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・　〃　（透湿型） ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS	・ゆず肌状・凸部処理　・凹凸模様 耐候性　※2種 上塗材　溶媒　※水系　・弱溶剤系　・溶剤系 樹脂　※アクリル系 外観　※つやあり　・つやなし ・メタリック 防水形複層塗材E（透湿型）を使用する場合の所要量　※メーカー推奨所要量による
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状　・さざ波　・ゆず肌状 耐候性　※2種 上塗材　溶媒　※水系　・弱溶剤系　・溶剤系 樹脂　※アクリル系 外観　※つやあり　・つやなし ・メタリック

・その他　仕上げ表による　[4.5.2]
防火材料　・建築基準法に基づく指定又は認定を受けた材料とする。

2 下地調整材

※下地調整塗材（JIS A 6916 による）　[4.5.2][4.5.4]
・ポリマーセメントモルタル（4-1項,2項　改修使用材料による）

3 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整

既存塗膜劣化部の除去、下地処理及び下地調整の工法　[4.5.4][表4.5.4~表4.5.7]

工　法	処理範囲	下地処理（下地のひび割れ部等の補修）
・サンダー工法	・図示　※既存仕上面全体	・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法
・高圧水洗工法	・図示　※既存仕上面全体	
・塗膜はく離剤工法	・図示　※既存仕上面全体	
・水洗い工法	・図示　※既存仕上面全体	

4 マスチック塗材塗り　・A種　・B種　[4.6.2][表4.6.1]

5 外壁用塗膜防水材塗り

外壁用塗膜防水塗り　[4.7.2]
仕上げ　形状：・　工法　・
膜厚材　種類：・
仕上げを砂壁状,じゅらく状等とする場合の種類：・
仕上塗料　種類：・
耐候性：　※JIS A 6909 の耐候性1種相当　・
下地挙動緩衝材の適用：　・適用する　・適用しない
既存塗膜等の除去,下地処理及び下地調整：　1節による

⑤ 建具改修工事

① 改修工法　[5.1.3]

改修工法	適用箇所
・かぶせ工法	※建具表による
・撤去工法	※建具表による

新規に建具を設置する場合
新規建具を設ける壁部分の開口の開け方　※図示　・
新規建具周辺の補修工法　※図示　・
上記範囲　※図示
ブラインドボックス等の再利用：　・　行う（適切な取外し、保管を行う）　[5.1.6]

② 建具回り等の充填モルタル

防水剤（モルタルに混入する防水剤）の品質

項　目	混合割合	凝結及び安定性（JIS R 5201） 凝結時間	凝結及び安定性（JIS R 5201） 安定性	曲げ及び圧縮強度比（%）	吸水比（%）	透水比（%）
品　質	セメント質量の5%以下	始発1時間以上 終結10時間以内	収縮性、膨張性のひび割れ、そりがないこと	70以上	95以下	80以下

⑥ 内装改修工事

① 改修範囲

既存躯体切り壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲　[6.1.3]
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　・図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面から両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　・図示の範囲　[6.1.3]
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま　・図示の範囲
[6.1.3]

② 既存床の撤去及び下地補修

ビニル床シート等の除去　：※仕上げ材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも（※図示の範囲　・除去範囲全て）
合成樹脂塗り床材の除去工法　：・繊維が除去工法　・目荒し工法　[6.2.2]
フローリングの塗装塗替え　：・行う（既存フローリングは撤去しない）　[6.11.6]
セルフレベリング材の塗厚（mm）：
改修後の床の清掃範囲　：※改修箇所の室内

③ 既存壁の撤去、下地補修

躯体切壁撤去に伴う他の構造体の補修：　※図示　・モルタル塗り　[6.3.2]

モルタル塗り　塗厚が25mmを超える：　・適用する（範囲：　※図示　・　）　[6.15.5]
処置方法：　※ｽﾃﾝﾚｽ製ｱﾝｶｰﾋﾟﾝを縦横 200mm程度の間隔に打ち込み、ｽﾃﾝﾚｽﾗｽﾗｽ等を張る
・図示

4 木下地等

木材の品質：　※改修種仕[6.5.2]による　・市販品　[6.5.2][表6.5.3][表6.5.4]
※ 保存処理木材の適用箇所は、改修種仕[6.5.2]による
樹種　・

5 床板張り用合板等

下張り用床板及び畳下床板の材料　[6.5.2][表6.5.10]

使用区分	材　料	厚さ（mm）
下張り用床板の材料	※合　板	※12
畳下床板	・パーティクルボード	・
	・繊維板（MDF）	・

6 ポリスチレンフォーム床下地材

畳下地　厚さ（mm）　※40　・65　・80
フローリング類　厚さ（mm）　※80　・95

⑦ 軽量鉄骨天井下地

既存の埋込インサート　・使用する　⊙使用しない　[6.6.4]
あと施工アンカーの引抜き試験　・行う　⊙行わない
屋外の場合の試験　荷重　・40N
箇所数　・当該階において3箇所程度　・　図示
天井下地材における耐震性を考慮した補強　⊙行う　補強箇所　※　図示　[6.6.4]
補強方法　※　図示

⑧ モルタル塗り

吸水調整材　[6.15.3][表4.2.2]
4-2外壁改修工事共通事項の「1次修仕様材料」による
既製目地材　※適用しない　・適用する　[6.15.3]

⑦ 塗装改修工事

① 材料

防水材料　※屋内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。　[7.1.3]

既存塗膜の除去範囲（RB種の場合）：　※劣化部分は除去し、活膜部分は残す　・図示

② 下地調整　[表7.2.1]~[表7.2.7]

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	下地調整の種別 新規	ひび割れ部の補修（補修方法等は図示）
木部	※RB種　・	・A種　・B種	
鉄鋼面（DP以外）	※RB種　・	※C種　・B種	
鉄鋼面（DP）	※RB種　・	・A種　※B種	
亜鉛めっき面	※RB種　・	・A種　・B種	
ﾓﾙﾀﾙ面、せっこうﾌﾞﾗｽﾀｰ面	※RB種　・	・A種　※B種	・行う　・行わない
コンクリート面（DP以外）、ALCパネル面	※RB種　・	・A種　※B種	・行う　・行わない
コンクリート面（DP）押出成形セメント板	・RA種　・RB種 ・RC種	・A種　・B種	・行う　・行わない
せっこうボード面及びその他ボード面	※RB種　・	・A種　・B種	

③ 錆止め塗料塗り

錆止め塗料の種類　[7.3.3][表7.3.3][表7.3.4]

塗装面	塗料種別	工　程
鉄鋼面	SOP　※A種	※A種（見え掛り）　※B種（見え隠れ） ※C種（塗替え）
	EP-G　※B種　・A種	※A種（見え掛り）　※B種（見え隠れ） ※C種（塗替え）
	DP　・C種　・D種　・E種 ※改修種仕（7.4.2）による	※A種
亜鉛めっき面	SOP　※A種　・B種	※A種（新規調製建具面）　※C種（塗替え）
	※B種	※B種（調製建具以外）
	EP-G　※C種	※A種（新規調製建具面）　※C種（塗替え） ※B種（調製建具以外）
	DP　※B種	※改修種仕[表7.4.6]による

④ 塗装　[表7.4.1]~[表7.14.1]

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え（新規：新営参照）
・合成樹脂調合ペイント塗り（SOP）塗料の種別 ※1種　・2種	木部（屋外）	・A種　※B種
	木部（屋内）	・A種　※B種
	鉄鋼面	・A種　※B種
	亜鉛めっき鋼面（調製建具）	※A種　・B種
	亜鉛めっき鋼面（調製建具以外）	・A種　※B種
・クリヤラッカー塗り（CL）（屋内）		※B種 ・A種（着色：・有　・無） （塗料の種類：　　）
・アクリル樹脂非水分散型塗料塗り（NAD）		・A種　※B種
・耐候性塗料塗り（DP）	鉄鋼面　上塗り等級（　）級	－
	亜鉛めっき鋼面　上塗り等級（　）級	－
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・A－1種・A－2種・B－1種 ・B－2種・C－1種・C－2種
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（EP-G）	ｺﾝｸﾘｰﾄ面等	・A種　※B種
	木部（屋内）	・A種　※B種
	鉄鋼面（屋内）	・A種　※B種
	亜鉛めっき鋼面（屋内）	※A種　・B種
・合成樹脂エマルションペイント塗り（EP）		・A種　※B種
・ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）		・A種　※B種
・ステイン塗り（・ピグメントステイン塗り　・オイルステイン塗り（OS））		
・木部保護塗料塗り（WP）		・A種　※B種

8-1 耐震改修範囲以外の躯体改修工事

① あと施工アンカーの材料

あと施工アンカーの材料　[8.2.4][表8.2.2]
・金属系アンカー　引張耐力及びせん断耐力：　・図示
アンカー本体の径及び埋込深さ：　・図示
接合筋の種類、径及び長さ：　・図示
セット方式：　※本体打込み式改良型
※接着系アンカー　引張耐力及びせん断耐力：　・図示
アンカーの種類：　※カプセル方式（・回転打撃型　・打込み型）
・注入方式（・現場調合型　・カートリッジ型）
接着剤の品質：　※有機系　・無機系
アンカー筋の径及び埋込深さ：　・図示
アンカー筋の種類：・改修種仕[表8.2.1]の異形棒鋼　・全ねじボルト
アンカー筋の新設壁内への定着長さ：　・図示
あと施工アンカーの性能確認試験：　・適用する　・適用しない

8-2 耐震改修工事

1 あと施工アンカーの材料

あと施工アンカーの材料　[8.2.4][表8.2.2]
・金属系アンカー　引張耐力及びせん断耐力：　・図示
アンカー本体の径及び埋込深さ：　・図示
接合筋の種類、径及び長さ：　・図示
セット方式：　※本体打込み式改良型
※接着系アンカー　引張耐力及びせん断耐力：　・図示
アンカーの種類：　※カプセル方式（・回転打撃型　・打込み型）
・注入方式（・現場調合型　・カートリッジ型）
接着剤の品質：　※有機系　・無機系
アンカー筋の径及び埋込深さ：　・図示
アンカー筋の種類：・改修種仕[表8.2.1]の異形棒鋼　・全ねじボルト
アンカー筋の新設壁内への定着長さ：　・図示
あと施工アンカーの性能確認試験：　・適用する　・適用しない
既存コンクリートの不良個所の確認
※アンカー施工部位の既存コンクリートは目荒し後、目視及び打診により状況を確認し、
じゃんか等不良個所を発見した場合には、監督職員と協議すること。
[8.2.12]

2 柱底均しモルタル及びグラウト材

柱底均しモルタル：　※無収縮モルタル
グラウト材：　※下記の表による

遅和材料	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウムサルファアルミネート等を含する。
セメント	JIS R 5210（ﾎﾟｰﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ）による普通または早強ﾎﾟｰﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄとする。
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調合砂に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。

無収縮グラウトの品質及び試験方法（現場調合砂においては標準使用量・配合値）

ブリージング	練り混ぜ2時間後のブリージング率：2.0%以下
凝結時間	凝結開始時間　1時間以上 終結時間　10時間以内
無収縮性	材齢　7日　収縮しない
圧縮強度	材齢　3日　20N/mm2以上 材齢28日　40N/mm2以上
付着強度	材齢28日　2.5N/mm2以上
塩化物量	0.30kg/m3以下
試験方法	1）NEXCO試験方法312-1992「無収縮モルタル品質管理試験方法」による プレミックス剤と現場調合剤で遅和材が同一の場合はプレミックスのみ試験を行う。 2）塩化物の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリートの中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。

3 連続繊維シート巻き

材料・形状：　※ 採用した工法の規定を満足するもの　[8.2.13]
材質　：

引張り強度（含浸硬化後）	ヤング係数（含浸硬化後）
・2500N/mm2以上	・2.35×10^5N/mm 程度
・3000N/mm2以上	・2.00×10^5N/mm 以上

工法　：　※（財）日本建築防災協会の評価を受けた工法
下地調整
仕上げモルタルの除去　※行う　・行わない
ひび割れ部の改修工法の種類　・樹脂注入工法　・Uカットシール材充填工法　・シール工法
柱の隅角部の面取り　※工法の評価内容による
連続繊維補強材の引張強度試験
引張強度試験　※JIS A 1191（ｺﾝｸﾘｰﾄ用連続繊維ｼｰﾄの引張試験方法）による
試験数量　※図示
連続繊維補強材の付着強度試験
付着強度試験　※JIS A 6909（建築用仕上塗材）による
試験数量　※図示

4 打増し壁に用いるシアコネクタ

現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ　[8.3.7]
種類　※「 7 あと施工アンカーの材料」による
間隔（mm）　※500×500　・図示

5 圧接完了後の試験

圧接部の確認試験　※超音波探傷試験　[8.3.8]
・引張試験

6 高い強度のコンクリート

設計基準強度（N/mm2）・27　・30　・33　・36
適用箇所（　　）
遅和材料　※遅和剤
※高性能AE減水剤標準形又は遅延形
[8.12.4]

7 あと施工アンカーの穿孔

穿孔機械
※ハンマードリル　・コアドリル
穿孔用の既存鉄筋及び埋込み配管・配線等の探査
範囲　※あと施工アンカー施工部分全て　・図示
方法　※鉄筋探査器（金属探知機）により探査し、鉄筋、配管等の位置の墨出しを行う
鉄筋探査器の探査方式　・電磁波レーダー法（3D表示対応型）
・電磁波レーダー法又は電磁誘導法
・はつり出しによる
既存コンクリートの不良箇所の確認
※アンカー施工部位の既存コンクリート目荒し後、目視及び打診により状況を確認し、
じゃんか等不良箇所を発見した場合には、監督職員と協議すること。
施工確認試験方法
・引張試験　・
1ロット　※1日に施工されたものの径及び仕様ごと　・
試験箇所数　※3本/ロット　・

8 既存コンクリート面の目荒し

適用範囲　※既存コンクリートとの打継ぎ面　[8.21.3]
※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充てん部の接合面
目荒らしの範囲　※柱・梁面　打継ぎ面又は接合面全面の15~30%程度
※壁面　打継ぎ面又は接合面全面の10~15%程度
目荒らしの程度　※平均深さ 2~5mm で最大深さ 7mm 程度の凹部を全体にわたって施す

9 増設・補強工事のコンクリートの打込み

[8.21.8][8.23.5]
部位毎のコンクリートの打設工法の指定

補強工法	打設工法	部位
・現場打ちコンクリート壁の増設工事	・工法指定なし	・全ての増設壁　・図示による
	・流込み工法8.21.8（2）	・全ての増設壁　・図示による
	・圧入工法　8.21.8（3）	・全ての増設壁　・図示による
	・	・図示
・鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・工法指定なし	・全ての増設壁　・図示による
	・流込み工法8.21.8（2）	・全ての増設壁　・図示による
	・圧入工法　8.21.8（3）	・全ての増設壁　・図示による
	・	・図示
	・工法指定なし	
	・流込み工法8.21.8（2）	
	・圧入工法　8.21.8（3）	

10 柱補強

溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法
打込み工法の種類：　・流込み工法　・圧入工法　[8.23.5]
鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法
柱頭及び柱脚の隙間：　・設ける　・設けない
柱頭柱脚の隙間部周の型枠：　※ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む　・図示
補強工事後の仕上げ：　・図示　・

11 連続繊維補強工事

ひび割れ部の改修：　・行う（工法の種類は改修種仕[8.24.6]による）　・行わない
柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ：　・図示　・　mm
連続繊維補強材の強度試験　適用：　・行う　・行わない
試験方法：　・引張強度試験（JIS A 1191）
・付着強度試験（JIS A 6909）
試験数量：　・図示　・5本以上

12 耐震スリット新設工事

耐震スリット部の配管等の探査
※鉄筋探査器（金属探知機）により探査し、鉄筋、配管等の位置の墨出しを行う
鉄筋探査器の探査方式　・電磁波レーダー法（3D表示対応型）
・電磁波レーダー法又は電磁誘導法
・はつり出し
耐震スリット充填材　・耐火材　使用箇所及び仕様　※図示
・遮音材　使用箇所及び仕様　※図示
撤去部の補修　※撤去材と同一材で補修する　・図示
耐震スリットの形状　幅：　mm　深さ：　mm

12 アンカーボルトの保持及び、埋込み工法

[8.25.2]
種　別　・構造用アンカーボルト　（　※図示　・　　）
・建方用アンカーボルト　（　・A種　※B種　・C種）

9 環境配慮改修工事

1 熱・防音改修工事

断熱材は、原則として「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」における特定調達品目を使用する。
[9.5.2]

種　類	発泡材の種類	種　類	厚さ（mm）	施工箇所
・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材	・	・	・	・
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材（ｽﾁﾚﾝなし）	・	・保温板（2種b）	・25	・
		・保温板（3種b）	・25	・
・硬質ウレタンフォーム断熱材	※A種	・	・	・
・ポリエチレンフォーム断熱材	・	・	・	・
・フェノールフォーム断熱材（3種2号除く）	・	・	・	・
・		・	・	・

工　法	・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類	・A種1　※A種1H　・B種
厚さ（mm）	・20　・25　・30　・35
施工箇所	・ ※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフドレイン周りの床面下等、部分的に後張りとしなければならない箇所 ・図示

[9.5.3]

・断熱材後張り工法　[9.5.4]
断熱材の種類（　　）
断熱材の厚さ（　　）

2 屋上緑化改修工事

緩衝基盤及び材料　[9.6.2]
・屋上緑化軽量システム　・適用する　・適用しない
芝及び地被類の樹脂並びに種類等　※図示
見切材、舗装材、排水孔、マルチング材等　※図示
支柱　・設置する（種類　・図示　・　）　[9.6.3]
かん水装置　・設置する（工事区分は図示による）
既存保護層の撤去　・行う

工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺 A1：non A3：non	一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所 東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル 一級建築士事務所　登録（東京都）知事　第44606号 一級建築士登録　第190508号　大村　浩之
作成日	2024.2.26	確認	

訂　正　事　項	DATE	CHECK

図　名	改修特記仕様書（2）
図　番	A-008

章	項目	特記事項

① 一般共通事項

① 適用

※適用基準等の一般共通事項は、特記仕様書（1）によるものとする。
・図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）・同解説　令和2年版」による。
〈1.3.10〉

② 発生材の処理等

※発生材は構外搬出処分とし、その費用も含め元請業者自らの責任において適正に処理するものとする。
※運搬、処分委託契約書写しの提出
※マニフェスト管理一覧表の提出
※マニフェスト（A、B2、D、E票）写しの提出
・引き渡しを要するもの（　　）
・再利用を図るもの　（　　）
・特別管理産業廃棄物の種類　（　　）
・同上　処理方法　（　　）
・分別を図るもの　（　　）
・再資源化を図るもの　（　　）

③ 施工数量調査

調査範囲及び調査方法　※図示　〈1.5.2〉

② 仮設工事

① 騒音・粉塵、足場等

ブレーカー、穿孔機、破砕機、圧砕機等による粉塵発生部　※常時散水　〈2.2.1〉
躯体の解体、転倒解体箇所及びその周囲　※散水

③ 解体施工

1 事前措置

・浄化槽、排水槽等　〈3.2.1〉
汚水、汚物等の回収、洗浄、消毒等の措置
・ｵｲﾙﾀﾝｸ、ｵｲﾙｻｰﾋﾞｽﾀﾝｸ及び配管
廃油の回収、洗浄等の措置

2 杭の処理

※撤去する（撤去跡の処理　※山砂充填　・　　）　〈3.9.2〉
・残置する（杭の種別・杭径、杭の位置、杭頂部の高さ等の記録を整備し、監督職員に提出する。）
撤去工法　・引抜き工法
引抜いた杭の処理（※図示　・　　）
・破砕による解体

③ さく、照明設備等の附属物の解体

・種類（※図示　・　）　範囲（※図示　・　）　〈3.10.1〉

4 樹木等

・伐採抜根　樹種（　　）　範囲（※図示　・　）　〈3.11.1〉
・移植　樹種（　　）　範囲（※図示　・　）

⑤ 地下埋設物及び埋設配管

・埋設物等　種類（・配管　・オイルタンク　・　）　範囲（※図示　・　）　〈3.12.1〉
※既存図面により配管等の位置が不明である場合は、試掘等を行い、慎重に撤去すること。
※埋設物が既存建物と近接している際は細心の注意を払い、適切な処置を行うこと。

⑥ 解体後の整地

・解体後の埋戻し及び盛土　〈3.13.1〉
材料（※図示　・　）　整地高（※図示　・現状GL）
・表層の砂利敷き
材料（※図示　・　）

④ 建設廃棄物の処理

1 再資源化等

・再資源化及び縮減　〈4.4.1〉

建設廃棄物の種類	中間処理施設及び再資源化施設
・廃棄物処理法に基づく水銀使用製品産業廃棄物	
・硬質塩化ビニル管及び継手	
・ガラス	
・木材（縮減）	

・現場内での利用　種類（　　）

2 産業廃棄物広域認定制度

廃棄物の種類（　　）　〈4.4.2〉

3 最終処分　〈4.4.3〉

建設廃棄物の種類	最終処分場

4 処理に注意を要する建設廃棄物　〈4.5.1〉

建設廃棄物の処理	備考
・CCA処理木材	
・石綿含有せっこうボード	
・ひ素・カドミウム含有せっこうボード	
・上記以外のせっこうボード	

5 特別管理産業廃棄物の処理

1 施工計画調査

下表の資材、機器については、監督員と協議の上、分析調査を実施する。　〈5.1.2〉

分析調査を行う特別管理産業廃棄物の種類	採取する場所又は箇所等	採取する数量	備考
・廃石綿等			
・PCBを含む機器類			
・PCB含有シーリング材			
・廃油			
・廃酸			
・廃アルカリ			
・ダイオキシン類			
・			
・			

絶縁油のPCB含有量の分析調査
「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検討方法（平成4年7月3日厚生省告示第192号）」又は「絶縁油中のPCBに関する簡易測定法マニュアル（環境省）」により行う。
ダイオキシン類のサンプリング調査
「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類暴露防止対策要綱（平成13年4月25日付基発第401号の2）」により行う。

2 特別管理産業廃棄物の処理等

・安定型処分場　廃棄物の種類（　　）　〈5.4.1〉
・管理型処分場　廃棄物の種類（　　）
・遮断型処分場　廃棄物の種類（　　）
・特殊な建設副産物の回収　廃棄物の種類（　　）

3 PCB含有ｼｰﾘﾝｸﾞ材撤去

撤去範囲　※図示　・
撤去方法　・「難等施工要領書（日本ｼｰﾘﾝｸﾞ工事業協同組合連合会／日本ｼｰﾘﾝｸﾞ材工業会）」による
・

4 廃棄物焼却施設の解体

解体方法（　　）　処分方法（　　）

⑥ 石綿含有建材の除去及び処理

① 建築設備

建築設備に使用されている石綿含有建材の処理　※図示　・

② 石綿含有分析調査

⊙下記の工事に該当する場合は、石綿事前調査結果報告システムにて事前調査結果の報告を行うこと。
①建築物を解体する作業を伴う建設工事であって、当該作業の対象となる床面積の合計が80m2以上であるもの
②建築物を改造し、又は補修する作業を伴う建設工事であって、当該作業の請負代金の合計額が100万円以上であるもの
③工作物を解体し、改造し、又は補修する作業を伴う建設工事であって、当該作業の請負代金の合計額が100万円以上であるもの

⊙事前調査は必要な知識を有する資格者等に依頼すること。

※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、成形板及び建築材料等の使用の有無について調査する。

調査範囲（・　全域　・図示　）
貸与資料（　設計図　）

⊙分析による石綿含有建材の調査
分析方法：　※　定性分析はJIS A 1481-1 又は、JIS A 1481-2
定量分析はJIS A 1481-3 又は、JIS A 1481-4による。
分析結果については、監督職員に報告すること。

材料名	採取場所	箇所数	分析方法
			※　定性分析　・定量分析
			※　定性分析　・定量分析
			※　定性分析　・定量分析

3 石綿粉じん濃度測定

粉塵濃度測定　改修工事の場合　※行う　測定室（　　）　〈6.1.3〉
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・各1点　・各2点　・各3点
・	測定2		施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	・各1点　・各2点　・各3点
※	測定4		ｾｷｭﾘﾃｨｰｿﾞｰﾝ入口	・各1点　・各2点
※	測定5		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	・集じん・排気装置各1点 ・各1点
※	測定6		施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点
※	測定7	処理作業後（隔離ｼｰﾄ撤去前）	処理作業室内	・各1点　・各2点
・	測定8		施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点
・	測定9	処理作業後シール撤去後1週間以降	処理作業室内	・各1点　・各2点　・各3点
・	測定10		調査対象室外部の付近	・各1点　・各2点

測定方法
・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定4 ・測定5	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径（mm）	試料の吸引流量（L/min）	試料の吸引時間（min）
・測定4 ・測定5	25	5	30
・測定	47	10	120
・測定	47	10	240
・測定			

4 石綿含有建材の処理

・石綿含有吹付け材の除去　〈6.3.1〉
除去対象範囲　※図示　・
除去工法　※解体共通仕様書6.3.2による
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止
※密封処理　※湿潤化　・セメント固化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設）
（処分場はあらかじめ監督職員の承諾をうける。）
※隔離空間の解除前に有資格者による除去完了確認を行う

・石綿含有保温材等の除去　〈6.4.1〉
除去対象範囲　※図示　・
除去工法　※解体共通仕様書6.3.2（1）による
（損傷、劣化等で石綿粉塵を発散する恐れがある場合）
・解体共通仕様書6.4.2～5による
（原形のまま、手ばらしが可能な場合）
除去した石綿含有保温材等の飛散防止
※密封処理　※湿潤化　・セメント固化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設）
（処分場はあらかじめ監督職員の承諾をうける。）
※隔離空間の解除前に有資格者による除去完了確認を行う

・石綿含有成形板の除去　〈6.5.1〉
除去対象範囲　※図示　・
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有せっこうボード
※埋立処分（管理型最終処分場）
・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
・埋立処分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設）
（処分場はあらかじめ監督職員の承諾をうける。）

・石綿含有仕上塗材の除去　〈6.6.1〉
除去対象範囲　※図示　・
除去工法　・作業場所の隔離措置（負圧不要）
・石綿則第6条のただし書きにより、粉じん飛散防止に関し隔離措置と同等の措置と判断できる工法

・けい酸ｶﾙｼｳﾑ板第1種の除去
除去対象範囲　※図示　・
除去工法　・作業場所の隔離措置（負圧不要）
・切断・破砕等以外の方法による工法
（ボルトや釘等は撤去し、手作業で取外し）

7 特殊な建設副産物の処理

1 施工計画調査

下表の建設副産物については、監督員と協議の上、分析調査を実施する。　〈7.1.3〉

分析調査を行う建設副産物の種類	採取する場所又は箇所等	採取する数量	備考
・			
・			
・			

2 回収及び処分　〈7.3.1〉

回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類	備考
・フロン（冷媒）	
・建材用断熱材フロン	
・ハロン	
・イオン化式感知器	
・六フッ化硫黄（SF6）ガス	
・PFOS（ﾍﾟﾙﾌﾙｵﾛ（ｵｸﾀﾝｽﾙﾎﾝ酸））	
・特定化学物質（　　）	
・その他の特殊な建設副産物（　　）	
・	

・ フロン（冷媒）の回収
「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」（平成13年法律第64号）等関係法令に基づき行う。
ただし、冷媒の回収等の費用は　※本工事　・別途　とする。
冷媒の回収にあたっては、監督職員に次の書類を提出する。
（ア）第一種フロン類回収業者登録通知書の写し
（イ）フロン類引取証明書
（ウ）フロン回収行程管理票
（エ）特定家庭用機器廃棄物管理表（家電リサイクル券）の写し（家庭用エアコン等の場合）

・ その他の建設副産物の回収又は処分　※図示　・

3 ﾘﾌﾗｸﾄﾘｰｾﾗﾐｯｸﾌｧｲﾊﾞｰの処理

施工調査
※ﾘﾌﾗｸﾄﾘｰｾﾗﾐｯｸﾌｧｲﾊﾞｰ含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりﾘﾌﾗｸﾄﾘｰｾﾗﾐｯｸﾌｧｲﾊﾞｰを含有している建築材料等の使用の有無について調査する。
調査範囲　※図示　・
貸与資料　（　　）
除去処理計画書　・
除去対象範囲　※図示　・
除去方法　※図示　・
処分　※埋立処分（安定型最終処分場）　・
（処分場はあらかじめ監督職員の承諾をうける。）

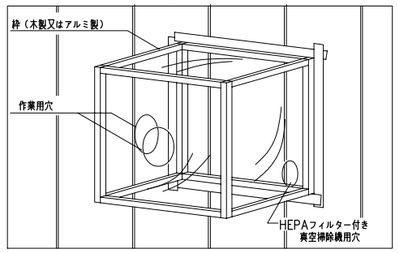
⑧ その他

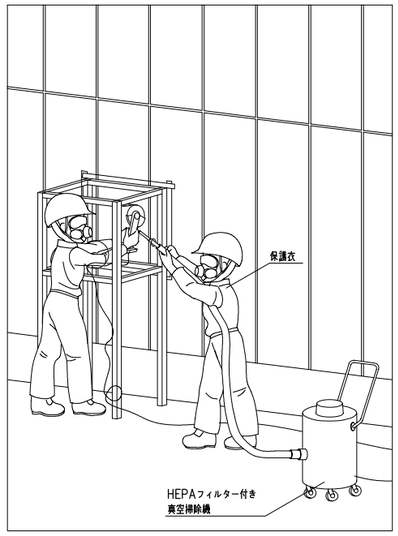
① 第三者賠償責任保険

受注者は、本工事（解体工事）の建物解体、杭引抜等による地盤振動、圧下、軟弱化等で周辺地盤に影響を与える可能性が高いので、工事区域に隣接の地上構造物に対する損害賠償責任を含む、掘削予定地域の外周線より掘削予定深度を水平に置き換えた距離内45度内（崩壊角）も補償する「地盤崩壊危険担保特約付きの第三者賠償責任保険」に加入しなければならない。

（参考例）　アスベスト含有吹付等の外壁の場合の処理について部分的な隔離の事例
※　下図は、参考例であり各工事毎に工法は検討すること。

※　下図の工法を採用する場合は、下記注意事項に留意すること。
1）　コア抜き部分の吹付材をあらかじめ除去しておく。
2）　コア抜きは隔離養生撤去後に行う。





出典　（建築物等の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉塵飛散防止処理技術指針）
平成28年4月28日
国立研究開発法人建築研究所　日本建築仕上材工業会

工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場増築(その２）工事
作成日	2024. 2. 26

縮尺　A1：non　A3：non
確認

一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所
東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル
一級建築士事務所　登録(東京都)知事　第44606号
一級建築士登録　第190508号　大村　浩之

訂正事項　DATE　CHECK

図名	解体特記仕様書
図番	A-009

項目		建築	電気	機械	無し	外構	備考
躯体関係							
1.鉄筋コンクリート造	貫通スリーブ材及び取付け	○	○	○			
（梁・壁・床）の	補強を要する型枠材及び取付け	○					
貫通孔・開口部	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○			
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○			
	貫通孔・開口部の補強	○					
	スリーブ・型枠の穴埋め	○	○	○			
2.鉄骨造・鉄骨鉄筋	S・SRC造貫通鋼管スリーブ・補強	○					
コンクリート造の	使用されたスリーブの穴埋め	○	○	○			防火区画 防煙区画
はり貫通孔	予備スリーブの穴埋め	○	○	○			防火区画 防煙区画
3.設備機器の基礎	建築・外構設計図に記入あるもの	○	○	○			
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）	○	○				位置出し、 アンカーは設備工事
	屋外・屋上の基礎	○				○	
	屋上基礎で押えコンにアンカーしない軽微なもの				○		
	機器取付け用アンカー・架台		○	○			
4.昇降機関連	昇降路・機械室の躯体				○		
	機械室の床開口				○		
	機械室の床配管ピット・蓋				○		
	昇降路内ピット防水・集水桝・点検用タラップ				○		
	各階出入口穴あけ・同補強				○		
	出入口扉・三方枠				○		
	三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補修				○		
	（機械室）天井フック取付				○		
	ホール押釦・インジケーター・調索などの壁開口ピース				○		
	昇降路がS造の時の中層ビームブラケット受け				○		
	EVシャフトからインターホンまでの配管配線工事				○		
5.その他	湧水・汚水ピット・RC造各種水槽	○					
	同上用防水・マンホール・タラップ式	○					
	避雷設備・同接地工事				○		
	押出成型セメント板の壁開口・補強	○					
	鉄骨スリーブの耐火被覆処理	○					
	防火区画貫通部の処理	○	○	○			
	断熱パネルの取り付け下地鉄骨	○					
屋外排水設備・外構							
1.雨水	屋外雨水排水設備	○				○	躯体、第一側接続乞は、 建築工事
	側及び側ふた	○				○	躯体、第一側接続乞は、 建築工事
	雨水本管への接続					○	
	フラップ弁の取り付け	○					
	雨水排水路への接続	○				○	躯体、第一側接続乞は、 建築工事
2.雑排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備			○			
	側及び側ふた			○			
	排水処理槽への接続			○			
3.植栽	植栽及び客土				○		
4.浄化槽	浄化槽躯体				○		
	ユニット形浄化槽本体・配管及び据付等				○		
5.外構、その他	敷地内給水管引込み			○			
	境界ブロック					○	
	擁壁				○		
	出入口門扉				○		
	フェンス					○	
	標識類・路面表示					○	
	郵便受箱				○		
	既存雨水側溝への接続					○	
	駐輪場（2線共）				○		

項目		建築	電気	機械	無し	備考
仕上げ関係						
1.軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切込み及び下地の補強	○				
	補強を要しないボードの切込み		○	○		
	開口部の墨出し	○	○	○		
	照明設備用下地		○			
2.既製間仕切り	切込み及び補強		○			
	スイッチボックス	○				
3.吊ボルト及び	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用		○	○		
インサート						
4.外壁廻り	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ	○				
	ウェザーカバー・ベントキャップ			○		
	換気扇			○		
5.湯沸室廻り	流し台・吊戸棚・水切り棚・コンロ台				○	
	電気湯水器				○	
6.浴室廻り	シャワーユニット				○	
7.便所廻り	洗面カウンター			○		
	鏡（全て寸法）			○		
	ユニット形衛生器具			○		大便器はライニング 含め機械工事
	身障者手すり	○				
	電気湯水器				○	
	ペーパーホルダー			○		
	紙巻器			○		
8.事務室廻り	可動間仕切り（パーティション）				○	
9.フリーアクセスフロア	コンセント		○			
	床パネルの切込み加工		○			
10.その他	各種水槽のマンホールふた	○				
	機器搬入用フック・ビーム	○				
	化粧マンホール上ふたの表面仕上げ	○				
	点検口（天井・床下）	○				
	自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切込み補強	○				
	及びドアチェック・フロアヒンジ					
	消火器BOX設置工事			○		
	消火器表示サインプレート			○		
	蓄光型誘導標識				○	
	自動扉・シャッター倉庫防止中継器への電源供給		○			
	自動扉・電動シャッターから付属のスイッチ・		○			
	センサーへの配管配線工事					
	自動扉と手指消毒器との連動配線配管工事		○			
	室名札	○				
	ブラインド	○				
	什器（家具、ロッカーなど）	○				
電気配線配管						
	機器付属の制御盤以降の配管配線（接地線共）			○		2次側
	機器付属の制御盤への電源供給配管線		○			1次側
	自動制御と動力盤との電源供給の渡り配管配線			○		
	機器と付属操作スイッチの渡り配管配線			○		
	配管感知から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線				○	
	小便器用節水装置の制御盤以降の配管配線			○		
	引込柱		○			

項目		建築	電気	機械	無し	備考
ユーティリティー						
1.活魚水槽設備	本体 および据え付け			○		
	傾斜床とのレベル調整			○		
	排水口から排水溝への配管			○		水槽本体工事
2.スクリーン設備	圧送ポンプと既設スクリーンとの連動制御			○		
3.海水設備	給排水配管、接続			○		
4.各種選別機・備品	制御盤まで一次配線配管、接続		○			
	制御盤以降二次配線配管、接続			※		※備品工事
	監視制御装置（配管配線含む）			※		※備品工事
	警報設備の移法表示（事務室、管理室等へ）		○			
5.その他	電話引込み（MDF含む）				○	通信事業者
	電話用配管工事		○			
	電話機器配線工事		○			
	有線放送機器配線工事				○	
	入線管理設備工事				○	
	機械警備用配管工事		○			
	機械警備用機器配線工事				○	
	入退場管理用配管工事				○	
	入退場管理用機器配線工事				○	
	電気錠（建具・制御盤、建具内配線を含む）	○				
	電気錠（建具）への配管工事		○			
	電気錠（建具）への配線工事		○			
	カードリーダー				○	
	カードリーダーへの配管工事				○	
	カードリーダーへの配線工事				○	
	自動販売機				○	既存移設
	自動販売機電源				○	
	自動販売機給排水				○	
	消火器			○		
	太陽光パネルの架台及び取付				○	

その他		建築	電気	機械	無し	備考

工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺	A1：non A3：non		
		確認			
作成日	2024.2.26				

一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所

東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル
一級建築士事務所　登録（東京都）知事　第44606号
一級建築士登録　第190508号　大村　浩之

訂正事項	DATE	CHECK

図名	工事区分表
図番	A-010

建 築 概 要

1 一般事項

工事名称		とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場　増築工事	建築主	（社名）　とやま市漁業協同組合　（ TEL ）　076−435−2965 （住所）　富山県富山市四方港町87番地
敷地	敷地位置	富山県富山市岩瀬天神町265番	工事概要	
	用途地域	○第一種低層住専　○第二種低層住専　○第一種中高層住専 ○第二種中高層住専　○第一種住居　○第二種住居　○準住居 ○近隣商業　○商業　○準工業　○工業　○工業専用　●指定なし		工事種別：●新築　○増築　○別棟増築　●増改築　○改築　○移転 ○用途変更　○大規模の修繕　○大規模の模様替え
	防火地域	○防火　○準防火　○法22条の地域　●指定なし ○2つの地域にわたる場合　（防火　㎡　準防火　㎡）		主要用途：卸売市場
	その他の指定（都市計画）	●市街化調整区域　○風致地区（国立公園）　○駐車場整備地区 ●富山高岡広域都市計画区域　○宅地造成工事規制区域　○臨港地区 ○砂防区域　○総合的設計による1団地　○特定街区　●都市計画区域外		工期予定：着工　年　月　日　竣工　年　月　日
道路	道路巾員	南　8.00 m　法42条　1項3号 東　6.50 m　法42条　1項3号	形態規制	高度地区：— 高度利用地区：— 日影規制：—
面積	敷地面積	5,320.90 ㎡　（　1,609.57　坪　） 2つの地域にわたる場合（　㎡　㎡）	高さ	最高の高さ：荷例棟（申請建物1）10.10m　増築上屋棟（申請建物2）6.37m 最高の軒の高さ：9.80m　6.10m
			緑地	緑地面積：— 緑地率：—
			駐車場	駐車場附置義務台数：普通自動車用　地上　ー　台 小型自動車用　地上　ー　台 障害者用　地上　ー　台 合計：　ー　台

面積	申請部分	申請以外の部分	合計
建築面積	986.64 ㎡	2,002.58 ㎡	2,989.22 ㎡
延べ床面積	1,148.39 ㎡	2,665.27 ㎡	3,813.66 ㎡

建ぺい率　2,989.22 / 5,320,90 ×100 ＝ 56.17 % ≦ 許容 70 %　（60% +10%（角地））

容積率　3,813.66 / 5,320,90 ×100 ＝ 71.67 % ≦ 許容 200 %

2 建築物概要

項目 ＼ 棟		荷例棟	増築上屋棟
建築	基礎	RC基礎　柱状改良　認定工法	RC基礎　柱状改良　認定工法
	床	土間コンクリート　構造スラブ	土間コンクリート
	軸組	鉄骨ラーメン構造	鉄骨ラーメン構造
	外壁	押出成形セメント板t=60　縦貼り　フッ素樹脂塗装（工場塗装）仕上	
	腰壁	コンクリート打放し補修（増打t=20mm）撥水剤塗布	
	屋根	ポルトレス長尺折板葺　二重折板断熱工法　超耐候性鋼板t=0.8	ポルトレス長尺折板葺　超耐候性鋼板t=0.8
設備	給排水	給水設備　排水設備　空調・換気　屋内消火栓　消火器	給水設備　排水設備
	電気	受変電設備　動力設備　電灯ｺﾝｾﾝﾄ設備　自動火災報知設備　放送設備	動力設備　電灯ｺﾝｾﾝﾄ設備
	冷却設備	冷凍・冷却設備	
外構	舗装	コンクリート舗装　排水溝　排水桝	

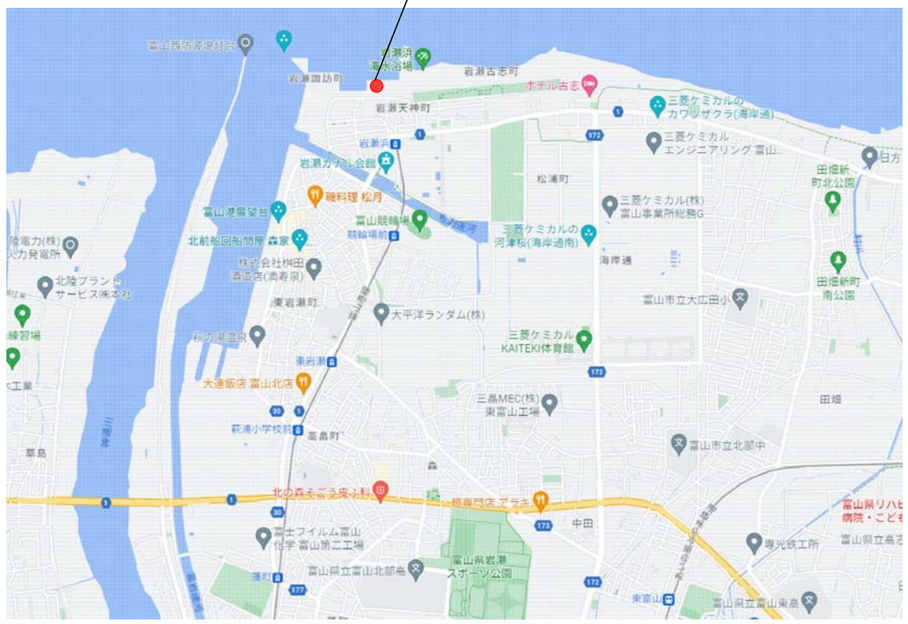
3 建築物面積

項目 ＼ 棟		申請建物1						申請建物2		既存建物1	既存建物2	既存建物3		
面積等		荷さばき施設		庇	庇	庇	庇	増築上屋	庇	製氷施設	上屋	桟橋防暑施設		
	建物(部分)NO	1	6	3	8	9	11	7	10	2	4	5		
	新設/既設	既存	増築	既存	増築	増築	増築	増築	増築	既存	既存	既存		
	用　途	卸売市場		庇	庇	庇	庇	上屋	庇	自動製氷工場	上屋	防暑施設		
	構　造	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造		
	階　数	2F	2F	平屋	平屋	平屋	平屋	平屋	平屋	4F	平屋	平屋		
	耐火の種別	準耐火建築物						その他		その他	その他	その他	合計	
	建築面積　既存	1,012.34 ㎡		207.27 ㎡						51.59 ㎡	146.10 ㎡	585.28 ㎡	2,002.58 ㎡	既存　建築面積
	増築		839.87 ㎡		10.57 ㎡	3.23 ㎡	3.75 ㎡	126.00 ㎡	3.22 ㎡				986.64 ㎡	増築　建築面積
	建築面積　小計	2,077.03 ㎡						129.22 ㎡		51.59 ㎡	146.10 ㎡	585.28 ㎡	2,989.22 ㎡	建築面積
	床面積　既存	1,491.30 ㎡		207.27 ㎡						122.32 ㎡	146.10 ㎡	698.28 ㎡	2,665.27 ㎡	既存　床面積
	増築		995.62 ㎡		10.57 ㎡	3.23 ㎡	3.75 ㎡	132.00 ㎡	3.22 ㎡				1,148.39 ㎡	増築　床面積
	床面積　小計	2,711.74 ㎡						135.22 ㎡		122.32 ㎡	146.10 ㎡	698.28 ㎡	3,813.66 ㎡	床面積

4 案内図

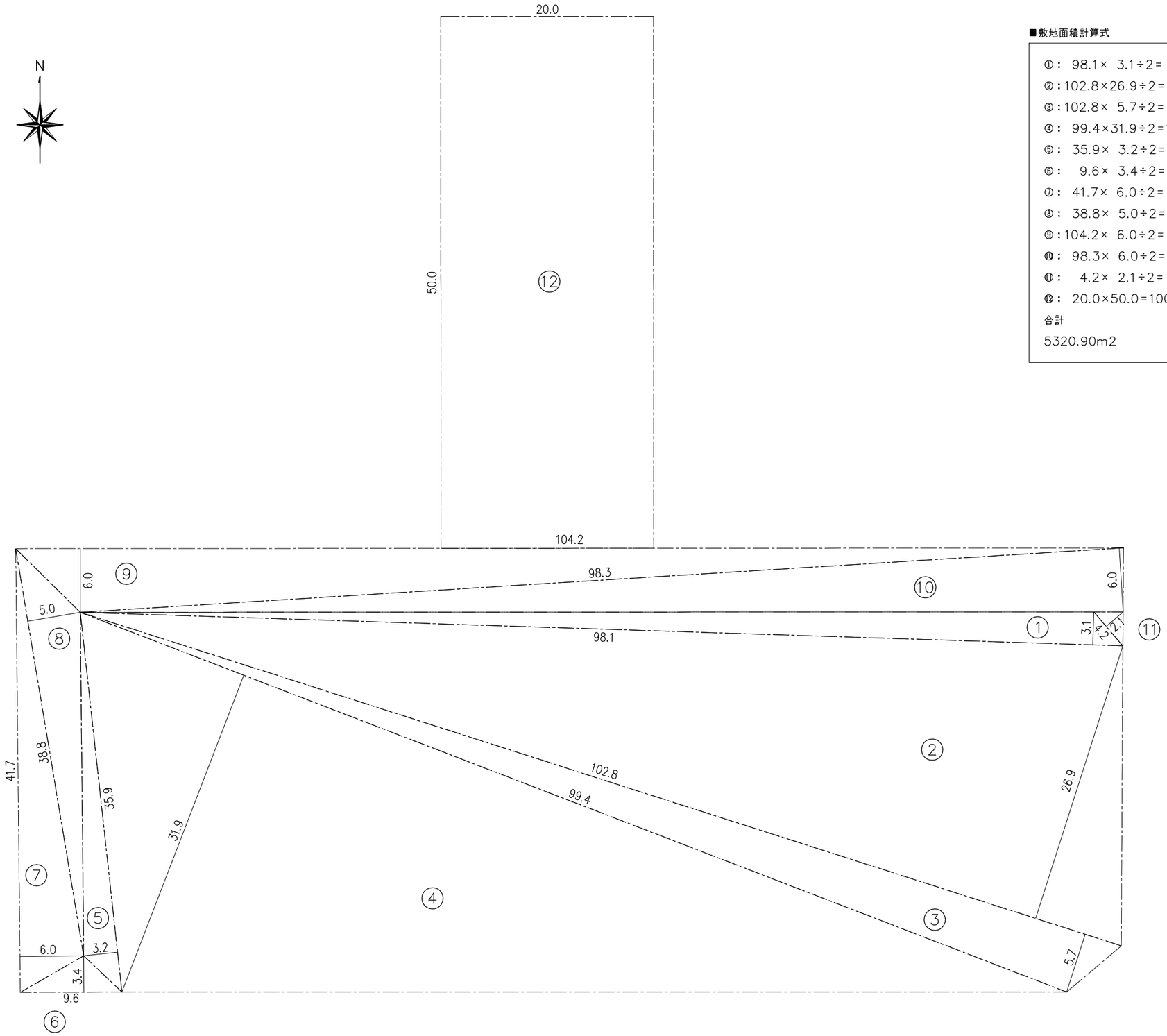
詳細案内図

広域案内図



工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺	A1：non A3：non	一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所 東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル 一級建築士事務所　登録(東京都)知事　第44606号 一級建築士登録　第190508号　大村　浩之	訂　正　事　項	DATE	CHECK
		確認					
作成日	2024.2.26						

図　名	建築概要書・付近見取図
図　番	A-011



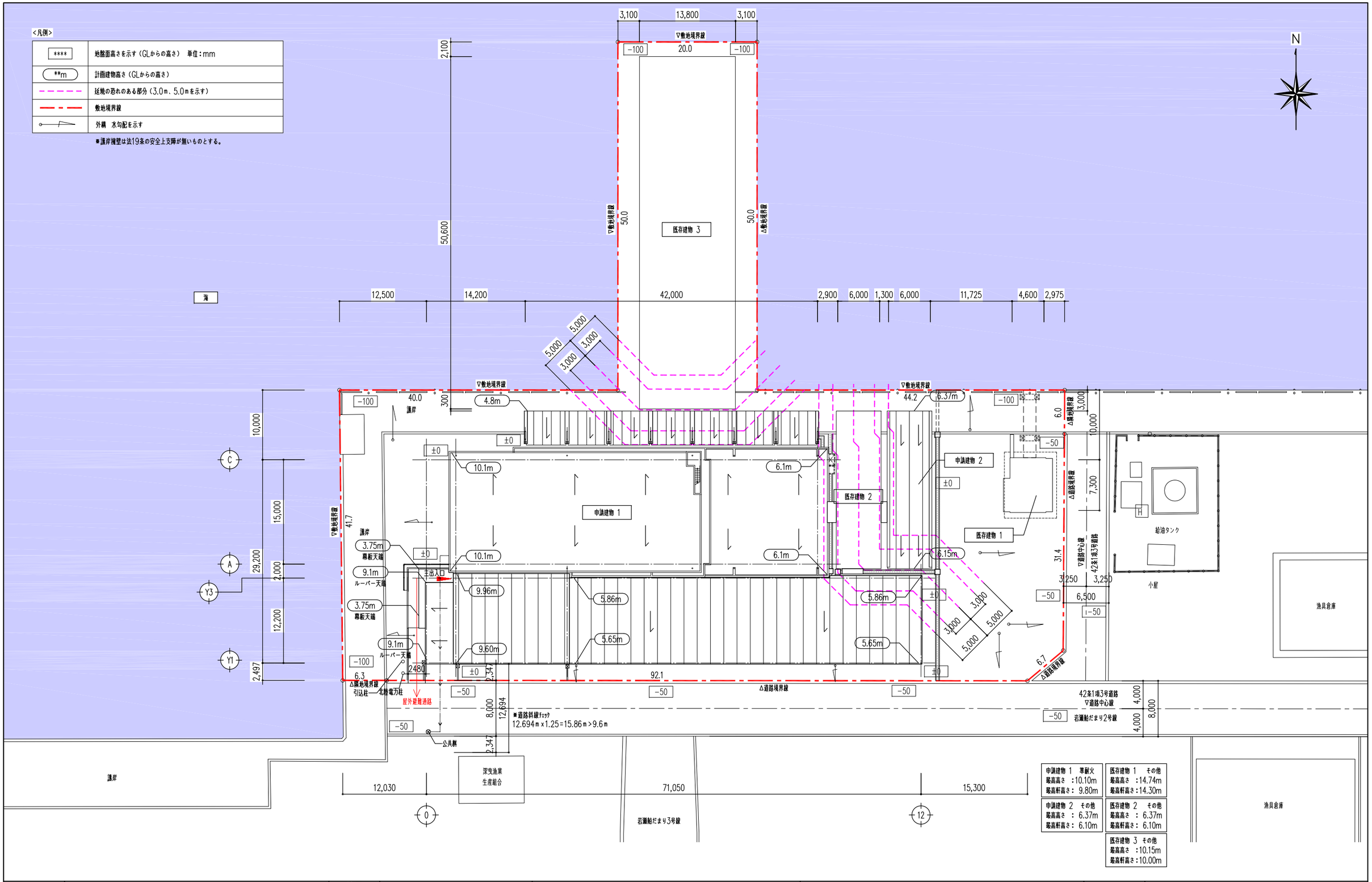
■敷地面積計算式

①：	98.1× 3.1÷2= 152.055
②：	102.8×26.9÷2=1382.660
③：	102.8× 5.7÷2= 292.980
④：	99.4×31.9÷2=1585.430
⑤：	35.9× 3.2÷2= 57.440
⑥：	9.6× 3.4÷2= 16.320
⑦：	41.7× 6.0÷2= 125.100
⑧：	38.8× 5.0÷2= 97.000
⑨：	104.2× 6.0÷2= 312.600
⑩：	98.3× 6.0÷2= 294.900
⑪：	4.2× 2.1÷2= 4.410
⑫：	20.0×50.0=1000.00

合計

5320.90m2

工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺				一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所	訂正事項	DATE	CHECK	図名	敷地面積求積図
		A1：200 A3：400				東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル					
		確認				一級建築士事務所　登録(東京都)知事　第44606号				図番	A-012
作成日	2024.2.26					一級建築士登録　第190508号　大村　浩之					

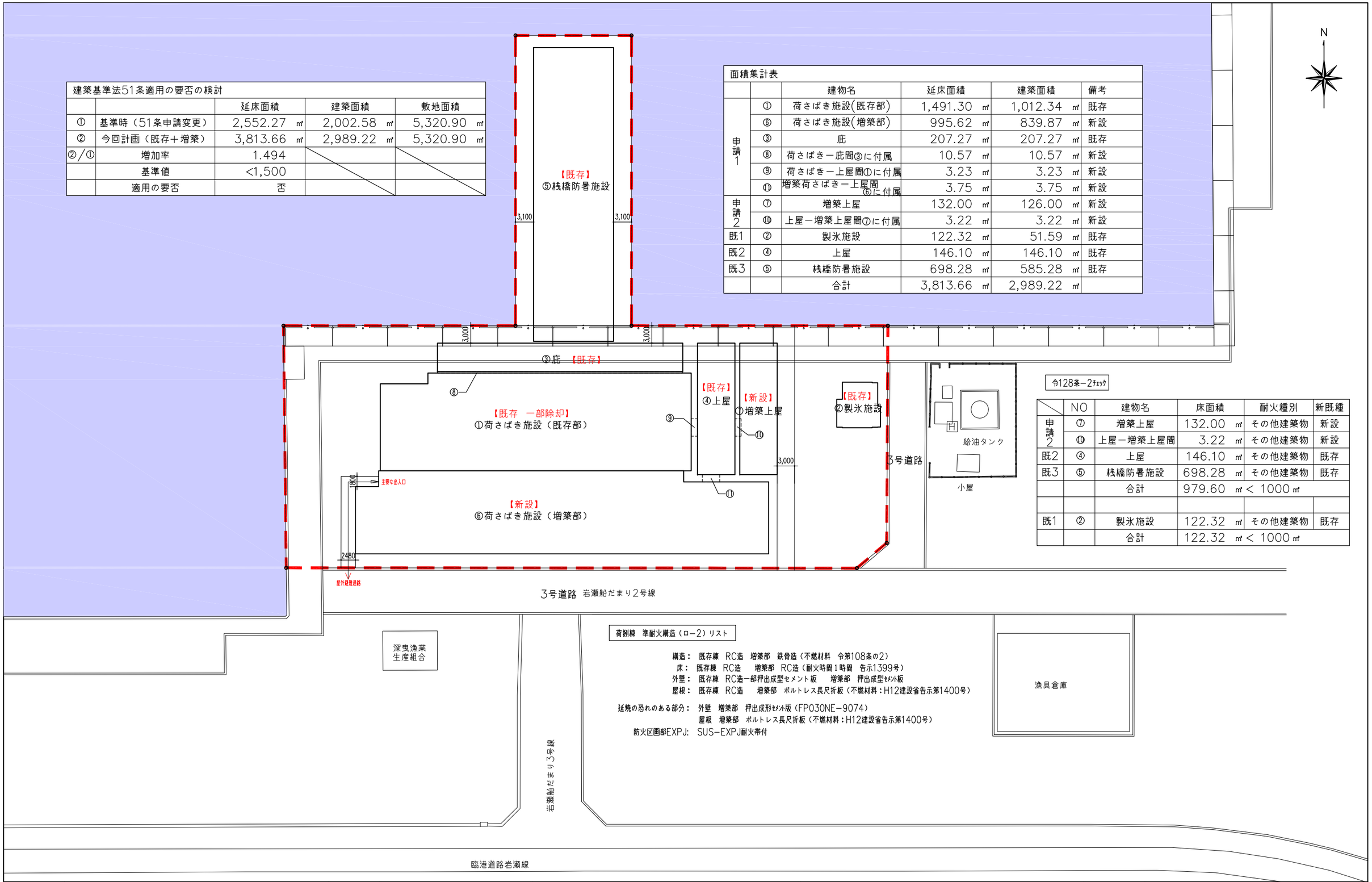


工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺 A1：250 A3：500	一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所 東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル 一級建築士事務所　登録（東京都）知事　第44606号 一級建築士登録　第190508号　大村　浩之	訂　正　事　項	DATE	CHECK	図　名	配置図
作成日	2024. 2. 26	確認					図　番	A-013

建築基準法51条適用の要否の検討				
		延床面積	建築面積	敷地面積
①	基準時（51条申請変更）	2,552.27 ㎡	2,002.58 ㎡	5,320.90 ㎡
②	今回計画（既存＋増築）	3,813.66 ㎡	2,989.22 ㎡	5,320.90 ㎡
②／①	増加率	1.494		
	基準値	<1,500		
	適用の要否	否		

面積集計表

		建物名	延床面積	建築面積	備考
申請1	①	荷さばき施設(既存部)	1,491.30 ㎡	1,012.34 ㎡	既存
	⑥	荷さばき施設(増築部)	995.62 ㎡	839.87 ㎡	新設
	③	庇	207.27 ㎡	207.27 ㎡	既存
	⑧	荷さばき－庇間③に付属	10.57 ㎡	10.57 ㎡	新設
	⑨	荷さばき－上屋間①に付属	3.23 ㎡	3.23 ㎡	新設
	⑪	増築荷さばき－上屋間⑥に付属	3.75 ㎡	3.75 ㎡	新設
申請2	⑦	増築上屋	132.00 ㎡	126.00 ㎡	新設
	⑩	上屋－増築上屋間⑦に付属	3.22 ㎡	3.22 ㎡	新設
既1	②	製氷施設	122.32 ㎡	51.59 ㎡	既存
既2	④	上屋	146.10 ㎡	146.10 ㎡	既存
既3	⑤	桟橋防暑施設	698.28 ㎡	585.28 ㎡	既存
		合計	3,813.66 ㎡	2,989.22 ㎡	



令128条－2ﾁｪｯｸ

	NO	建物名	床面積	耐火種別	新既種
申請2	⑦	増築上屋	132.00 ㎡	その他建築物	新設
	⑩	上屋－増築上屋間	3.22 ㎡	その他建築物	新設
既2	④	上屋	146.10 ㎡	その他建築物	既存
既3	⑤	桟橋防暑施設	698.28 ㎡	その他建築物	既存
		合計	979.60 ㎡ ＜ 1000 ㎡		
既1	②	製氷施設	122.32 ㎡	その他建築物	既存
		合計	122.32 ㎡ ＜ 1000 ㎡		

荷捌棟　準耐火構造（ロー2）リスト

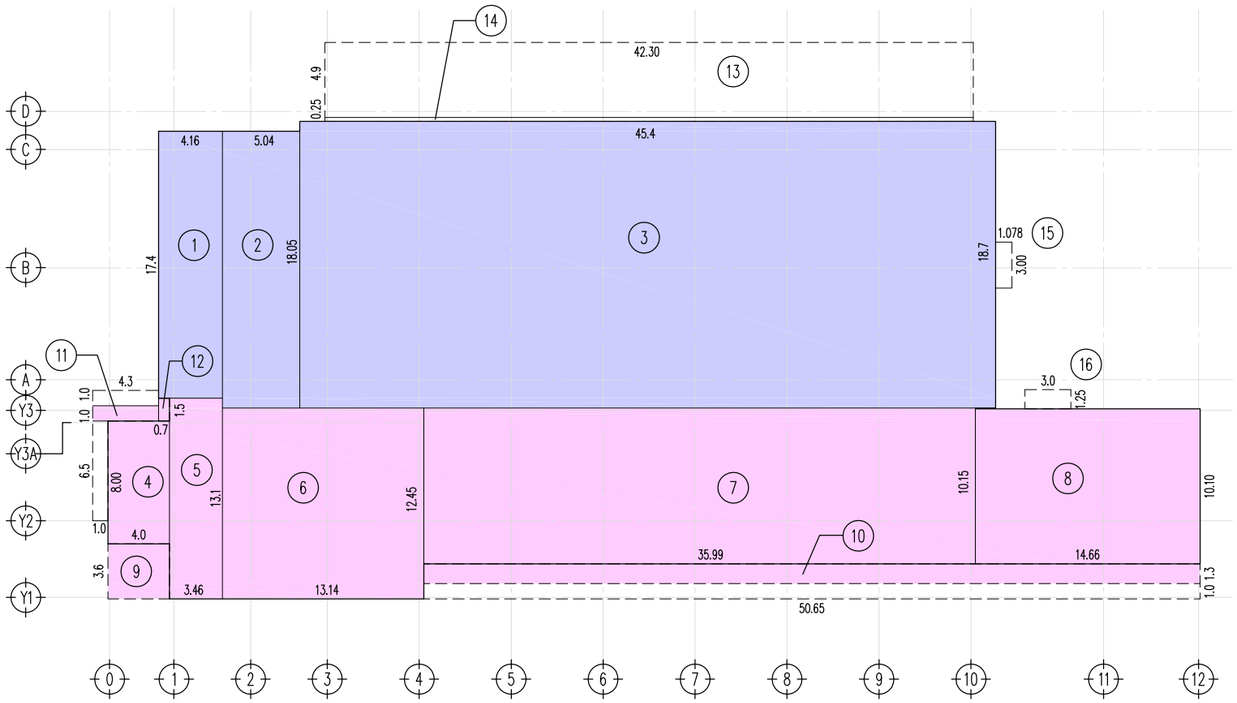
構造：　既存棟　RC造　増築部　鉄骨造（不燃材料　令第108条の2）
床：　既存棟　RC造　　増築部　RC造（耐火時間１時間　告示1399号）
外壁：　既存棟　RC造一部押出成型セメント板　　増築部　押出成型ｾﾒﾝﾄ板
屋根：　既存棟　RC造　　増築部　ボルトレス長尺折板（不燃材料：H12建設省告示第1400号）

延焼の恐れのある部分：　外壁　増築部　押出成形ｾﾒﾝﾄ版（FP030NE－9074）
屋根　増築部　ボルトレス長尺折板（不燃材料：H12建設省告示第1400号）
防火区画部EXPJ:　SUS－EXPJ耐火帯付

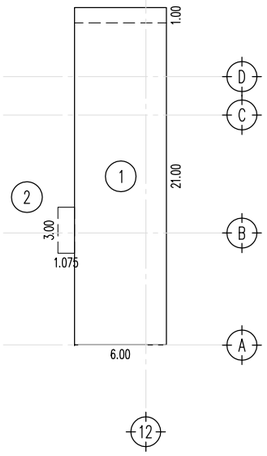
工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築(その２) 工事	縮尺 A1：300 A3：600	一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所	訂正事項	DATE	CHECK	図名	面積増減算定図(法51条の適用の要否の検討)
		確認	東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル					
作成日	2024.2.26		一級建築士事務所　登録(東京都)知事　第44606号				図番	A-014
			一級建築士登録　第190508号　大村　浩之					

建築面積　求積図

申請建物1



申請建物2



建築面積　申請建物1

		算定式					小計［㎡］	計［㎡］
	①	4.16	×	17.40	=	72.3840		
	②	5.04	×	18.05	=	90.9720		
	③	45.40	×	18.70	=	848.9800	1,012.34	
	④	4.00	×	8.00	=	32.0000		
	⑤	3.46	×	13.10	=	45.3260		
	⑥	13.14	×	12.45	=	163.5930		
	⑦	35.99	×	10.15	=	365.2985		
	⑧	14.66	×	10.10	=	148.0660		
庇	⑨	4.00	×	3.60	=	14.4000		
庇	⑩	50.65	×	1.30	=	65.8450		
庇	⑪	4.30	×	1.00	=	4.3000		
庇	⑫	0.70	×	1.50	=	1.0500	839.87	
庇	⑬	42.30	×	4.90	=	207.2700		
庇	⑭	42.30	×	0.25	=	10.5750		
小庇	⑮	3.00	×	1.078	=	3.2340		
小庇	⑯	3.00	×	1.25	=	3.7500	224.82	2077.03

建築面積　申請建物2

		算定式					計［㎡］
庇	①	6.00	×	21.00	=	126.0000	
小庇	②	3.00	×	1.075	=	3.2250	129.22

建築面積　申請建物1＋申請建物2

2,077.03	＋	129.22	＝	2,206.25	2,206.25㎡

延床面積　申請建物1

		算定式					小計［㎡］	計［㎡］
1階	①	3.16	×	15.00	=	47.4000		
	②	5.04	×	16.85	=	84.9240		
	③	45.40	×	18.70	=	848.9800	981.30	
	④	4.00	×	8.00	=	32.0000		
	⑤	3.46	×	14.30	=	49.4780		
	⑥	13.14	×	12.45	=	163.5930		
	⑦	35.99	×	10.15	=	365.2985		
	⑧	14.66	×	10.10	=	148.0660	758.43	
	⑨	42.30	×	4.90	=	207.2700		
	⑩	42.30	×	0.25	=	10.5750		
	⑪	3.00	×	1.078	=	3.2340		
	⑫	3.00	×	1.25	=	3.7500	224.82	1964.55
2階	①	34.00	×	15.00	=	510.0000	510.00	
	②	16.30	×	0.61	=	9.9430		
	③	16.60	×	13.69	=	227.2540	237.19	747.19
合計延床面積								2,711.74

計 999.37（6面記載面積）

延床面積　申請建物2

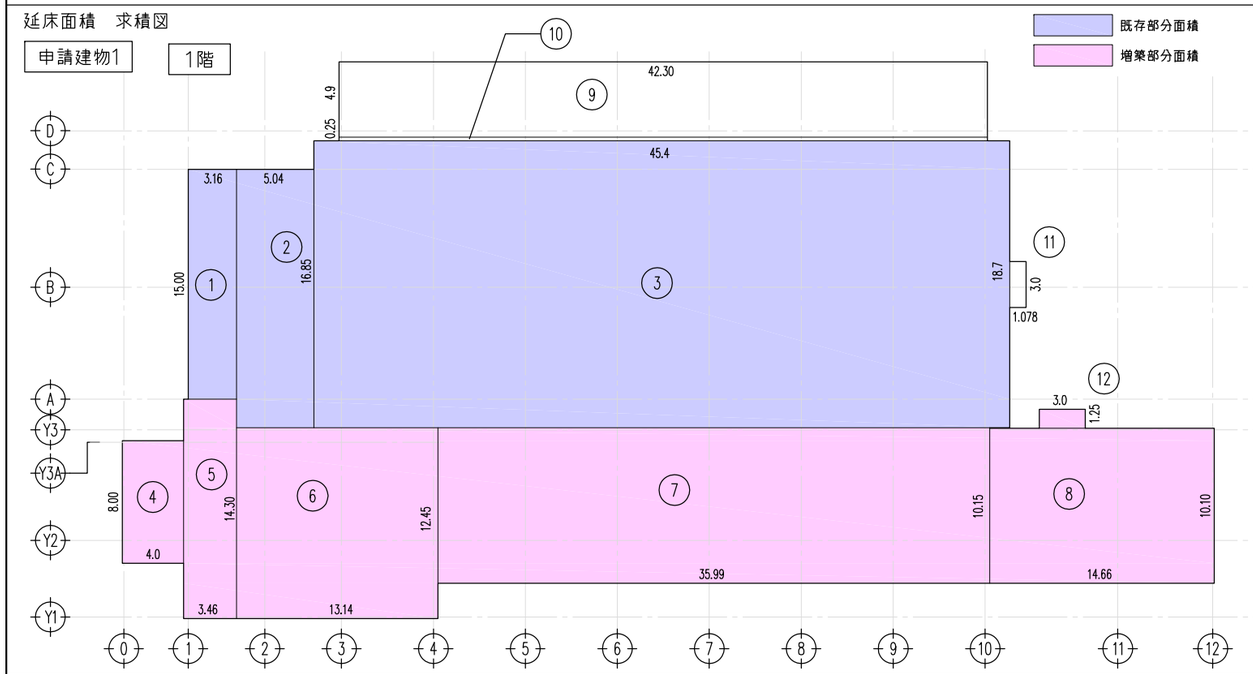
		算定式					計［㎡］
1階	①	6.00	×	22.00	=	132.0000	
	②	3.00	×	1.075	=	3.2250	135.22

延床面積　申請建物1＋申請建物2

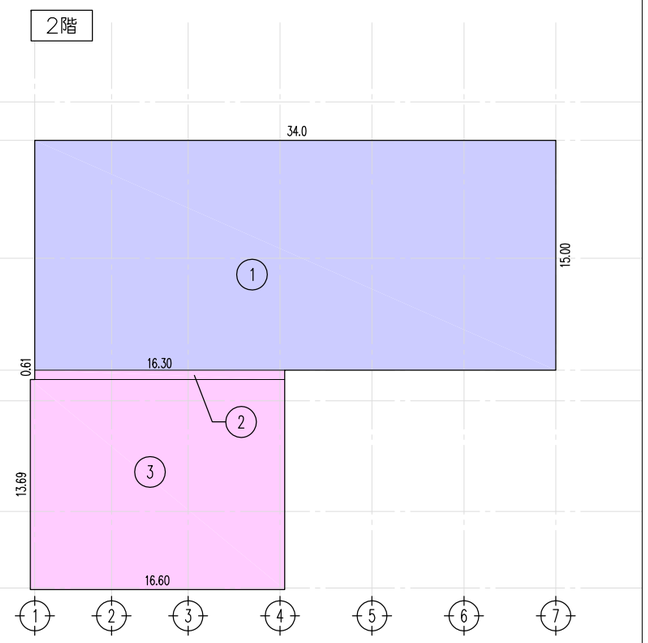
2,711.74	＋	135.22	＝	2,846.96	2,846.96㎡

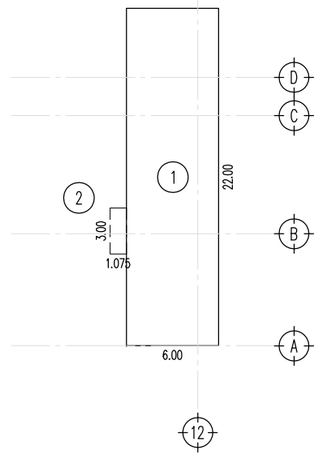
延床面積　求積図

申請建物1　1階

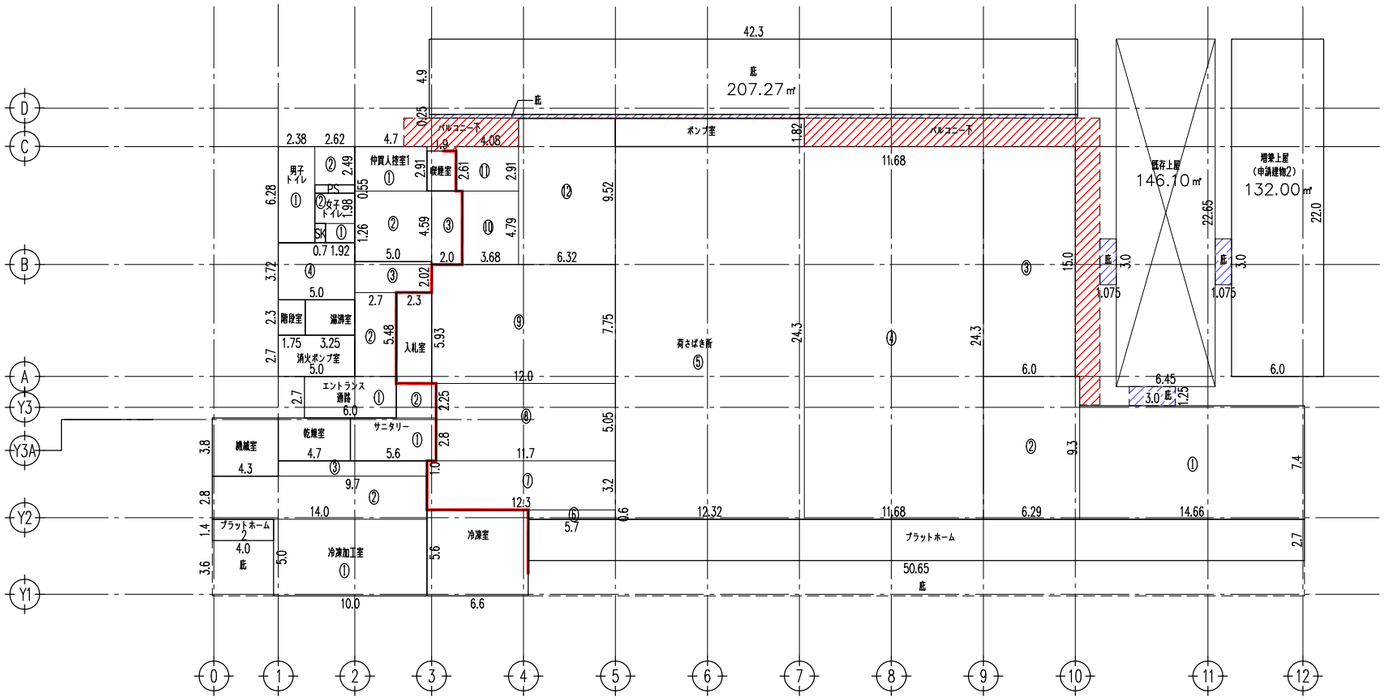


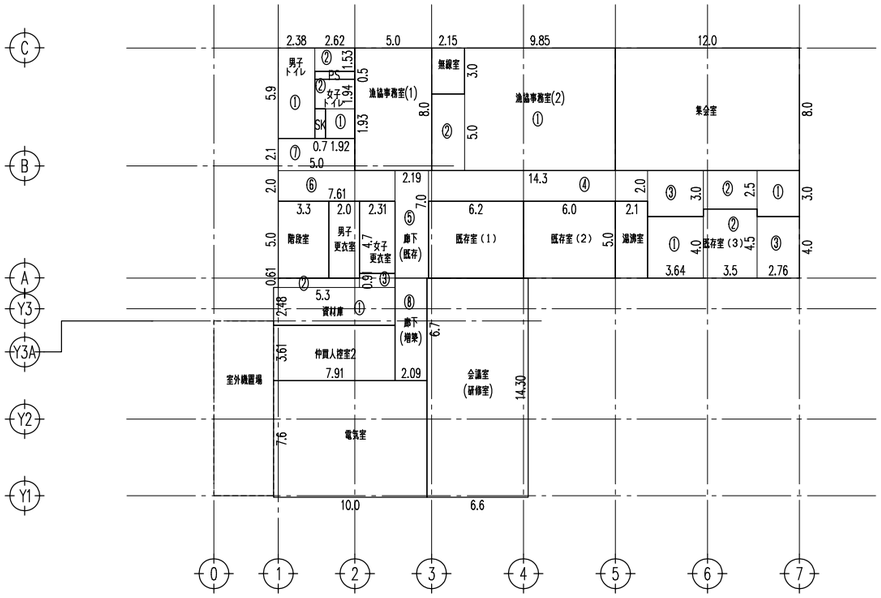
2階





工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺 A1：200 A3：400	一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所	訂正事項	DATE	CHECK	図名	建築面積・延床面積求積図
		確認	東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル 一級建築士事務所　登録(東京都)知事　第44606号 一級建築士登録　第190508号　大村　浩之				図番	A-015
作成日	2024.2.26							





十分外気に解放された荷さばきスペースは外部と考え、
庇下やバルコニー下は面積区画の対象とはしない。
区画A、B共に1,500㎡以下なのでOK。

既存上屋（付属建築物）につながる庇は全て
クリアランスを300㎜程度確保する事で、
既存上屋含め十分に外部に開放された廊下（開放廊下）とする。

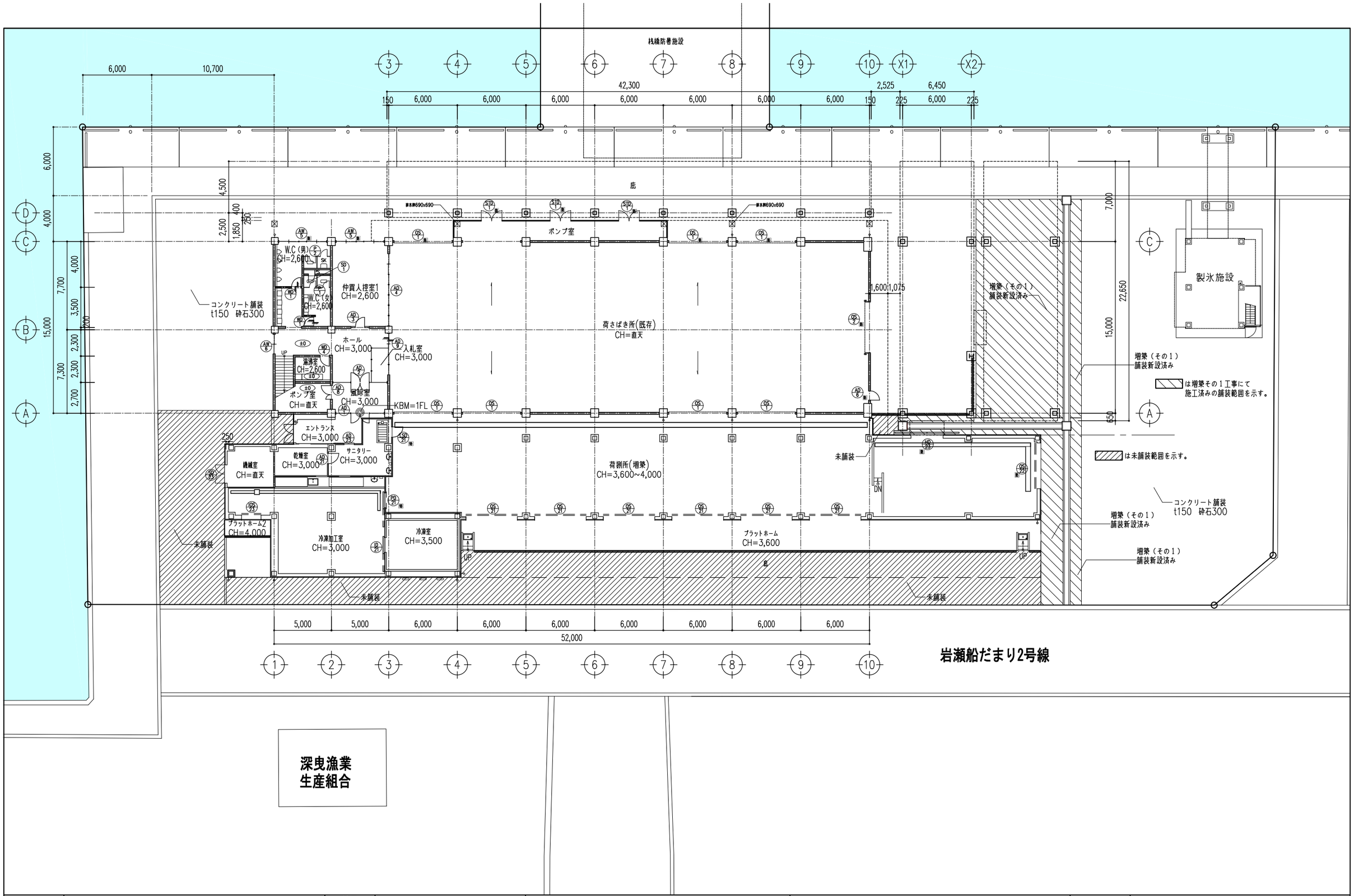
1階各室面積

室名	部位	算定式					床面積［㎡］	区画	面積区画［㎡］
荷さばき所	①	14.66	×	7.40	=	108.4840			
	②	6.29	×	9.30	=	58.4970			
	③	6.00	×	15.00	=	90.0000			
	④	11.68	×	24.30	=	283.824			
	⑤	12.32	×	24.30	=	299.3760			
	⑥	5.70	×	0.60	=	3.4200			
	⑦	12.30	×	3.20	=	39.3600			
	⑧	11.70	×	5.05	=	59.0850		A	1,303.51
	⑨	12.00	×	7.75	=	93.0000			
	⑩	3.68	×	4.79	=	17.6272			
	⑪	4.08	×	2.91	=	11.8728			
	⑫	6.32	×	9.52	=	60.1664	1,130.71		
プラットホーム	—	50.65	×	2.70	=	136.7550	136.75		
ポンプ室	—	12.32	×	1.82	=	22.4224	22.42		
入札室	—	2.30	×	5.93	=	13.6390	13.63		
冷凍室	—	6.60	×	5.60	=	36.9600	36.96		
冷凍加工室	①	10.00	×	5.00	=	50.0000			
	②	14.00	×	2.80	=	39.2000			
	③	9.70	×	1.00	=	9.7000	98.90		
プラットホーム2	—	4.00	×	1.40	=	5.600	5.60		
サニタリー	①	5.60	×	2.80	=	15.6800			
	②	2.30	×	2.25	=	5.1750	20.85		
乾燥室	—	4.70	×	2.80	=	13.1600	13.16		
機械室	—	4.30	×	3.80	=	16.3400	16.34		
仲介人控室1	①	4.70	×	2.91	=	13.6770			
	②	5.00	×	4.59	=	22.9500			
	③	2.00	×	4.79	=	9.5800	46.20		
喫煙室	—	1.90	×	2.61	=	4.9590	4.95		
湯沸室	—	3.25	×	2.30	=	7.4750	7.47		
エントランス・通路	①	6.00	×	2.70	=	16.2000			
	②	2.70	×	5.48	=	14.7960			
	③	5.00	×	2.02	=	10.1000			
	④	5.00	×	3.72	=	18.6000	59.69		
男子トイレ	①	2.38	×	6.28	=	14.9464			
	②	2.62	×	2.49	=	6.5238	21.47		
女子トイレ	①	1.92	×	1.26	=	2.4192			
	②	2.62	×	1.98	=	5.1876	7.60		
PS	—	2.62	×	0.55	=	1.4410	1.44		
SK	—	0.70	×	1.26	=	0.8820	0.88		
階段室	—	1.75	×	2.30	=	4.0250	4.02		
消化ポンプ室	—	5.00	×	2.70	=	13.5000	13.50		

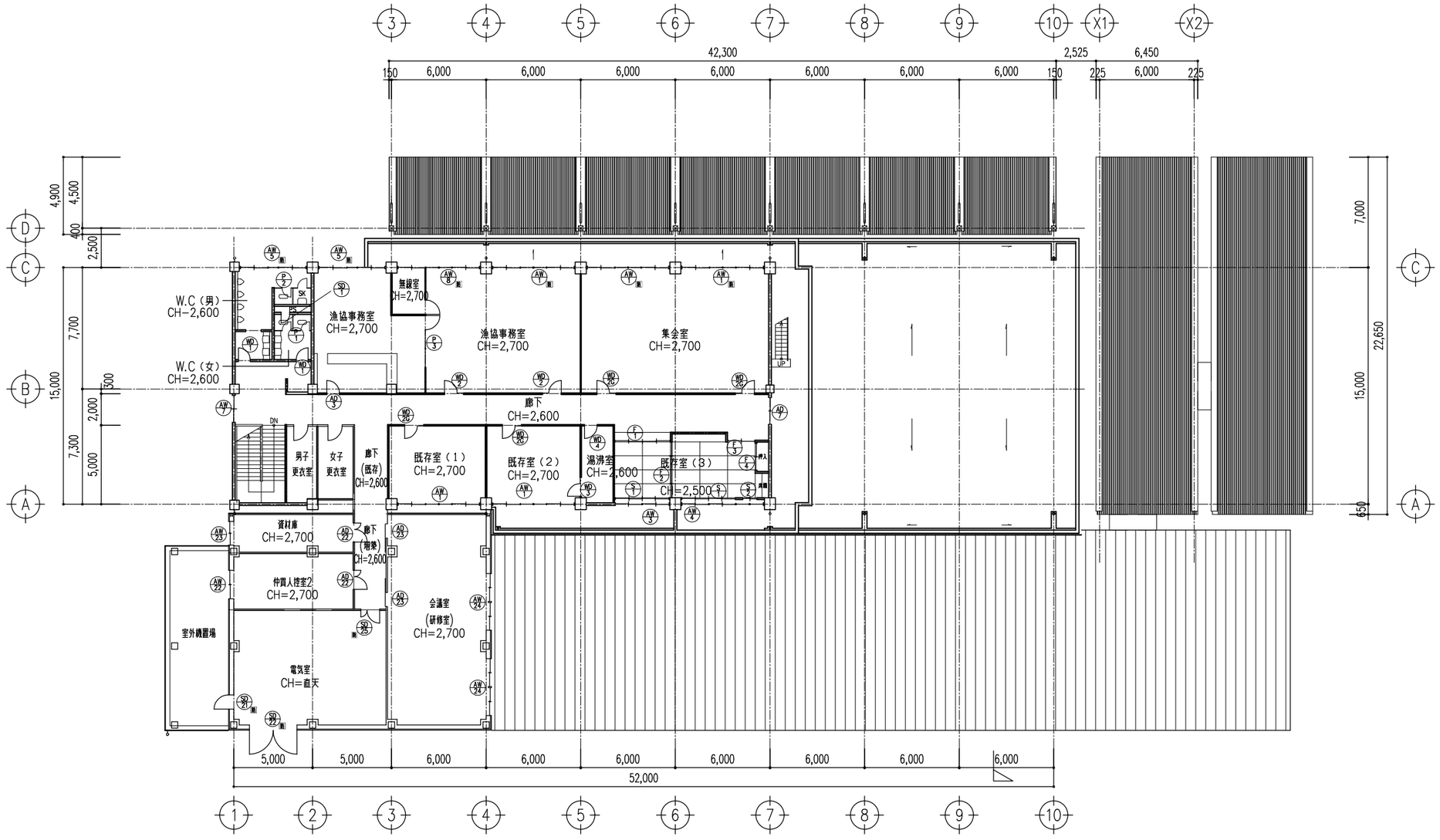
2階各室面積

室名	部位	算定式						床面積［㎡］	区画	面積区画［㎡］
集会室	—	12.00	×	8.00	=	96.0000	居室	96.00		
漁協事務室（1）	—	5.00	×	8.00	=	40.0000	居室	40.00		
漁協事務室（2）	①	9.85	×	8.00	=	78.8000	居室		B	1,106.20
	②	2.15	×	5.00	=	10.7500		89.55		
既存室（3）	①	3.64	×	4.00	=	14.5600				
	②	3.50	×	4.50	=	15.7500	居室			
	③	2.76	×	4.00	=	11.0400		41.35		
湯沸室	—	2.10	×	5.00	=	10.5000		10.50		
既存室（2）	—	6.00	×	5.00	=	30.0000		30.00		
既存室（1）	—	6.20	×	5.00	=	31.0000		31.00		
無線室	—	2.15	×	3.00	=	6.4500		6.45		
会議室	—	6.60	×	14.30	=	94.3800	居室	94.38		
電気室	—	10.00	×	7.60	=	76.0000		76.00		
仲介人控室2	—	7.91	×	3.61	=	28.5551	居室	28.55		
資材庫	①	7.91	×	2.48	=	19.6168				
	②	5.30	×	0.61	=	3.2330				
	③	2.31	×	0.91	=	2.1021		24.95		
男子更衣室	—	2.00	×	5.00	=	10.0000		10.00		
女子更衣室	—	2.31	×	4.70	=	10.8570		10.85		
廊下	①	2.76	×	3.00	=	8.2800				
	②	3.50	×	2.50	=	8.7500				
	③	3.64	×	3.00	=	10.9200				
	④	14.30	×	2.00	=	28.6000				
	⑤	2.19	×	7.00	=	15.3300				
	⑥	7.61	×	2.00	=	15.2200				
	⑦	5.00	×	2.10	=	10.5000				
	⑧	2.09	×	6.70	=	14.0030		111.60		
男子トイレ	①	2.38	×	5.90	=	14.0420				
	②	2.62	×	1.53	=	4.0086		18.05		
女子トイレ	①	1.92	×	1.93	=	3.7056				
	②	2.62	×	1.94	=	5.0828		8.78		
PS	—	2.62	×	0.50	=	1.3100		1.31		
SK	—	0.70	×	1.93	=	1.3510		1.35		
階段室	—	3.30	×	5.00	=	16.5000		16.50		
							2階居室面積	389.83		

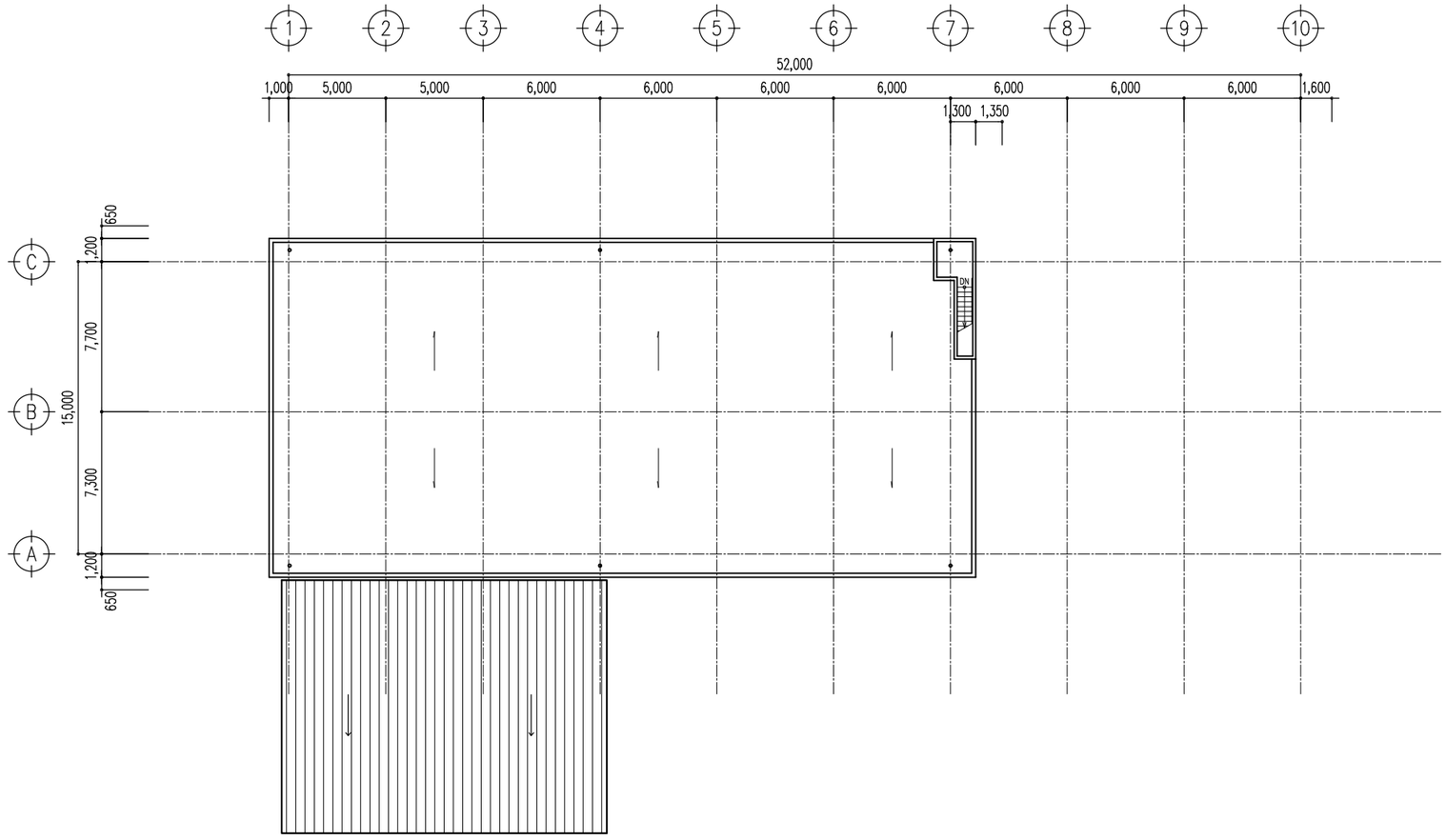
工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺 A1：200 A3：400	一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所 東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル 一級建築士事務所　登録（東京都）知事　第44606号 一級建築士登録　第190508号　大村　浩之	訂　正　事　項	DATE	CHECK	図　名	各室・面積区画 求積図
作成日	2024.2.26	確認					図　番	A-016



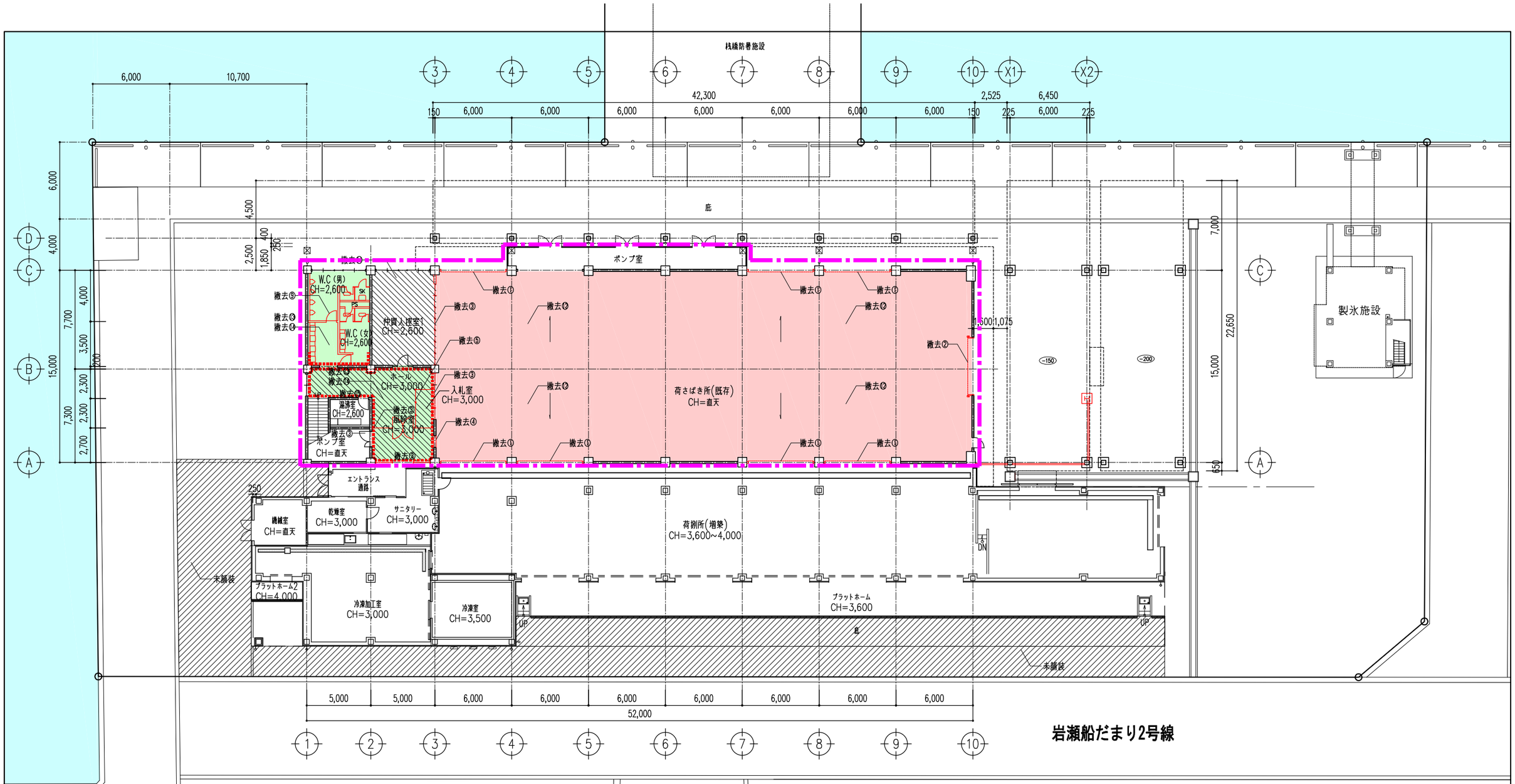
工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築(その２) 工事	縮尺	一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所	訂正事項	DATE	CHECK	図名	既存部分　1階現況図
		A1：150 A3：300	東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル					
		確認	一級建築士事務所　登録(東京都)知事　第44606号				図番	A-017
作成日	2024.2.26		一級建築士登録　第190508号　大村　浩之					



工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺		一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所	訂正事項	DATE	CHECK	図名	既存部分　2階現況図
		A1：150 A3：300		東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル					
		確認		一級建築士事務所　登録（東京都）知事　第44606号				図番	A-018
作成日	2024.2.26			一級建築士登録　第190508号　大村　浩之					



工 事 名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築(その２) 工事	縮尺 A1：150 A3：300			一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所 東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル 一級建築士事務所　登録(東京都)知事　第44606号 一級建築士登録　第190508号　大村　浩之	訂　正　事　項	DATE	CHECK	図　名	既存部分　屋根現況図
		確認								
作 成 日	2024.2.26								図　番	A-019



1階撤去リスト

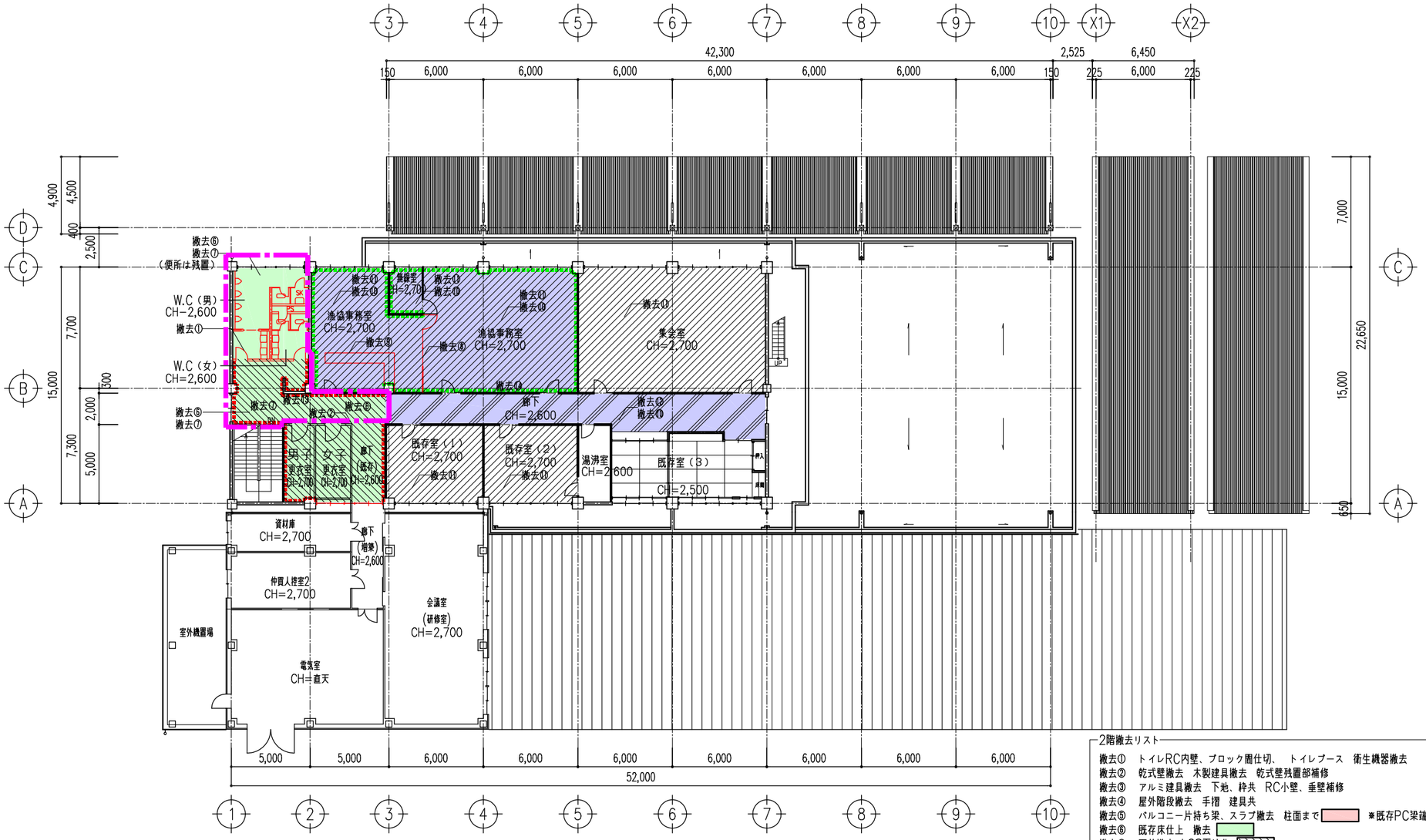
撤去①　オーバースライダー撤去　レール、下地、枠共　袖壁RC撤去補修
撤去②　オーバースライダー撤去　レール、下地、枠共
撤去③　アルミ建具撤去　下地、枠、RC袖壁共　RC小壁、垂壁補修
撤去④　RC壁一部撤去補修　新設建具用
撤去⑤　アルミバーテーション撤去
撤去⑥　雨水排水桝撤去　竪樋・側溝接続配管共

撤去⑨　トイレRC内壁、ブロック囲仕切、トイレブース　衛生機器撤去（小便器は除く）
撤去⑩　側溝、桝撤去　残置側溝部の接続部補修

撤去⑫　RC土間t150　撤去
撤去⑬　既存床仕上　撤去
撤去⑭　天井撤去　LGS下地共
撤去⑮　壁仕上撤去、軽鉄部は下地ボード及びLGS下地残置

増築（その２）工事範囲
※外構、排水、防鳥ネット、
防鳥ワイヤー工事はすべて含む

工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺		一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所	訂正事項	DATE	CHECK	図名	既存部分　1階撤去図・撤去リスト
		A1：150 A3：300		東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル					
		確認		一級建築士事務所　登録（東京都）知事　第44606号				図番	A-020
作成日	2024.2.26			一級建築士登録　第190508号　大村　浩之					

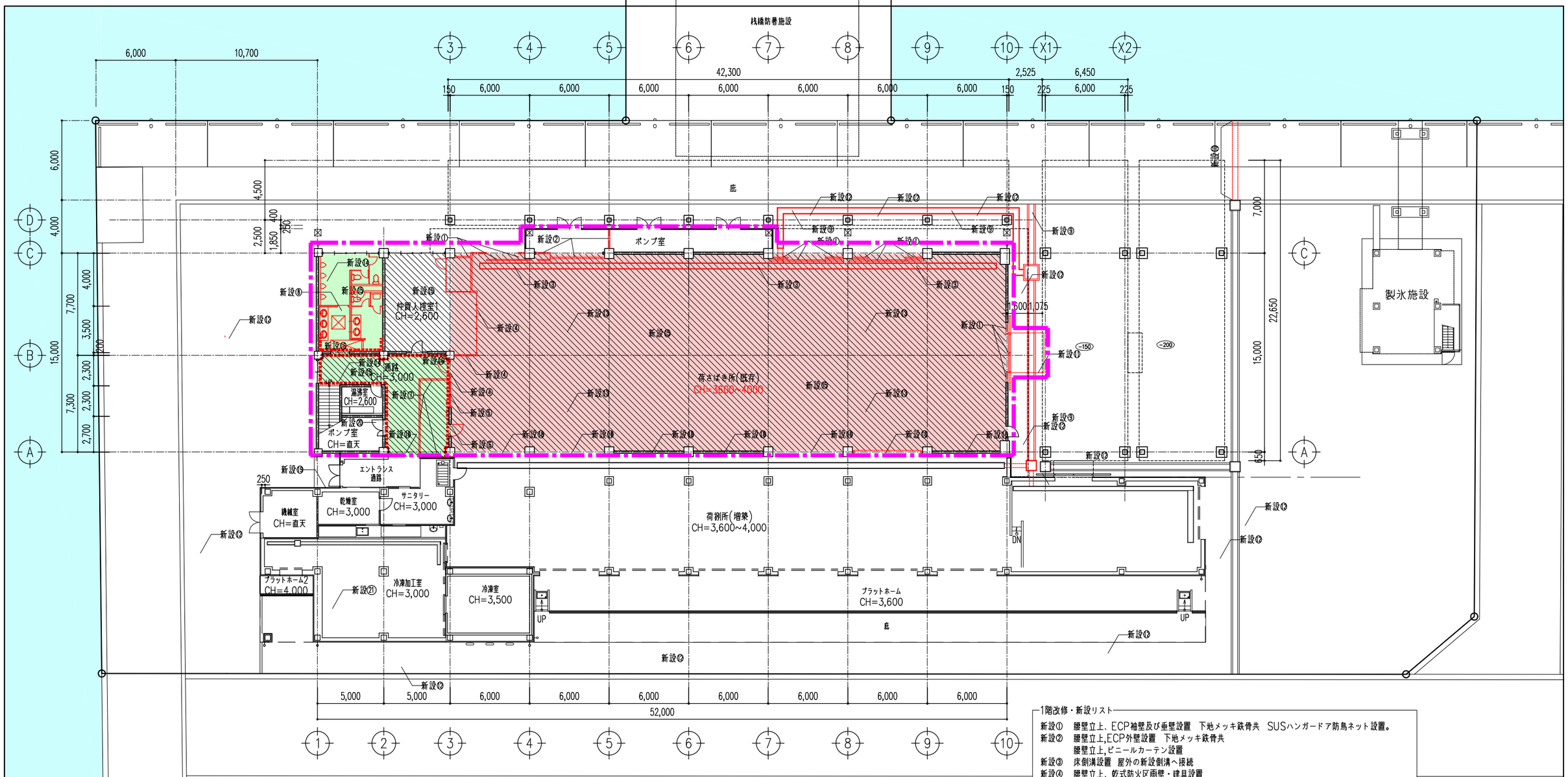


2階撤去リスト

撤去① トイレRC内壁、ブロック囲仕切、 トイレブース 衛生機器撤去
撤去② 乾式壁撤去 木製建具撤去 乾式壁残置部補修
撤去③ アルミ建具撤去 下地、枠共 RC小壁、垂壁補修
撤去④ 屋外階段撤去 手摺 建具共
撤去⑤ バルコニー片持ち梁、スラブ撤去 柱面まで ※既存PC梁端部は柱面＋200まで
撤去⑥ 既存床仕上 撤去
撤去⑦ 天井撤去 LGS下地共
撤去⑧ スチールパーテーション一部撤去
撤去⑨ 造作カウンター撤去
撤去⑩ 既存床仕上 撤去
撤去⑪ 天井撤去 LGS下地共
撤去⑫ 天井仕上・ボード撤去 LGS下地残置
撤去⑬ 壁仕上撤去、軽鉄部は下地ボード及びLGS下地残置
撤去⑭ 壁仕上撤去、軽鉄部は下地ボード及びLGS下地残置

増築（その２）工事範囲
※外構、排水、防鳥ネット、
防鳥ワイヤー工事はすべて含む

工事名	とやま市漁業協同組合 岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺 A1：150 A3：300	一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所	訂正事項	DATE	CHECK	図名	既存部分 2階撤去図・撤去リスト
		確認	東京都千代田区岩本町3-4-6 トナカイタワーズビル					
作成日	2024.2.26		一級建築士事務所 登録（東京都）知事 第44606号				図番	A-021
			一級建築士登録 第190508号 大村 浩之					



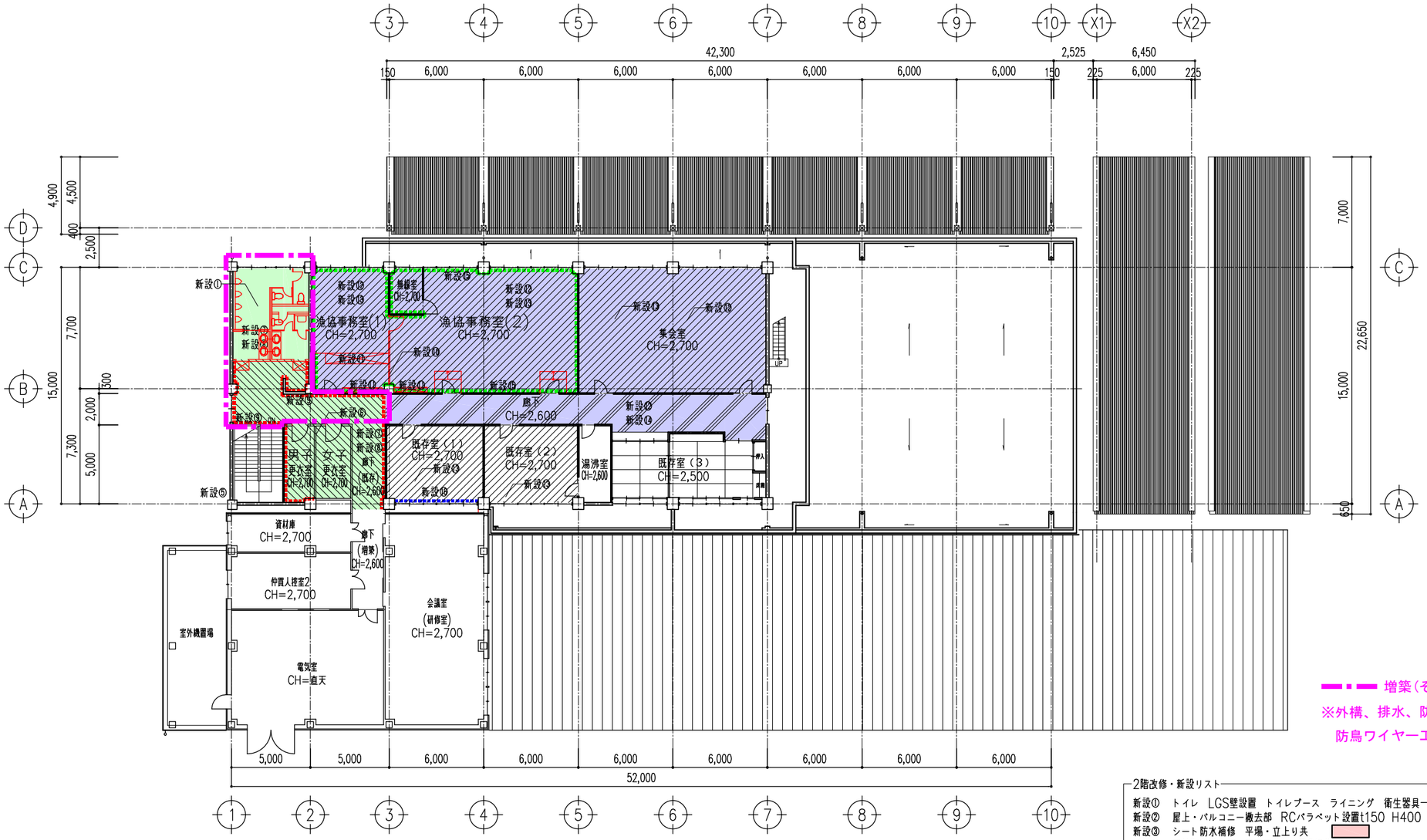
深曳漁業
生産組合

増築(その２）工事範囲
※外構、排水、防鳥ネット、
防鳥ワイヤー工事はすべて含む

1階改修・新設リスト

新設① 腰壁立上、ECP袖壁及び垂壁設置　下地メッキ鉄骨共　SUSハンガードア防鳥ネット設置。
新設② 腰壁立上,ECP外壁設置　下地メッキ鉄骨共
腰壁立上,ビニールカーテン設置
新設③ 床側溝設置　屋外の新設側溝へ接続
新設④ 腰壁立上、乾式防火区画壁・建具設置
新設⑤ 腰壁立上、乾式間仕切壁・建具設置
新設⑥ 既存RC壁面　建具設置。
新設⑦ 乾式防火区画壁設置
新設⑧ トイレ　LGS壁設置　トイレブース　ライニング　衛生器具一式　設置
新設⑨ 屋外側溝・桝設置
新設⑩ 岸壁ハツリ　埋設配管VP300　コンクリート埋戻し
新設⑪ 雨除け庇W3000設置
新設⑫ コンクリート舗装t150　路床路盤共　地盤改良H500　外構図参照
新設⑬ 床土間コン打設t200　及び仕上げ等　下部地盤改良H1000　固化材100kg/m3
新設⑭ 床仕上げ新設　下地調整・補修共
新設⑮ 天井新設　軽鉄下地・下地ボード共
新設⑯ 壁仕上のみ新設
新設⑰ 竪樋全て交換、既存と同仕様下地金具共
新設⑱ 荷捌き室天井、エントランス床・天井EXP.J設置
新設⑲ エントランス前サイン設置
新設⑳ 消火ポンプ室　防火設備建具設置
新設㉑ 作業台設置

工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築(その２）工事	縮尺			一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所	訂正事項	DATE	CHECK	図名	既存部分　1階新設図・新設リスト
		A1：150 A3：300			東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル					
		確認			一級建築士事務所　登録(東京都)知事　第44606号				図番	A-022
作成日	2024.2.26				一級建築士登録　第190508号　大村　浩之					



2階改修・新設リスト

新設① トイレ LGS壁設置 トイレブース ライニング 衛生器具一式(小便器を除く) 設置
新設② 屋上・バルコニー撤去部 RCパラペット設置t150 H400
新設③ シート防水補修 平場・立上り共
新設④ 屋外階段撤去部、同厚同仕様のRC躯体で塞ぎ
新設⑤ 竪樋全て交換、既存と同仕様下地金具共
新設⑥ 乾式間仕切壁・建具設置
新設⑦ 床仕上げ新設 下地調整・補修共
新設⑧ 天井新設 軽鉄下地・下地ボード共
新設⑨ 壁仕上のみ新設
新設⑩ アルミパーテーション設置
新設⑪ 既製品カウンター、棚設置
新設⑫ 床仕上げ新設 下地調整・補修共
新設⑬ 天井新設 軽鉄下地・下地ボード共
新設⑭ 天井新設 軽鉄下地既設流用
新設⑮ 壁仕上のみ新設
新設⑯ 既存建具ガラス目隠しフィルム貼

工事名	とやま市漁業協同組合 岩瀬地方卸売市場 増築(その2)工事	縮尺 A1：150 A3：300	一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所	訂正事項	DATE	CHECK	図名	既存部分 2階新設図・新設リスト
		確認	東京都千代田区岩本町3-4-6 トナカイタワーズビル 一級建築士事務所 登録(東京都)知事 第44606号 一級建築士登録 第190508号 大村 浩之				図番	A-023
作成日	2024.2.26							

外部仕上表(荷さばき施設増設部)

外　壁	押出成形セメント板　t=60　縦張（コーナーパネル使用）水抜きパイプ共　フッ素樹脂塗装仕上（工場焼付塗装）　目地：変成シリコーン系2成分形コーキング	
腰　壁	コンクリート打放し仕上撥水剤塗布（増し打ち　t=20）　目地：ポリサルファイド系コーキング@3000内外	
屋　根	ポルトレス長尺折板　H=160　二重折板断熱工法　超耐候性鋼板t=上張材0.8mm+下張材0.6mm　ハイレタンSGL同等　グラスウールt=100　雪止め金具付　防鳥ワイヤー	
屋　上	押えコンクリート金コテt=100（ワイヤメッシュφ6　200x200）	
	塩ビ伸縮目地@3,000　アスファルト防水層3層　スラブコンクリート金ゴテ	
屋上目隠し	アルミ製目隠しルーバー　フレクサラム同等　下地鉄骨溶融亜鉛メッキ	
笠　木	カラーアルミ笠木	
樋	カラー塩ビパイプVP　φ150　取付SUS金物@1,200	
アプローチ	ノンスリップ　300角磁器タイル貼り	
軒天	角波鋼板　超耐候性鋼板t=0.6mm　ハイレタンSGL同等　下地C-100x50x20x2.3@900	
軒裏（エントランス）	アルミスパンドレル	
外部鉄部	溶融亜鉛メッキ仕上	
Exp.J	SUS製エキスパンションジョイント（防火区画に該当する箇所のみ耐火仕様）	
防鳥ネット	PEｼｰﾄ　400dx20本　50mm目	
防鳥ワイヤー	ナイロンコート　SUS304　ワイヤー　φ1.0mm	

外部仕上表(新設上屋)

屋　根	ポルトレス長尺折板　H=160　超耐候性鋼板t=0.8mm　ハイレタンSGL同等	裏貼りフネンエースt4.0　雪止め金具付　防鳥ワイヤー
外部鉄部	溶融亜鉛メッキ仕上	
庇　下	床：ｺﾝｸﾘｰﾄ　壁：開放　天井：ポルトレス長尺折板	

外部仕上表（荷捌既設部）

ﾊﾟﾙｺﾆｰ　下	床：ｺﾝｸﾘｰﾄ　壁：押出成形ｾﾒﾝﾄ版　天井：ｺﾝｸﾘｰﾄ	

材　料　表

下記ﾒｰｶｰ同等品以上

		名　称（符　号）	品種，規格，寸法など	備　考
壁		押出成形セメント板（外壁）	t=60mm フラットパネル　（コーナーパネルとも）	メース　t=60mm　縦張り　同等品以上
壁		両面調板断熱パネル（内壁）	t=44mm ガルバリューム鋼板	
壁				
壁				
屋根	荷捌棟	ポルトレス長尺折板 二重折板断熱工法	超耐候性鋼板t=0.8mm グラスウールt=100 不燃（平成12告示第1400号）	丸馳ロック　Ⅱ型　ダブルパック同等品以上
屋根	上屋棟	ポルトレス長尺折板	超耐候性鋼板t=0.8mm	丸馳ロック　Ⅱ型　同等品以上
屋根				
床	塗床（A）		浸透性表面強化剤	シールハード同等品
床	塗床（B）		水系硬質ポリウレタン樹脂	ＡＢＣ商会 タフクリートFL同等品以上
床	複層ビニルタイル		複層ビニルタイルt=3.0	タジマ　マティル　t=3.0

特記事項

●指定建築材料はJIS又はJASに適合するものを使用する。

シックハウス対応

●使用建築材料はＦ☆☆☆☆（天井裏はＦ☆☆☆☆以上）又は規制対象外材料を使用する。

防火認定材料一覧表

不燃材料（NM）	化粧ケイ酸カルシウム板　t=6.0	NM-8577	
	石膏ボード　t=9.5	NM-0441	pb　t=9　旧認定　準不燃第2015号
	石膏ボード　t=12.5	NM-8619	JPB　t=12　旧認定　不燃第1003号
	化粧石膏ボード　t=9.5	NM-0441	
	化粧石膏ボード　t=12.5	NM-0128	
	岩綿化粧吸音板　t=12.0	NM-8599	
	岩綿吸音板　t=15.0	NM-8599	
	不燃ビニールクロス	NM-0326	
	不燃断熱ﾊﾟﾈﾙ	NM-3952-1（1）	
	吹付タイル	NM-8585	
	マーブルトーン　t=9.0	NM-1864	

耐火材料

梁　ロックウール吹付材被覆／鉄骨梁　t=25mm　1時間耐火　FP060BM-9408

使用場所：防火区画壁鉄骨梁

防火区画　LGS+強化石膏ボード　t=12.5x2　両面張り　耐火構造：FP060NP-0174

2F床：ｽﾗﾌﾞｺﾝｸﾘｰﾄ　t=150　耐火1時間　告示1399号

荷捌棟（既存ー増築部）　準耐火構造ロー2リスト

構造：　●既存棟　RC造　●増築部　鉄骨造（令第108条の2）

床：　●既存棟　RC造　●増築部　RC造（耐火時間1時間　告示1399号）

外壁：　●既存棟　RC造ー部押出成型セメント板　●増築部　押出成型ｾﾒﾝﾄ板（FP030NE-9074）

屋根：　●既存棟　RC造　●増築部　ポルトレス長尺折板（不燃材料：H12建設省告示第1400号）

延焼の恐れのある部分：　外壁　増築部　押出成形ｾﾒﾝﾄ版（FP030NE-9074）

屋根　増築部　ポルトレス長尺折板（不燃材料：H12建設省告示第1400号）

防火区画部EXPJ:　SUS-EXPJ耐火帯付

上屋棟　その他の建築

構造：　鉄骨造（不燃材料　令第108条の2）

床：　RC造（告示1400号）

外壁：　無し

屋根：　ポルトレス長尺折板　（不燃材料：H12建設省告示第1400号）

延焼の恐れのある部分：　非該当

延焼の恐れのある部分：　非該当

内部仕上表

増築（その２）工事範囲

＊特記事項ー1　・壁仕上げの化粧ｹｲｶﾙは目地シール（ｼﾘｺﾝ）貼りとする
＊特記事項ー2　・内装不燃の表示以外は準不燃以上の性能とする。

階		室　名	天井高	床 改修内容	床 仕上 下地	床 厚	巾木 改修内容	巾木 仕上 下地	巾木 H	巾木 厚	台車 ガード	壁 改修内容	壁 仕上（もしくは面材）	壁 厚		壁 下地	壁 厚	天井 改修内容	天井 仕上（もしくは面材） 下地（もしくは石材）	天井 厚	廻縁	備　考
1（既存）	変更	通路		新設	複層ビニルタイル モルタル下地調整	3						一部新設	既存壁面　仕上補修　NM-8585 新設壁面　ビニールクロス　PB9.5+12.5			モルタル下地 LGS下地	20	新設	LGS天井下地　岩綿吸音版 石膏ボード	15 9.5	塩ビ	
	現状	ホール・風除室	3,000	撤去	磁気タイル モルタル下地調整		残置	レジンテラゾ巾木	100			残置	吹付タイル			モルタル下地	20	撤去	LGS天井下地　岩綿吸音版 石膏ボード	15 9.5	アルミ	
	変更		2,400	新設	抗菌長尺塩ビシート（溶接工法） モルタル下地面調整　塗膜防水		新設	床材貼上 モルタル下地調整	100								20					ハンドドライヤー（機械設備）
	現状	男子トイレ	2,600	撤去	モザイクタイル貼り モルタル下地							残置	半磁気タイル補修クリーニング			モルタル下地	20	残置	マーブルトーン貼り LGS天井下地	9.0		
	変更		2,400	新設	抗菌長尺塩ビシート（溶接工法） モルタル下地面調整　塗膜防水		新設	床材貼上 モルタル下地調整	100			一部新設					20					ハンドドライヤー（機械設備）
	現状	女子トイレ	2,600	撤去	モザイクタイル貼り モルタル下地							残置	半磁気タイル補修クリーニング			モルタル下地	20	残置	マーブルトーン貼り LGS天井下地	9.0		
	変更	仲買人控室1		拡張部 同仕様	ウレタン防塵塗床 モルタル下地		新設	床材塗り上げ モルタル下地	100			一部新設	既存壁面　仕上補修　告示1400号 新設壁面　化粧ケイカル6　NM-8577			モルタル下地　告示1400号 石膏ボード12.5　LGS下地　NM-8619	20	新設	化粧石膏ボード　NM-0441 LGS天井下地	9.5	塩ビ	排煙告示4
	現状	仲買人控室	2,600	既存部 補修	ウレタン防塵塗床 モルタル下地		撤去	VP モルタル下地				残置	吹付タイル NM-8585			モルタル下地 告示1400号	20	撤去	マーブルトーン貼り LGS天井下地	9.0		
	変更	喫煙室	2,600	新設	ウレタン防塵塗床 モルタル下地		新設	床材塗り上げ モルタル下地	100			一部新設	既存壁面　仕上補修 新設壁面　化粧ケイカル6+PB12.5x2両面張り			モルタル下地 LGS下地	20	新設	化粧石膏ボード LGS天井下地	9.5	塩ビ	2面アルミパーテーション
	変更																					
	現状	消火ポンプ室	直天	残置	ウレタン防塵塗床 モルタル下地		残置	モルタル金ゴテ	100			残置	コンクリート打ち放し補修 木毛セメント板打t=2打込み					残置	コンクリート打ち放し補修			
	変更																					
	現状	湯沸室	2,600	残置	モザイクタイル モルタル下地							残置	半磁気タイル			モルタル下地	20	残置	マーブルトーン貼り LGS天井下地	9.0		
	変更	入札室		新設	塗床（A） モルタル下地		新設	床材塗上 RのみR=50	200			一部新設	化粧ケイカル板　NM-8577	6		石膏ボード12.5　LGS下地　NM-8619		新設	LGS天井下地　化粧ケイカル板　NM-8577 石膏ボード　NM-0441	6 9.5	塩ビ	排煙告示4
	現状	ホール・風除室	3,000	撤去	磁気タイル モルタル下地調整		撤去	レジンテラゾ巾木	100			撤去	吹付タイル			モルタル下地 告示1400号	20	撤去	マーブルトーン貼り LGS天井下地	9.0		
	変更											一部新設	新設壁面　押出成形セメント板60　フッ素樹脂塗装仕上			下地鉄骨・金物　溶融亜鉛メッキ仕上						
	現状	ポンプ室	直天	残置	コンクリート金ゴテ目地切			ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し目地切	200			残置	コンクリート打ち放し補修 押出成形セメント板60　フッ素樹脂塗装仕上			下地鉄骨・金物　溶融亜鉛メッキ仕上		残置	コンクリート打ち放し補修			
	変更		3,600~4,000	新設	塗床（A）ｶｯﾀｰ目地@3000ﾃﾗｺ コンクリート金ゴテ下地			樹脂RのみR=50	300			一部新設	既存壁面　クラック補修 新設壁面　化粧ケイカル板	6		一般部　石膏ボード12.5　LGS下地 区画部　石膏ボード12.5x2　両面　LGS下地		新設	化粧系ケイカル板 PB9.5　LGS天井下地			土間コンクリートt200新設 パレット区画ライン
	現状	荷さばき所(既存)	直天	撤去	コンクリート金ゴテ目地切			ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し目地切	1000			残置	コンクリート打ち放し補修					残置	EP吹付断熱結露防止複合ﾊﾟﾈﾙt=28打込み			土間コンクリートt150　撤去
1（増築）		荷さばき所(増築)	3,600~4,000		塗床（A）ｶｯﾀｰ目地@3000ﾃﾗｺ コンクリート金ゴテ下地			樹脂RのみR=50	300				化粧ケイカル板	6		一般部　石膏ボード12.5　LGS下地 区画部　石膏ボード12.5x2　両面　LGS下地			化粧系ケイカル板 石膏ボード LGS天井下地	6 9.5	塩ビ	Exp.J（SUS製） パレット区画ライン　フォーク充電エリアｴﾎﾟｷｼ塗床
		サニタリー	3,000		塗床（B） モルタル下地			床材塗上 RのみR=50	200				化粧ケイカル板	6		石膏ボード LGS下地	12.5		化粧ケイカル板 石膏ボード LGS天井下地	6 9.5	塩ビ	
		乾燥室	3,000		塗床（B） モルタル下地			床材塗上 RのみR=50	200				化粧ケイカル板	6		石膏ボード LGS下地	12.5		化粧ケイカル板 石膏ボード LGS天井下地	6 9.5	塩ビ	

工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺 A1：non A3：non	一般財団法人　漁港漁場漁村総合研究所 東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル 一級建築士事務所　登録（東京都）知事　第44606号 一級建築士登録　第190508号　大村　浩之	訂　正　事　項　DATE　CHECK	図　名　外部・内部仕上表
作成日	2024.2.26	確認			図　番　A-024

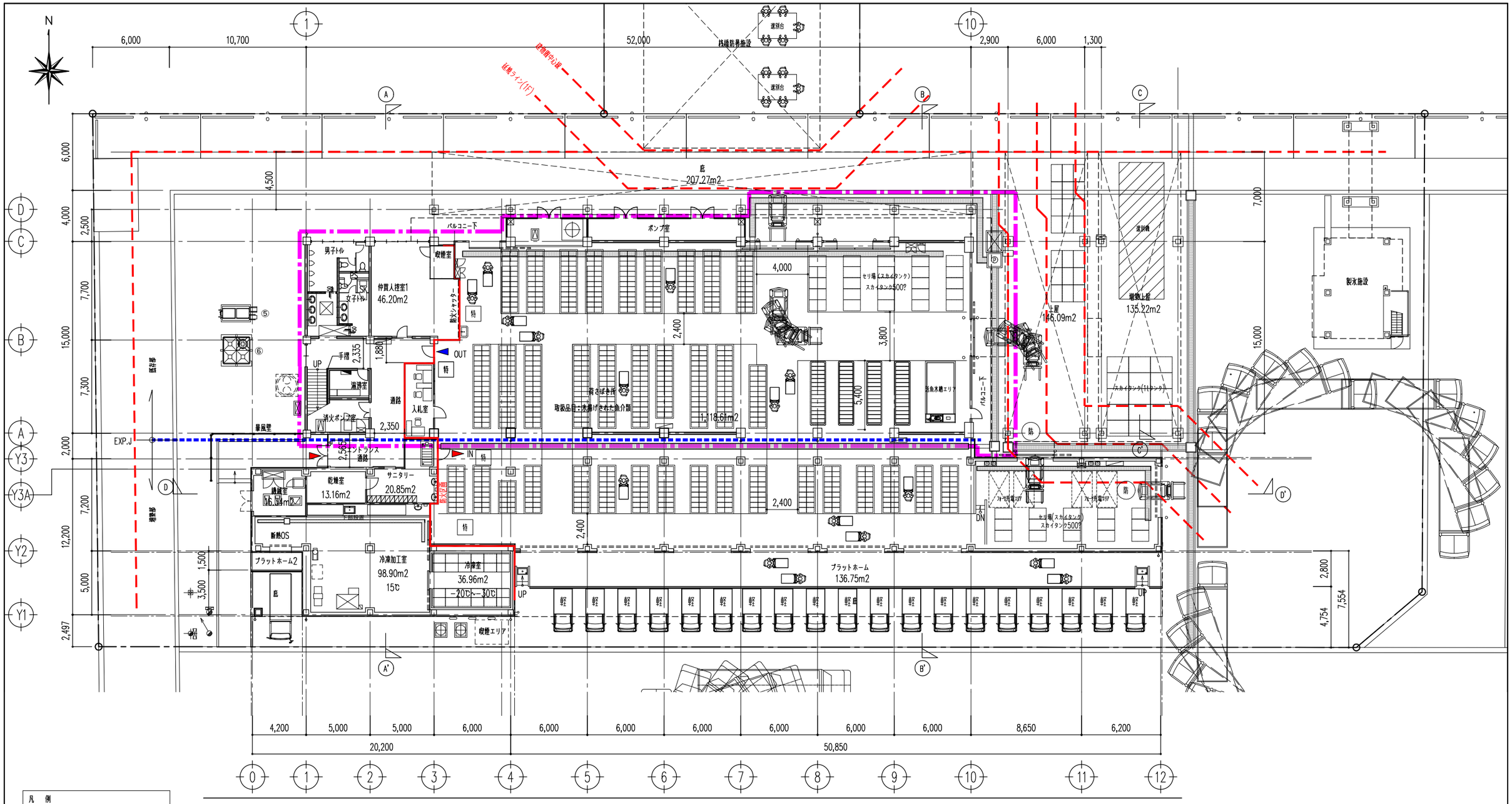
内部仕上表

増築（その２）工事範囲

※特記事項−1　・壁仕上げの化粧ｹｲｶは目地シール（ｼﾘｺﾝ）貼りとする
※特記事項−2　・内装不燃の表示以外は準不燃以上の性能とする。

階		室名	天井高	床 改修内容	床 仕上／下地	床 厚	巾木 改修内容	巾木 仕上／下地	巾木 H	巾木 厚	台車 ガード	壁 改修内容	壁 仕上（もしくは面材）	壁 厚		壁 下地	壁 厚	天井 改修内容	天井 仕上（もしくは面材）／下地（もしくは芯材）	天井 厚	廻縁	備考 ※特記事項　・内装不燃の表示以外は準不燃以上の性能とする。
1（増築）		機械室	直天		ウレタン防塵塗床 コンクリート金ゴテ下地								石膏ボード　EP塗装 外周部　外壁表し	9,5		LGS下地						
		冷凍加工室	3,000		塗床（B） 押えコンクリートt150 防湿層＋スタイロフォームt50＋防水層 コンクリート金ゴテ下地			樹脂R巾木	300				化粧ケイカル板　NM−8577	6		石膏ボードNM−8619　ウレタン吹付40 LGS下地	12.5		化粧ケイカル板　NM−8577 石膏ボードNM−8619　ウレタン吹付40 ＬＧＳ天井下地	6 9.5	塩ビ	接種告示4
		エントランス	3,000		複層ビニルタイル モルタル下地調整	3		レジンテラゾ巾木	100				化粧ケイカル板	6		石膏ボード LGS下地	20		岩綿吸音板 石膏ボード ＬＧＳ天井下地	15 9.5	アルミ	
		冷凍室	3,500		塗床（A） 押えコンクリートt150 防湿層＋スタイロフォームt250＋防水層　（機械設備工事） コンクリート金ゴテ下地			コンクリート巾木t120	300				両面鋼板不燃断熱パネル　（機械設備工事）	150					両面鋼板不燃断熱パネル　（機械設備工事）	150		
		プラットフォーム	4,000		塗床（A） コンクリート金ゴテ下地														軒裏 角波鋼板　超耐候性鋼板t=0.6mm ハイレタンSGL同等 下地C　100x50x20x2.3@900			
2（既存）	変更		2,400	新設	抗菌長尺塩ビシート（溶接工法） モルタル下地面調整　塗膜防水			床材貼上 モルタル下地調整														
	現状	男子トイレ	2,600	撤去	ビニルﾌｧｽﾘｯﾌﾟﾌﾛｱt=2.5 モルタル金コテt=27							残置	半磁気タイル補修クリーニング			モルタル下地		残置	マーブルトーン貼り ＬＧＳ天井下地	9.0		
	変更		2,400	新設	抗菌長尺塩ビシート（溶接工法） モルタル下地面調整　塗膜防水			床材貼上 モルタル下地調整														
	現状	女子トイレ	2,600	撤去	ビニルﾌｧｽﾘｯﾌﾟﾌﾛｱt=2.5 モルタル金コテt=27							残置	半磁気タイル補修クリーニング			モルタル下地		残置	マーブルトーン貼り ＬＧＳ天井下地	9.0		
	変更	漁協事務室(1)	2,670	新設	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ＋ｸﾘｰﾝOAﾌﾛｱTN−30 モルタル下地		新設	ソフト巾木	60			新設	ビニールクロス				−9.5 12.5	新設	化粧石膏ボード ＬＧＳ天井下地	9.5	塩ビ	
	現状	漁協事務室	2,700	撤去	ビニールタイル モルタル下地		撤去	ソフト巾木	60			撤去	ビニールクロス		残置	JPB t=12+pb t=9　LGS下地　（内部側） JPB t=12 GL工法　（外壁側）		撤去	システム天井　岩綿吸音板 石膏ボード	15 9.5		
	変更	漁協事務室(2)	2,670	新設	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ＋ｸﾘｰﾝOAﾌﾛｱTN−30 モルタル下地		新設	ソフト巾木	60			新設	ビニールクロス				9.5 12.5	新設	化粧石膏ボード ＬＧＳ天井下地	9.5	塩ビ	ｸﾘｰﾝOAﾌﾛｱTN−30（ｽﾛｰﾌﾟを含む）
	現状	漁協事務室	2,700	撤去	ビニールタイル モルタル下地		撤去	ソフト巾木	60			撤去	ビニールクロス		残置	JPB t=12+pb t=9　LGS下地　（内部側） JPB t=12 GL工法　（外壁側）		撤去	システム天井　岩綿吸音板 石膏ボード	15 9.5		
	変更			新設	長尺塩ビシート 既存床不陸部モルタル下地調整													新設	ＬＧＳ天井下地　岩綿吸音板 石膏ボード	15 9.5	塩ビ	
	現状	集会室	2,700	残置	ビニールタイル モルタル下地		残置	ソフト巾木	60			残置	ビニールクロス			LGS下地　石膏ボード 石膏ボード	9.5 12.5	撤去	システム天井　岩綿吸音板 石膏ボード	15 9.5	塩ビ	
	変更		2,670	新設	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ＋ｸﾘｰﾝOAﾌﾛｱTN−30 モルタル下地		新設	ソフト巾木	60			新設	吸音クロス貼り スチールパーテーション					新設	化粧石膏ボード ＬＧＳ天井下地	9.5 9.5	塩ビ	
	現状	無線室	2,700	撤去	カーペットニードルパンチ　ラバー付		撤去	ソフト巾木	60			撤去	吸音クロス貼り スチールパーテーション		残置	JPB t=12+pb t=9　LGS下地　（内部側） JPB t=12 GL工法　（外壁側）		撤去	システム天井　岩綿吸音板 石膏ボード			
	変更																	新設	化粧石膏ボード ＬＧＳ天井下地	9.5	塩ビ	
	現状	既存室（1）	2,700	残置	ビニールタイル モルタル下地		残置	ソフト巾木	60			残置	ビニールクロス			LGS下地　石膏ボード 石膏ボード	9.5 12.5	撤去	システム天井　岩綿吸音板 石膏ボード	15 9.5	塩ビ	
	変更																	新設	化粧石膏ボード ＬＧＳ天井下地	9.5	塩ビ	
	現状	既存室（2）	2,700	残置	ビニールタイル モルタル下地		残置	ソフト巾木	60			残置	ビニールクロス			LGS下地　石膏ボード 石膏ボード	9.5 12.5	撤去	システム天井　岩綿吸音板 石膏ボード	15 9.5	塩ビ	
	変更																					
	現状	湯沸室	2,600	残置	長尺塩ビシート モルタル下地		残置	ソフト巾木	60			残置	ビニールクロス			LGS下地　石膏ボード 石膏ボード	9.5 12.5	残置	マーブルトーン貼り ＬＧＳ天井下地	9.0		
	変更																					
	現状	既存室（3）	2,500	残置	畳敷 木製床下地		残置	畳寄せ				残置	ビニールクロス			JPB t=12+pb t=9　LGS下地　（内部側） JPB t=12 GL工法　（外壁側）		残置	化粧石膏ボード　クロス貼り ＬＧＳ天井下地	9.5	木製	
	変更	男子更衣室		新設	長尺塩ビシート モルタル下地		新設	ソフト巾木	60			新設	ビニールクロス			LGS下地　石膏ボード 石膏ボード	9.5 12.5	新設	ＬＧＳ天井下地　岩綿吸音板 石膏ボード	12 9.5	塩ビ	
	現状	漁協会議室	2,700	撤去	長尺塩ビシート モルタル下地		撤去	ソフト巾木	60			撤去	ビニールクロス			JPB t=12+pb t=9　LGS下地　（内部側） JPB t=12 GL工法　（外壁側）		撤去	ＬＧＳ天井下地　岩綿吸音板 石膏ボード	12 9.5	塩ビ	
	変更	女子更衣室		新設	長尺塩ビシート モルタル下地		新設	ソフト巾木	60			新設	ビニールクロス			LGS下地　石膏ボード 石膏ボード	9.5 12.5	新設	ＬＧＳ天井下地　岩綿吸音板 石膏ボード	12 9.5	塩ビ	
	現状	漁協会議室	2,700	撤去	長尺塩ビシート		撤去	ソフト巾木	60			撤去	ビニールクロス			JPB t=12+pb t=9　LGS下地　（内部側） JPB t=12 GL工法　（外壁側）		撤去	ＬＧＳ天井下地　岩綿吸音板	12	塩ビ	
	変更	廊下(既存)	2,600	新設	長尺塩ビシート モルタル下地		新設	ソフト巾木	60			新設	ビニールクロス			LGS下地　石膏ボード 石膏ボード	9.5 12.5	新設	ＬＧＳ天井下地　岩綿吸音板 石膏ボード	12 9.5	塩ビ	
	現状	漁協会議室	2,700	撤去	長尺塩ビシート モルタル下地		撤去	ソフト巾木	60			撤去	ビニールクロス			JPB t=12+pb t=9　LGS下地　（内部側） JPB t=12 GL工法　（外壁側）		撤去	ＬＧＳ天井下地　岩綿吸音板 石膏ボード	12 9.5	塩ビ	
	変更																					
	現状	階段		残置	長尺塩ビシート モルタル下地		残置	ソフト巾木	60			残置	ビニールクロス			モルタル金ゴテ　（内部側） JPB t=12 GL工法　（外壁側）		残置	ＬＧＳ天井下地　岩綿吸音板 石膏ボード	12 9.5	塩ビ	
	変更			一部新設	長尺塩ビシート（土足側） ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ（上履側）　モルタル下地													新設	ＬＧＳ天井下地　岩綿吸音板 石膏ボード	15 9.5	塩ビ	
	現状	廊下(既存)	2,600	撤去	長尺塩ビシート モルタル下地		残置	ソフト巾木	60			残置	ビニールクロス			JPB t=12+pb t=9　LGS下地　（内部側） JPB t=12 GL工法　（外壁側）		撤去	岩綿吸音板　ＬＧＳ天井下地一部撤去 石膏ボード	15 9.5	塩ビ	
2（増築）		廊下(増築)	2,600		長尺塩ビシート スラブコンクリート金ゴテ押え			ソフト巾木	60				ビニールクロス			石膏ボード 石膏ボード LGS下地	−9.5 12.5		ＬＧＳ天井下地　岩綿吸音板 石膏ボード	15 9.5	塩ビ	Exp.J（SUS製）
		資材庫	2,700		長尺塩ビシート スラブコンクリート金ゴテ押え			ソフト巾木	60				ビニールクロス			石膏ボード 石膏ボード LGS下地	9.5 12.5		ＬＧＳ天井下地　岩綿吸音板 石膏ボード	15 9.5	塩ビ	Exp.J（SUS製）
		会議室(研修室)	2,700		長尺塩ビシート スラブコンクリート金ゴテ押え			ソフト巾木	60				ビニールクロス			石膏ボード 石膏ボード LGS下地	9.5 12.5		ＬＧＳ天井下地　岩綿吸音板 石膏ボード	15 9.5	塩ビ	スチール製ブラインドボックス、ブラインド Exp.J（SUS製）
		電気室	直天		防塵塗装 スラブコンクリート金ゴテ押え			コンクリート巾木t120	150				グラスマット　ガラスクロスピン工法　NM−8606	100		石膏ボード LGS下地	12.5		折板用化粧グラスウールボード　NM−8605	100		外装：AT仕様
		仲買人控室2	2,700		長尺塩ビシート スラブコンクリート金ゴテ押え			ソフト巾木	60				ビニールクロス			石膏ボード 石膏ボード LGS下地	9.5 12.5		岩綿吸音板 石膏ボード ＬＧＳ天井下地	15 9.5	塩ビ	スチール製ブラインドボックス、ブラインド

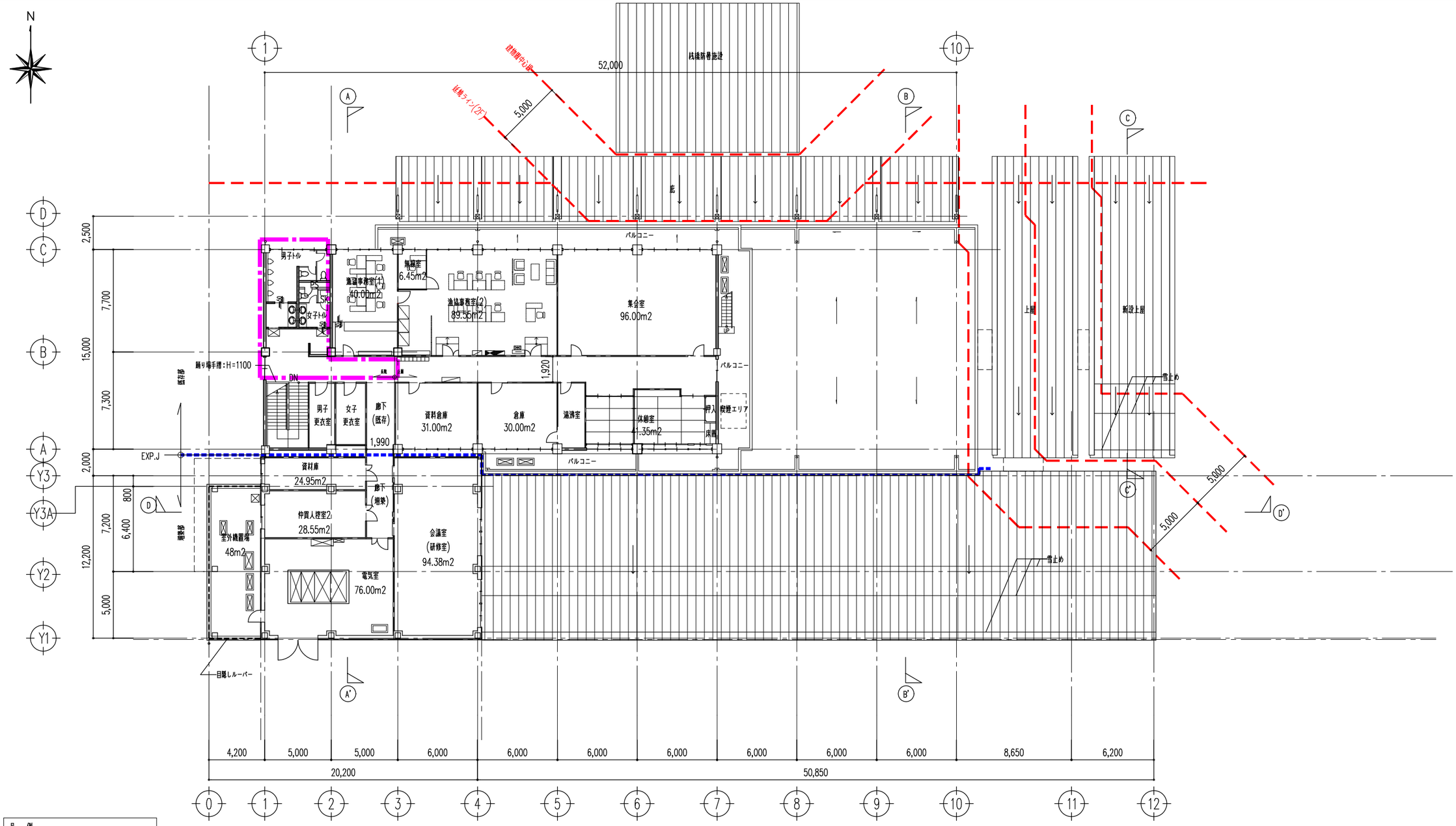
工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺 A1：non A3：non	一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所 東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル 一級建築士事務所　登録（東京都）知事　第44606号 一級建築士登録　第190508号　大村　浩之	訂正事項　DATE　CHECK	図名	内部仕上表
作成日	2024.2.26	確認			図番	A-025



凡　例	
	防火区画（兼防煙区画）
外壁側（床・壁）の耐火仕様（900㎜折返し部）	
特	常時閉鎖式特定防火設備（手動開放・自動閉鎖）
防	常時閉鎖式防火設備
	延焼の恐れのある部分

増築（その２）工事範囲
※外構、排水、防鳥ネット、
防鳥ワイヤー工事はすべて含む

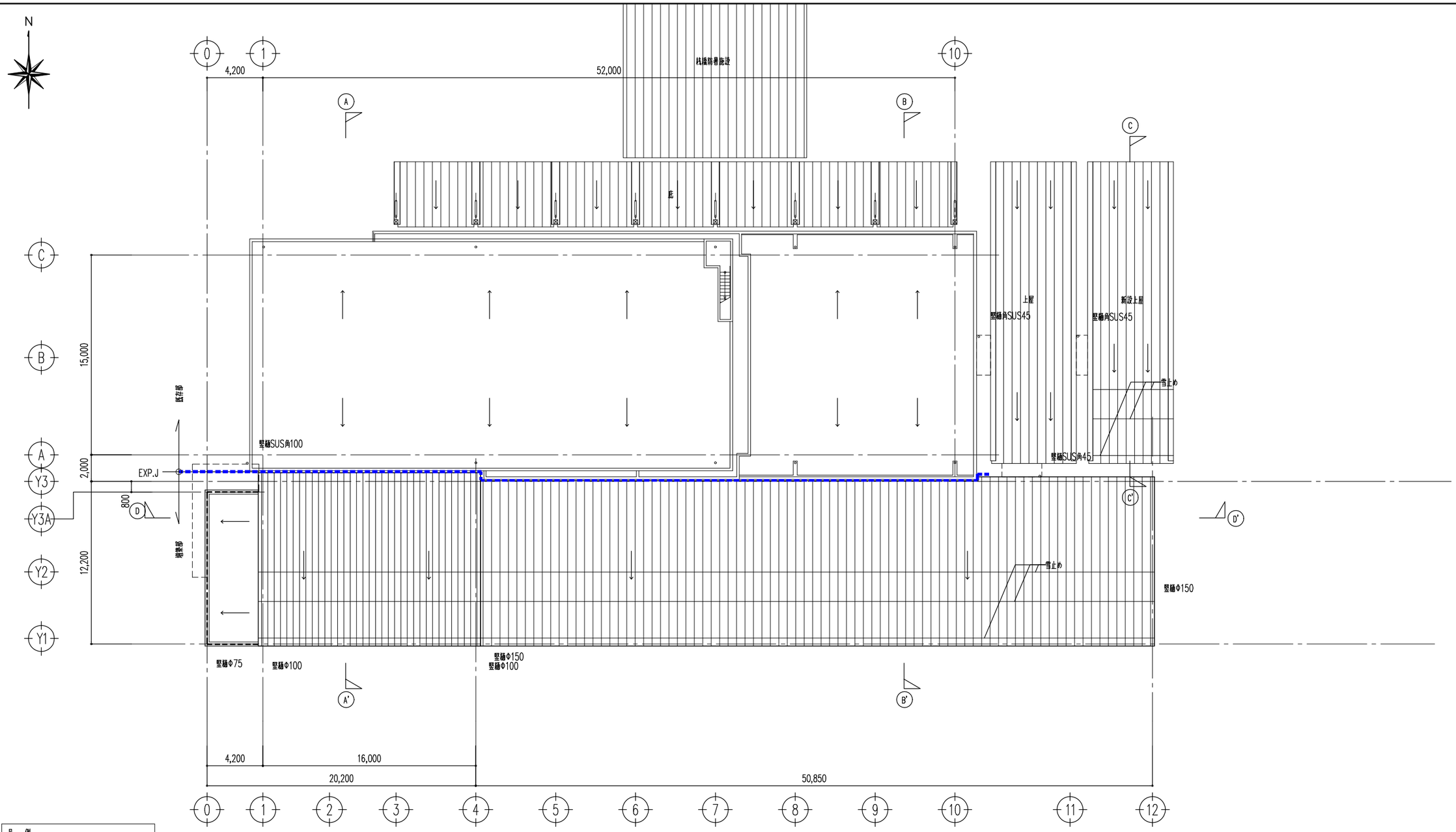
工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺			一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所	訂　正　事　項	DATE	CHECK	図　名	1階 平面図
		A1：150 A3：300			東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル					
		確認			一級建築士事務所　登録（東京都）知事　第44606号				図　番	A-026
作成日	2024.2.26				一級建築士登録　第190508号　大村　浩之					



凡　例	
━━	防火区画（兼防煙区画）
外壁側（床・壁）の耐火仕様（900折返し部）	
特	常時閉鎖式特定防火設備（手動開放・自動閉鎖）
防	常時閉鎖式防火設備
┅ ┅	延焼の恐れのある部分

増築（その２）工事範囲
※外構、排水、防鳥ネット、
防鳥ワイヤー工事はすべて含む

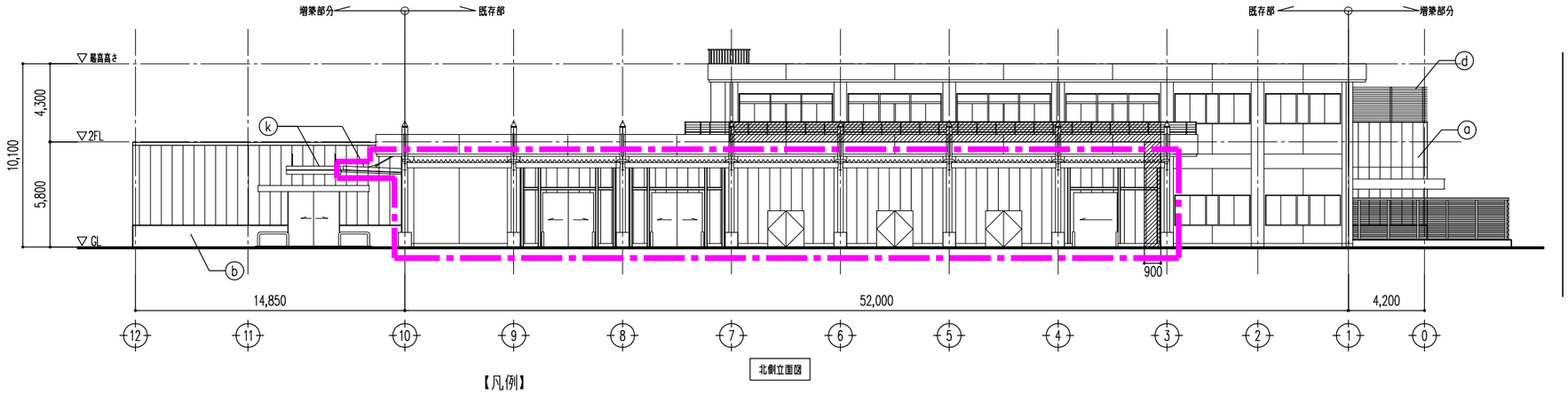
工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺 A1：150 A3：300		一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所	訂　正　事　項	DATE	CHECK	図　名	2階 平面図
		確認		東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル 一級建築士事務所　登録（東京都）知事　第44606号 一級建築士登録　第190508号　大村　浩之				図　番	A-027
作成日	2024.2.26								



凡　例	
	防火区画（兼防煙区画）
外壁側（床・壁）の耐火仕様（900折返し部）	
特	常時閉鎖式特定防火設備（手動開放・自動閉鎖）
防	常時閉鎖式防火設備
	延焼の恐れのある部分

増築（その２）工事範囲
※外構、排水、防鳥ネット、
防鳥ワイヤー工事はすべて含む

工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺 A1：50 A3：100			一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所	訂　正　事　項	DATE	CHECK	図　名	屋根伏図
		確認			東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル 一級建築士事務所　登録（東京都）知事　第44606号 一級建築士登録　第190508号　大村　浩之				図　番	A-028
作成日	2024.2.26									

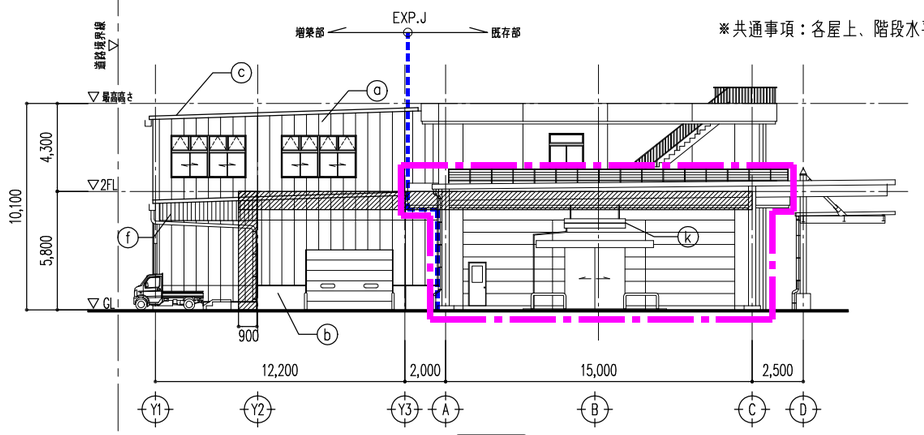


北側立面図

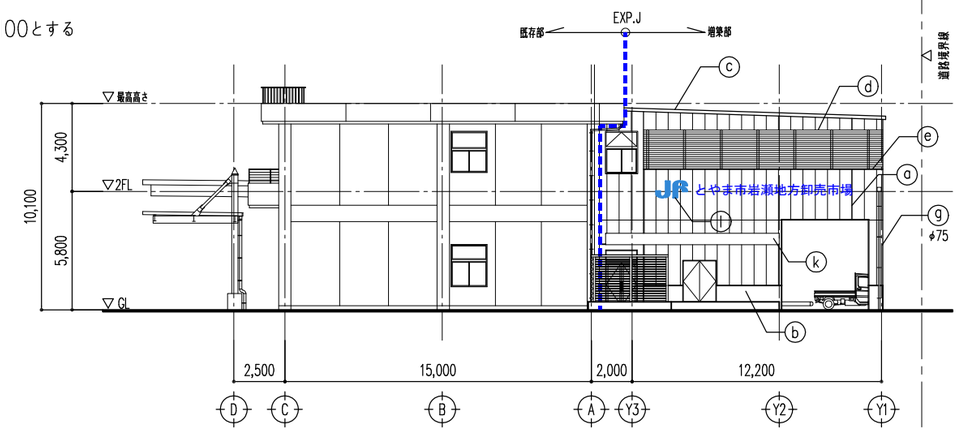
【凡例】

防火区画ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ（面積区画）

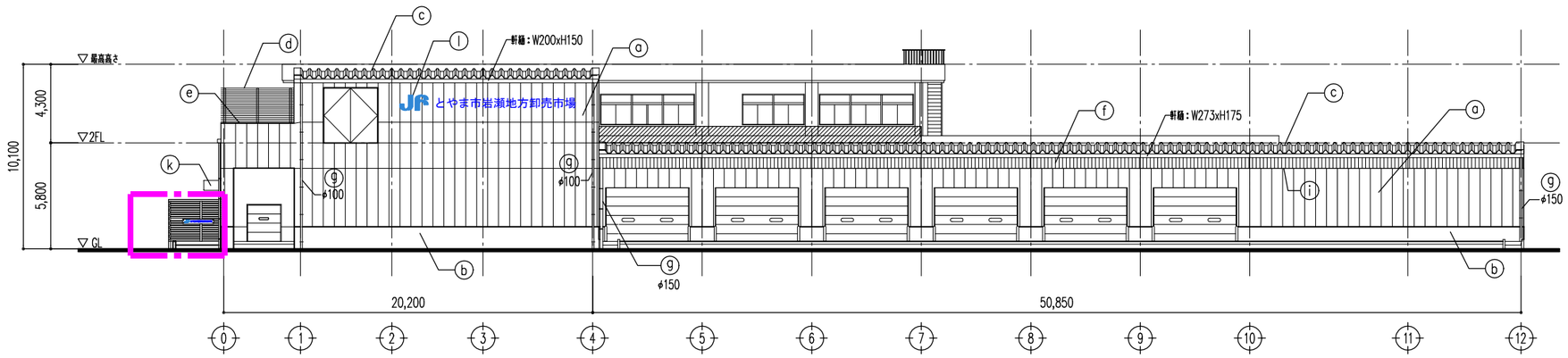
※共通事項：各屋上、階段水平部の手摺はH=1100とする



東側立面図



西側立面図



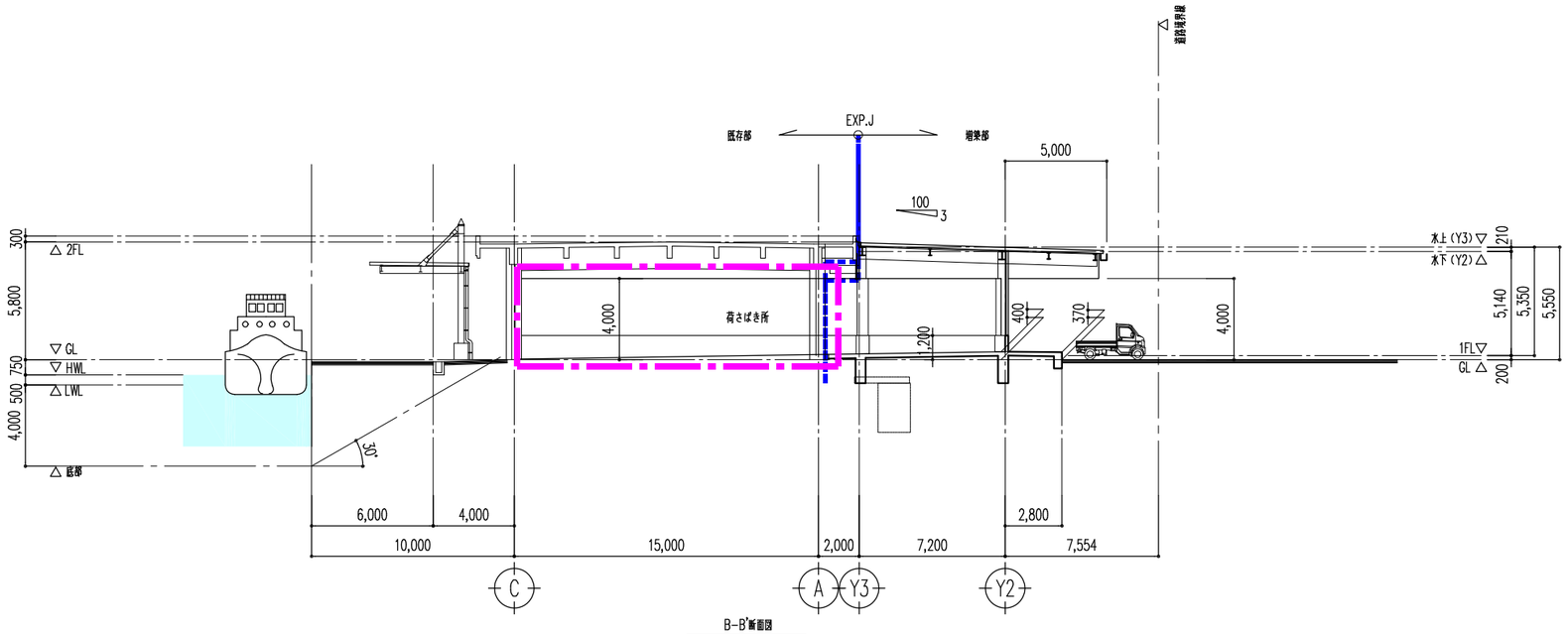
南側立面図

外部仕上リスト		
a	外　壁	押出成形セメント板　t=60　縦張（コーナーパネル使用） フッ素樹脂塗装仕上（工場焼付塗装） 目地：変成シリコーン系2成分形コーキング
b	腰　壁	コンクリート打放し仕上撥水剤塗布（増し打ち　t=20） 目地：ポリサルファイド系コーキング@3000内外
c	屋　根	ボルトレス長尺折板　H=160　二重折板断熱工法 超耐候性鋼板t=上弦材0.8mm+下弦材0.6mm　ハイレタンSGL同等
d	屋上目隠し	アルミ製目隠しルーバー　H=1900　フレクサラム同等
e	笠　木	カラーアルミ笠木
f	大庇	丸馳折板シングル葺き　耐候性鋼板　t0.8　　下地鉄骨：溶融亜鉛メッキ仕上
g	樋	カラー塩ビパイプVP　φ75~150　　取付SUS金物@1,200
h	外部鉄部	溶融亜鉛メッキ仕上
i	軒天	角波鋼板　超耐候性鋼板t=0.6mm　ハイレタンSGL同等　下地C-100x50x20x2.3@900
j	EXP.J	アルミ製エキスパンションジョイント（耐火仕様）
k	庇	ルーフデッキH=88　W=3000　D=2000　建屋屋根に同材
l	サイン	雑詳細図参照

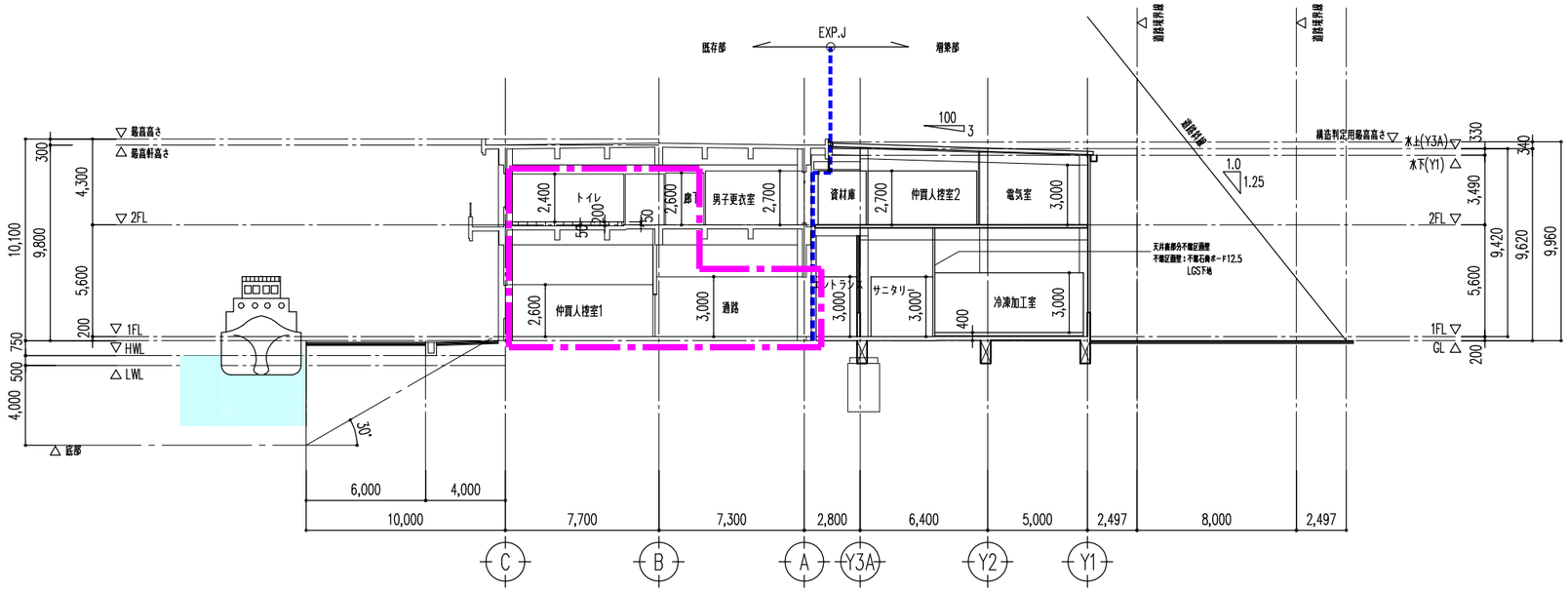
増築（その２）工事範囲

※外構、排水、防鳥ネット、
防鳥ワイヤー工事はすべて含む

工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺 A1：150 A3：300			一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所	訂　正　事　項	DATE	CHECK	図　名	立面図
		確認			東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル 一級建築士事務所　登録（東京都）知事　第44606号 一級建築士登録　第190508号　大村　浩之				図　番	A-029
作成日	2024.2.26									



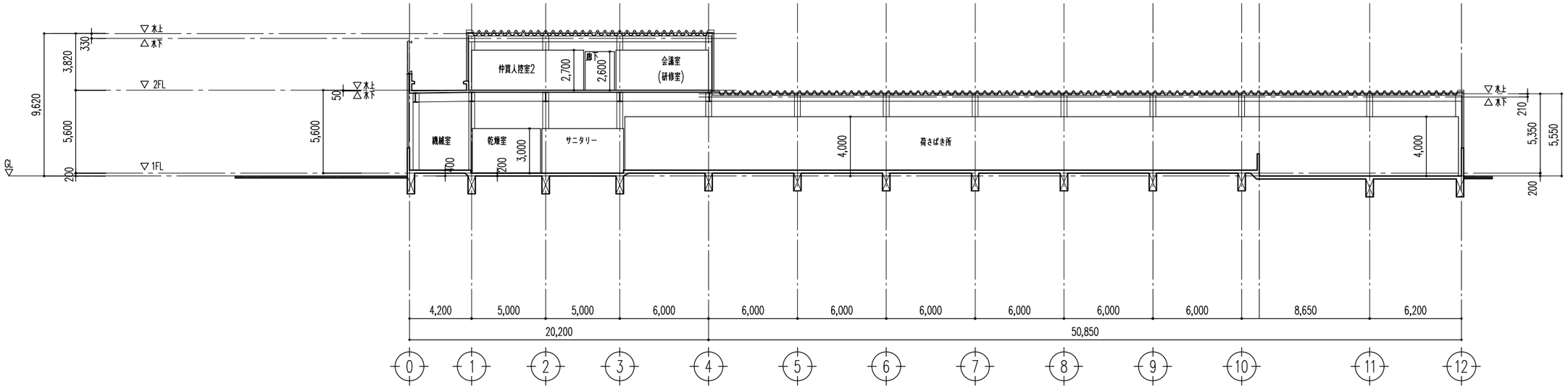
B-B'断面図



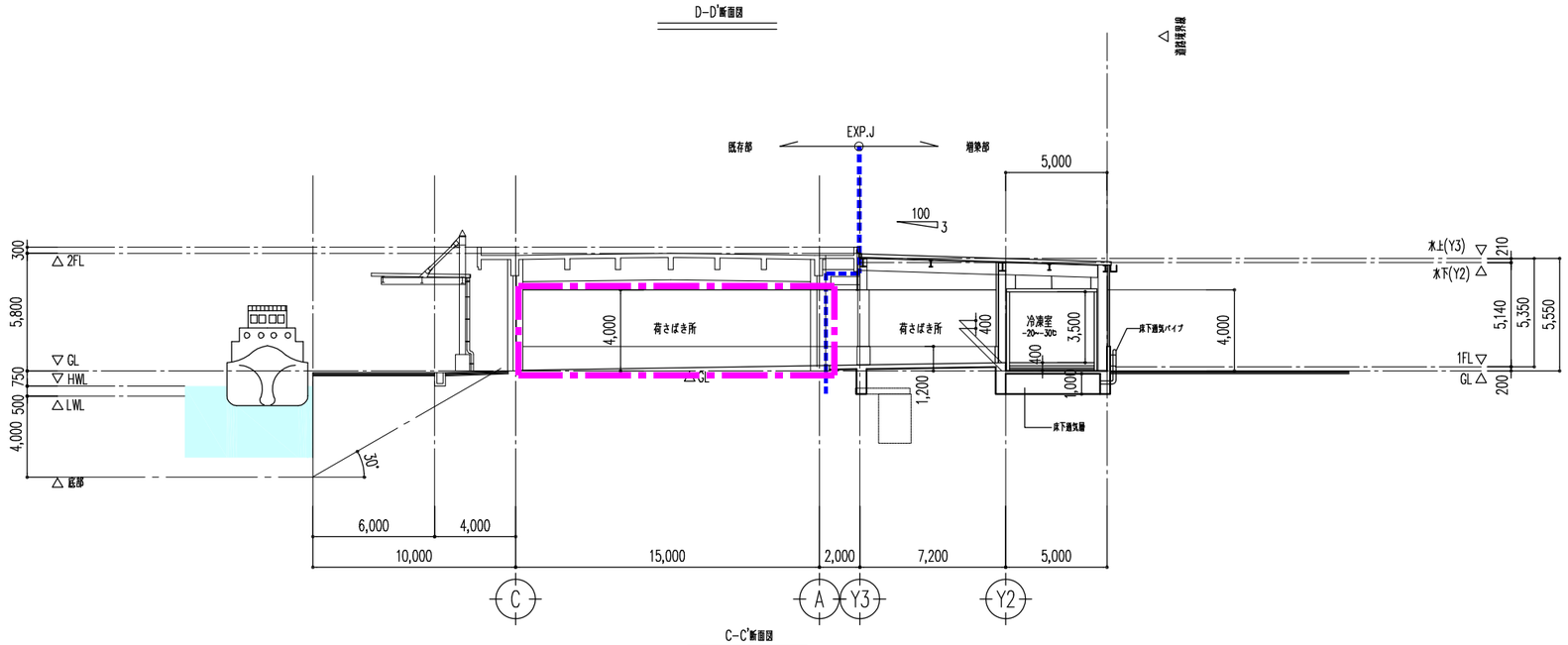
A-A'断面図

増築（その２）工事範囲
※外構、排水、防鳥ネット、
防鳥ワイヤー工事はすべて含む

工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺 A1：150 A3：300	一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所 東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル 一級建築士事務所　登録（東京都）知事　第44606号 一級建築士登録　第190508号　大村　浩之	訂正事項	DATE	CHECK	図名	断面図(1)
作成日	2024.2.26	確認					図番	A-030



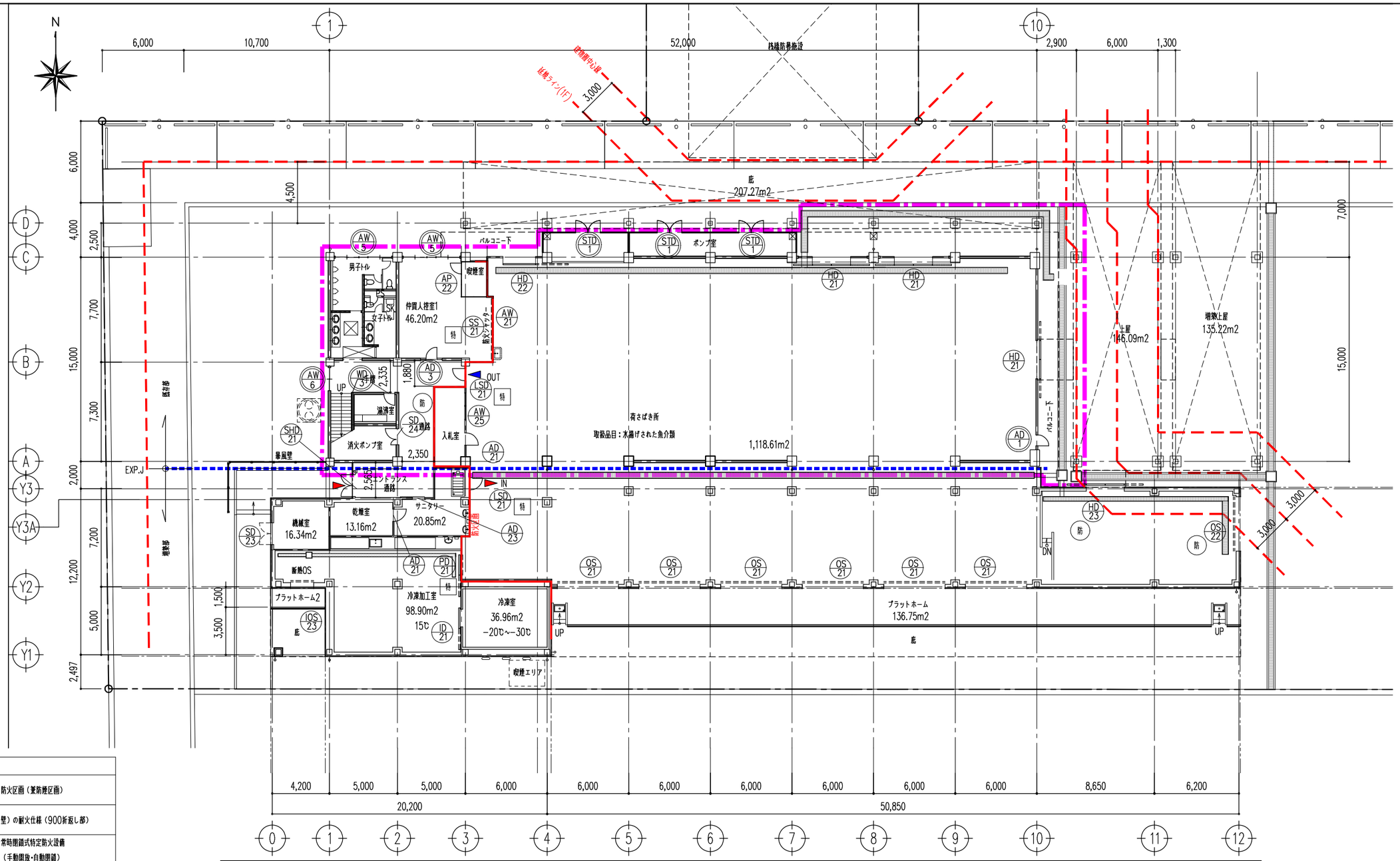
D-D'断面図



C-C'断面図

増築(その２) 工事範囲
※外構、排水、防鳥ネット、
防鳥ワイヤー工事はすべて含む

工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築(その２) 工事	縮尺 A1：150 A3：300			一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所	訂正事項	DATE	CHECK	図名	断面図(2)
		確認			東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル 一級建築士事務所　登録(東京都)知事　第44606号 一級建築士登録　第190508号　大村　浩之				図番	A-031
作成日	2024.2.26									

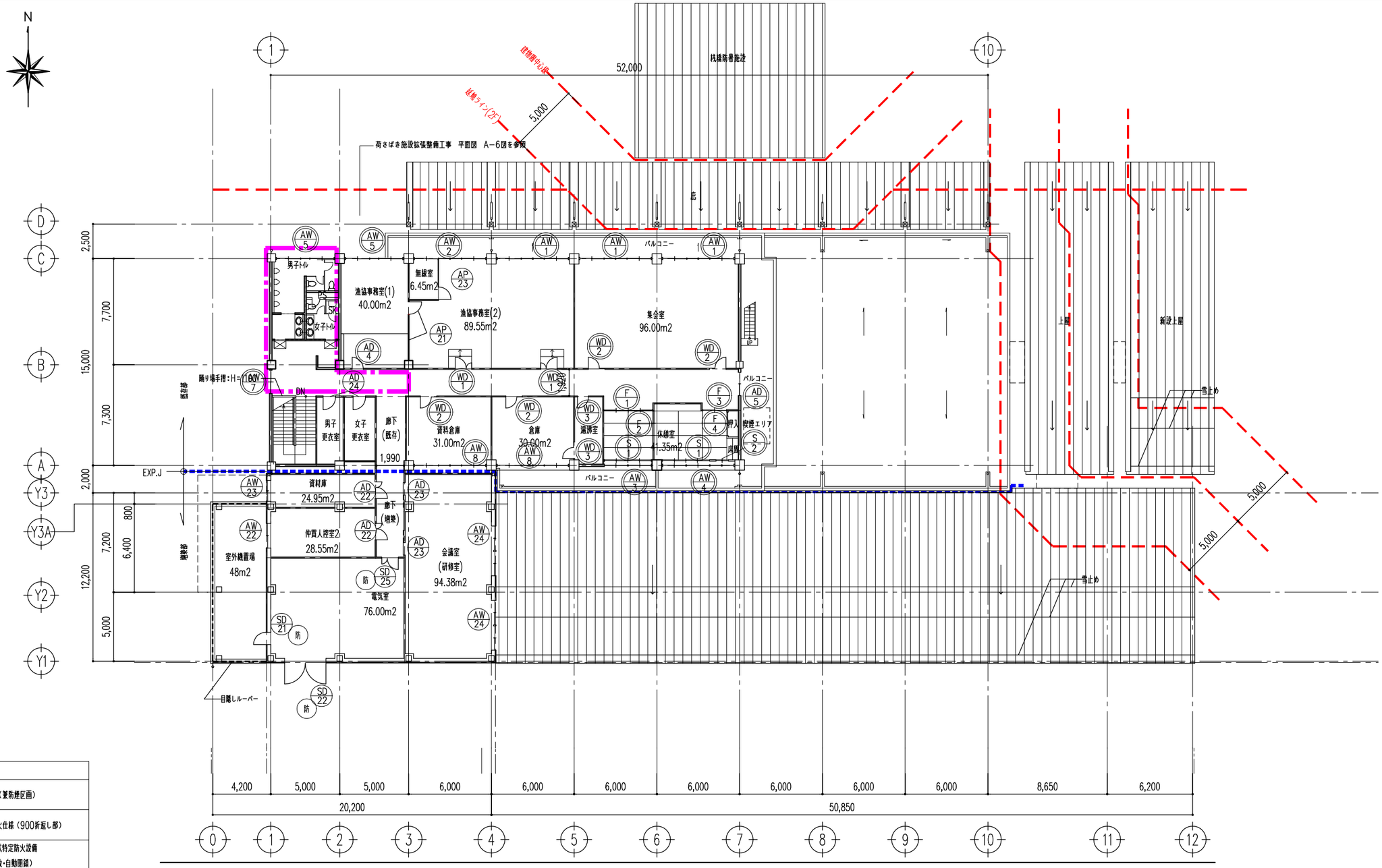


凡　例	
	防火区画（兼防煙区画）
外壁側（床・壁）の耐火仕様（900折返し部）	
特	常時閉鎖式特定防火設備（手動開放・自動閉鎖）
防	常時閉鎖式防火設備
	延焼の恐れのある部分
** **	新設建具
** **	既存建具

建具番号が20番以前の場合：既存の建具を示す。
建具番号が20番以降の場合：新設する建具を示す。

増築（その２）工事範囲

工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺 A1：150 A3：300			一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所	訂　正　事　項	DATE	CHECK	図　名	1階建具キープラン
		確認			東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル 一級建築士事務所　登録（東京都）知事　第44606号 一級建築士登録　第190508号　大村　浩之				図　番	A-033
作成日	2024.2.26									



凡　例	
	防火区画（兼防煙区画）
外壁側（床・壁）の耐火仕様（900折返し部）	
待	常時閉鎖式特定防火設備（手動開放・自動閉鎖）
防	常時閉鎖式防火設備
	延焼の恐れのある部分
** **	新設建具
** **	既存建具

建具番号が20番以前の場合：既存の建具を示す。
建具番号が20番以降の場合：新設する建具を示す。

増築（その２）工事範囲

工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺 A1：150 A3：300		一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所	訂　正　事　項	DATE	CHECK	図　名	2階建具キープラン
		確認		東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル 一級建築士事務所　登録（東京都）知事　第44606号 一級建築士登録　第190508号　大村　浩之				図　番	A-034
作成日	2024.2.26								

■ 特記事項

A．鋼製建具
1．防錆処理は、特記なき限り、JIS K5629（鉛酸カルシウム錆止ペイント）を使用する。
2．枠はｽﾁｰﾙt=2.3とする 。

B．アルミ製建具（表面処理の種別はシルバー仕上とする）
1． 塗装は、下塗1回2コート2ベークとし、1回の塗布厚15~20μとする。
2． 建具の室外側下枠は、水切り付とする。（2次排水）
3． 建具の室内側枠は、アルミ若しくはスチール額縁クリップ止めとする。木額縁の場合は埋木にてビス止め部分を隠すこと。又は、アングルピース差し込みとする。
4． 押出成型板に接する建具は2次シールガスケット方式とする。
5． 引違い戸は指ツメ防止タイプとする。
6． 引違い戸は可動網戸（ステンレス316）付とする。
7． オペレーターBOXは埋め込み式とする。

C．ステンレス製建具
1．建具は、原則として、普通曲げ加工とする。
2．鋼材は、原則として、SUS304を使用する。
3．HL・SB・VB仕上の場合は、合成樹脂塗料透明塗り（ツヤ消し・50μ以上）とする。

D．シャッター
1．外部シャッターには、はずれ止め装置を付け、特に風当たりの強い個所については強度計算を行い耐力を確かめる。
2．ハンドルボックス、押しボタンなどの操作ボックスは、ステンレス製化粧蓋（HL #180仕上）鍵付きとする。
3．シャッターレール下部(床部分)は、ステンレスt=2.0以上にて塞ぐ。
4．防煙方式のまぐさ・ガイドレールは、防災性能認定品（BCJ-SS-19）を使用する。
5．シャッター付防火戸のオートヒンジ調整孔は見え掛りを避けフサギ板を設ける。

E．建具金物
1．建具金物の材質、仕上げ、機構は特記なき限り下表による。但し、見本品を提出の上、係員の承諾を受けること。

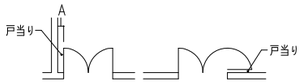
T 番	ステンレス製ヘアライン仕上げ
ピボットヒンジ	SS41鋳造又は亜鉛ダイキャスト 見掛り部分はステンレスカバー
ドアクローザー	ディレイトアクション・バックチェック 閉扉速度調整装置付 アルミダイキャスト指定色
コンシールド型 ドアクローザー	スプリング油圧式、2段変速調整装置付 90度ストップ付・バックチェック付
フロアヒンジ	フェースプレートは浅型隠ぺイ型 内外共90度ストップ付 ディレイトアクション・ラッチングアクション ・バックチェック閉扉速度調整装置付
オートヒンジ	焼付塗装（指定色）
錠 前	シリンダー錠、バックセット75mm以上、 マスターキー装置付
握り玉	ステンレス製ヘアライン仕上げ バックセット100mm、丸座100φ
フランス落し	ステンレス製ヘアライン仕上げ、戸当り込み式
レバーハンドル	座板共ステンレス製ヘアライン仕上げ
グレモンハンドル	ステンレス製ヘアライン仕上げ、レバー脱着式
戸当り	外部ステンレス製ヘアライン仕上げゴム付 内部タルクローム床埋込型
アイストッパー	両面エッチング処理（図示、指定形状）又はエッチングシート貼り（図示、指定形状）

2．ドアクローザーは、防火戸を除き90°ストッパー付、指定色とし、取付面を室内側とする。

3．窓用建具には下記付属金物一式及びクレセントを含むものとする。色はサッシと同色とする。
あおり止め、ストッパーは完全隠ぺい型とする。

形 式	種 類
片 開 き	丁番・締り・取手・あおり止め
両開き・親子開き	丁番・締り・取手・あおり止め・フランス落し
引違い・片引き	戸車・レール・締り
竪軸回転	ピボットヒンジ・締り・取手・あおり止め
横軸回転	ピボットヒンジ・締り・取手・アームストッパー
すべり出し	ピボットヒンジ・締り・取手・すべり出しアーム
突出し・内倒し・外倒し	丁番類・締り・取手・アームストッパー

F．その他
1．建具の丁番は、SD・SSDの場合は、旗丁番127mm×3mm、3枚吊り、WDの場合は、平ぎぼし付丁番127mm×3mm、3枚吊り（建具高さが1,900未満の場合は2枚吊り）とする。
2．ドアクローザー（DC）無しの開き扉は、全て戸当りを設ける。
3．自然排煙窓のハンドル、排煙オペレーターの取付け高さは、FL+1500以下とする。
4．排煙オペレーターは、ワンタッチ式もしくは煙感知器連動とし、オペレーターボックス・ケーブル等は埋込、ダンパーは、完全隠蔽式とする。
オペレーターボックスは、特記なき限り既製品とし、ボックス扉は、SUS-HL仕上とする。
5．鍵箱は、スチール既製品とする。
6．天井内、空調機械室等の外部に面するガラリの内側には、防虫網（SUS1.5φ@12×12）と水返し（ステンレス製フラッシングt=1.0上）及びチャンバー（特記なき限り設備工事）取付用のアングル等を設け、チャンバーとは板ゴムを介して取り付ける。
7．トロ詰めモルタルは、防水剤入、無塩砂を使用する。
8．特記なき限り電気錠は、通電丁番を用いる。
9．下図の場合、戸当りを設けること。



10．ドアクローザー付の場合、上図のAは100~150（標準）とする。
11．親子及び両開きの場合、ドアクローザーは1ヶ所とするが、防火戸の場合は2ヶ所とし、順位調整器付とする。
12．ドアクローザーは室内側を原則とする。
13．ドアクローザーは、ストッパー付を原則とする。防火戸については、ストッパー無しとする。
14．親子及び両開きはフランス落し付、上下1ヶ所とする。
15．外壁に取付く扉の外部上枠には、水切板（SUS304 t=2.0）を設ける。
~~16．外壁に取付く建具枠と躯体取り合いシーカは全て二重シーカとする。~~
17．電気錠の開閉は、モーター錠との使い分け、電磁作動式とする。
18．パニックオープン機能は、通電時開錠とする。

G.性能機能
1．強さ（記入なき場合は告示109号に準拠する）単位：kgf/㎡

強さの区分	80	160	200	○240	280	360	450
サッシに載荷する荷重	81.6	163	204	245	286	367	458

2．気密性（記入なき場合は8とする）単位：?/h㎡

気密性による区分	120	○30	8	2
通 気 量	30以上120未満	8以上30未満	2以上8未満	2未満

3．水密性（記入なき場合は35とする）単位：kgf/㎡

水密性による区分	10	15	25	○35	50
サッシ前後の圧力差	10.2	15.3	25.5	35.7	51.0

4．遮音等級と建具ガラス厚

JISによる遮音等級	25等級	○ 30等級	35等級以上
建 具 の 種 類	気密2前後で5mm厚 ガラスを用いた引付型	板厚ガラス及び 気密性の高いもの	特殊構造の防音 ドアや二重サッシ

5．断熱性能
JIS 等級 H-2 とする

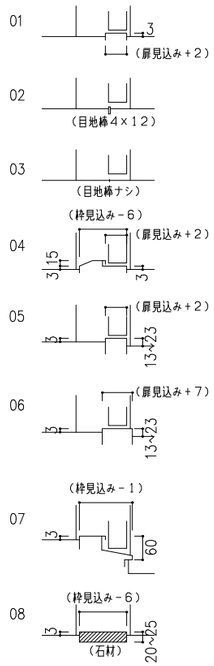
■ 建具種別

SD	鋼製扉
LSD	軽量鋼製扉
SSD	ステンレス製扉
AD	アルミ製扉
WD	木製扉
SWD	木製扉（枠のみ鋼製）
TD	強化ガラス扉
SDW	鋼製複合扉
SSDW	ステンレス製複合扉
ADW	アルミ製複合扉
SW	鋼製窓
SSW	ステンレス製窓
AW	アルミ製窓
WW	木製窓
SG	鋼製ガラリ
SSG	ステンレス製ガラリ
AG	アルミ製ガラリ
WG	木製ガラリ
SS	鋼製重量シャッター
LSS	鋼製軽量シャッター
RSS	グリルシャッター
SSS	ステンレス製重量シャッター
JD	和風建具（障子・襖）
SF	三方枠（鋼製）
SSF	三方枠（ステンレス製）
P	可動間仕切（パーティション）

■ 仕上記号

電	電解着色（被膜厚さ μ 以上）
電（二次）	電解二次着色（被膜厚さ μ 以上）
SOP	合成樹脂調合ペイント
FE	フタル酸樹脂エナメル
VE	塩化ビニール樹脂エナメル
EP	塩ビ樹脂エマルジョンペイント
AEP	アクリル樹脂エマルジョンペイント
CL	クリヤラッカー塗り
HL	ヘアライン仕上
SSB	バフ仕上
SSM	鏡面仕上（#800以上）
SB	ショットブラスト仕上
BC	硫化イブシ仕上
A-BE	アクリル樹脂焼付
F-BE	フッソ樹脂焼付
VB	バイブレーション仕上
V	特殊ビニールシート貼り

■ 沓摺形状記号

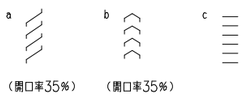


特記なき限り
SUS（304）t=2HLとする

■ ガラス種別記号

SG	フロートガラス
PSG	フロート階板ガラス
FG	型板ガラス
PWG	網入磨きガラス
FWG	網入型板ガラス
PAG	合わせガラス
TP	透明強化ガラス
CTG	着色強化ガラス
HG	熱線吸収ガラス
HWG	熱線吸収網入ガラス
MG	熱線反射ガラス
HR	高性能熱線反射ガラス
A（ ）	複層ガラス（空気層厚）
SGT	ガラスティッシュ入合わせガラス
GB	ガラスブロック
WA	和紙調アクリル板
STL	学校用強化ガラス

■ ドアガラリ形状記号

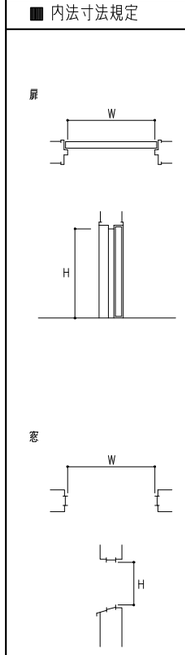


特記なき限り
ガラリ形状 a とする

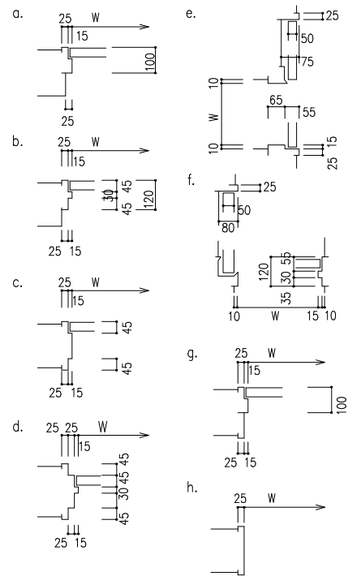
■ 性能記号

AT	エアタイト
SAT	セミエアタイト
甲	特定防火設備
乙	防火設備
不	不燃戸
煙	煙感知器連動

■ 内法寸法規定



■ 枠形状記号



枠見込寸法記号

D1	100mm以下
D2	101~200
D4	301~400
D3	201~300
D5	401mm以上

■ 建具金物［支持金物］記号

F	フロアヒンジ
A	オートヒンジ
P	ピボットヒンジ
H	丁番
L	ラバトリーヒンジ
DH	自由丁番
HR	ハンガーレール

■ 建具金物［操作金物］記号

KN	握り玉
LH	レバーハンドル
HP	押棒・押板・引手
CH	ケースハンドル
FP	鼠込引手
OP	オペレーター
EH	グレモンハンドル
CR	クレセント

■ 建具金物［開閉金物］記号

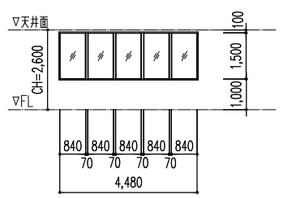
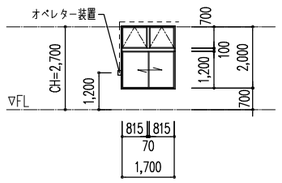
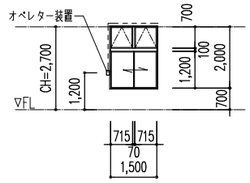
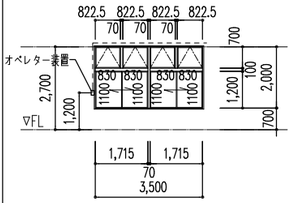
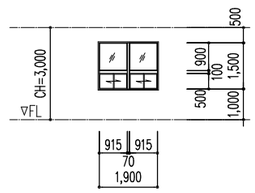
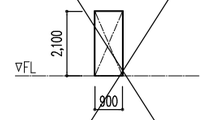
DC	ドアクローザー
FB	フランス落し
AS	アームストッパー
DS	戸当り

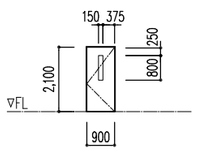
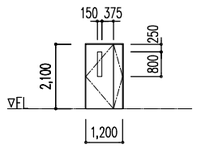
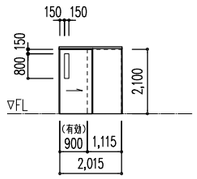
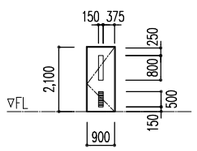
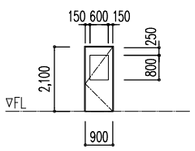
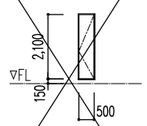
■ 建具金物［施錠金物］記号

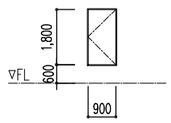
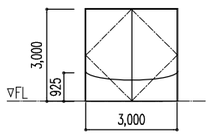
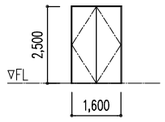
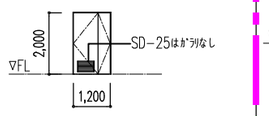
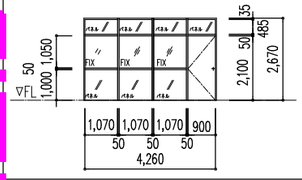
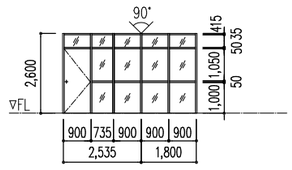
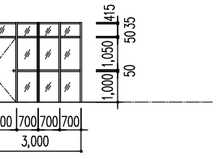
本	シリンダー本締錠
ケ	シリンダーケースロック
レ	レバーハンドル錠
ユ	ユニロック錠
鍵	シリンダー鍵錠
非	非常錠
電	電気錠
グ	グレモン錠
ホ	ホテルロック
分	分電盤錠
空	空錠
表	表示錠
点	点検口錠

工 事 名	とやま市漁業協同組合 岩瀬地方卸売市場 増築(その２）工事	縮尺 A1：100 A3：200			一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所 東京都千代田区岩本町3-4-6 トナカイタワーズビル 一級建築士事務所 登録(東京都)知事 第44606号 一級建築士登録 第190508号 大村 浩之	訂 正 事 項	DATE CHECK
作 成 日	2024.2.26	確認					

図 名	建具仕様書
図 番	A-035

記号	場所	数量	AW 21	AW 22	AW 23	AW 24	AW 25			ST 21
			1階－仲買人控室1	2階－仲買人控室2	2階－資材庫	2階－会議室（研修室）	1階－入札室			1階－男女トイレ 2階－男女トイレ
			1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	1箇所			4箇所
			1階 1箇所 2階 箇所	1階 箇所 2階 1箇所	1階 箇所 2階 1箇所	1階 箇所 2階 2箇所	1階 1箇所 2階 箇所			1階 2箇所 2階 2箇所
形状・寸法										
型　式			アルミ製　連窓FIX　5連窓	アルミ製　引違い窓＋段窓突出し窓2連	アルミ製　引違い窓＋段窓突出し窓2連	アルミ製　引違い窓2連＋段窓突出し窓4連	アルミ製　引違い窓＋段窓FIX　2連			スチール製三方枠
仕　上			シルバーB-1　酸化被膜9μ＋クリア12μ	シルバー　B-1　酸化被膜9μ＋クリア12μ	シルバー　B-1　酸化被膜9μ＋クリア12μ	シルバー　B-1　酸化被膜9μ＋クリア12μ	シルバー　B-1　酸化被膜9μ＋クリア12μ			A-BE
見　込			枠　70　mm　扉　－	枠　70　mm　扉　－	枠　70　mm　扉　－	枠　70　mm　扉　－	枠　70　mm　扉　－			枠　70　mm　扉　－
ガ ラ ス			種別　フロートガラス　厚さ　5	種別　フロートガラス　厚さ　5	種別　フロートガラス　厚さ　5	種別　フロートガラス　厚さ　5	種別　型板ガラス　厚さ　5			種別　厚さ　－
付属金物			施錠　－ ・水切⊙アルミ額縁 ・網戸 ⊙付属金物一式	施錠　クレセント ⊙水切⊙アルミ額縁　⊙オペレーター装置 ⊙網戸 ⊙付属金物一式　⊙ブラインド	施錠　クレセント ⊙水切⊙アルミ額縁　⊙オペレーター装置 ⊙網戸 ⊙付属金物一式	施錠　－　－ ・水切⊙アルミ額縁　⊙オペレーター装置 ⊙網戸 ⊙付属金物一式　⊙ブラインド	施錠　クレセント ・水切⊙アルミ額縁 ・網戸 ⊙付属金物一式			施錠 ・水切⊙アルミ額縁 ・網戸 ⊙付属金物一式
備　考										

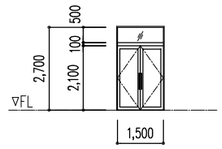
記号	場所	数量	AD 21	AD 22	AD 23	AD 24			LSD 21	LSD 22
			1階－　サニタリー・入札室	2階－仲買人控室2・資材庫	1階－サニタリー 2階－会議室	2階－女子・男子更衣室			1階－通路・サニタリー	1階－SK 2階－SK
			2箇所	2箇所	3箇所	2箇所			2箇所	2箇所
			1階 2箇所 2階 箇所	1階 箇所 2階 2箇所	1階 1箇所 2階 2箇所	1階 箇所 2階 2箇所			1階 2箇所 2階 箇所	1階 1箇所 2階 1箇所
形状・寸法									 ＊特定防火設備（認定番号EA-0284）　告示1369号	
型　式			アルミ製　片開きフラッシュドア　（額付）	アルミ製親子開き　フラッシュドア　（額付）	片引きアルミ製　フラッシュドア　（額付）	アルミ製　片開きフラッシュドア　（額付・がらり付き）			片開き常時閉鎖式軽量スチールフラッシュドア	軽量スチール片開きフラッシュドア
仕　上			アルマイト	アルマイト	アルマイト	アルマイト			化粧鋼板	化粧鋼板
見　込			枠　100　mm　扉　40	枠　100　mm　扉　40	枠　100　mm　扉　40	枠　100　mm　扉　40			枠　100　mm　扉　40　mm	枠　100　mm　扉　40
ガ ラ ス			種別　型板ガラス　厚さ　4	種別　型板ガラス　厚さ　4	種別　型板ガラス　厚さ　4	種別　型板ガラス　厚さ　4			種別　耐熱強化ガラス　厚さ　5.0　mm	種別　厚さ
付属金物			施錠　ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠　レバーハンドル ⊙丁番⊙アチェック・水切 ⊙額縁（01 － SUS製） ⊙付属金物一式	施錠　ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠　レバーハンドル ⊙丁番⊙アチェック・水切 ⊙額縁（01 － SUS製） ⊙付属金物一式	施錠　ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠(引戸用鍵錠)　SUS引き棒 ⊙ハンガー金物、・自動閉鎖装置 ⊙額縁（01 － SUS製） ⊙付属金物一式	施錠　ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠　レバーハンドル ⊙丁番⊙アチェック・水切 ⊙額縁（01 － SUS製） ⊙付属金物一式⊙ガラリ			施錠　ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠　プッシュプレート ⊙丁番⊙アチェック・水切 ⊙額縁（04 － SUS製）⊙SUS額縁（DP-1塗装） ⊙付属金物一式	施錠　点検錠　ケースハンドル ⊙丁番⊙アチェック・水切 ⊙額縁（01 － SUS製） ⊙付属金物一式
備　考										

記号	場所	数量	SD 21	SD 22	SD 23	SD 24	SD 25	AP 21	AP 22	AP 23
			2階－電気室	2階－電気室	1階－機械室	消火ポンプ室	電気室	2階－ 漁協事務室（2）	1階－仲買人控室1	2階－無線室
			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			1箇所
			1階 箇所 2階 箇所	1階 箇所 2階 1箇所	1階 1箇所 2階 箇所	1階 1箇所 2階 箇所	1階 箇所 2階 1箇所	1階 箇所 2階 1箇所	1階 1箇所 2階 箇所	1階 箇所 2階 1箇所
形状・寸法			常時閉鎖式防火設備　告示1360号 	常時閉鎖式防火設備　告示1360号  エアタイト仕様		常時閉鎖式防火設備　告示1360号 		＊改修工事 	＊改修工事 	＊改修工事 
型　式			片開きスチールフラッシュドア	両開きスチールフラッシュドア	両開きスチールフラッシュドア	親子開きスチールフラッシュドア		片開きアルミ　フラッシュドア＋アルミバーテション	片開きアルミ　フラッシュドア＋アルミバーテション	片開きアルミ　フラッシュドア＋アルミバーテション
仕　上			A-BE	A-BE	A-BE	A-BE		電2次	電2次	電2次
見　込			枠　100　mm　扉　40　mm	100　mm　扉　40　mm	枠　100　mm　扉　40　mm	枠　100　mm　扉　40　mm		枠　50 mm　扉　30	枠　50 mm　扉　30	枠　50 mm　扉　30
ガ ラ ス			種別　－　厚さ　－　mm	種別　－　厚さ　－　mm	種別　－　厚さ　－　mm	種別　－　厚さ　－　mm		種別　型板ガラス　厚さ　5	種別　フロートガラス　厚さ　4	種別　フロートガラス　厚さ　4
付属金物			施錠　ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠、ｻﾑﾀｰﾝ　レバーハンドル ⊙丁番⊙アチェック・フランス落し⊙戸当り ⊙額縁（04 － SUS製）⊙水切り　⊙四方枠 ⊙付属金物一式	施錠　ｻﾑﾀｰﾝ　グレモンハンドル ⊙丁番⊙ドアチェック⊙フランス落し⊙戸当り⊙順位調整器 ⊙額縁（04 － SUS製） ⊙付属金物一式　⊙落下防止チェーン	施錠　ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠、ｻﾑﾀｰﾝ　レバーハンドル ⊙丁番⊙アチェック⊙フランス落し⊙戸当り ⊙額縁（04 － SUS製） ⊙付属金物一式	施錠　ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠、ｻﾑﾀｰﾝ　レバーハンドル ⊙丁番⊙アチェック・フランス落し・戸当り⊙順位調整器 ⊙額縁（04 － SUS製）⊙ｽﾄｰﾊﾟｰﾂﾘ　FD付(SD-25はｶﾞﾗﾘなし) ⊙付属金物一式		施錠　レバーハンドル ⊙丁番⊙アチェック　・フランス落し ⊙額縁（01 － SUS製） ⊙付属金物一式	施錠　－　レバーハンドル ⊙丁番⊙ドアチェック・水切　・フランス落し ⊙額縁（01 － SUS製） ⊙付属金物一式	施錠　－　レバーハンドル ⊙丁番⊙ドアチェック・水切　・フランス落し ⊙額縁（01 － SUS製） ⊙付属金物一式
備　考				⊙鎖り止めチェーンSUS φ6、引き戸し棒						

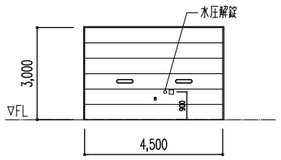
特記事項　網戸:　引違窓－可動網戸　上り出し窓、片引き窓－プリッツ網戸　外倒し窓－固定網戸　とする

増築（その２）工事範囲

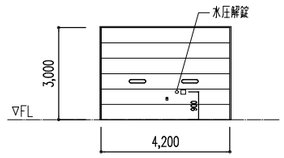
工 事 名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺 A1：100 A3：200	一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所 東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル 一級建築士事務所　登録（東京都）知事　第44606号 一級建築士登録　第190508号　大村　浩之	訂 正 事 項	DATE　CHECK	図　名　建具表(1)
作 成 日	2024. 2. 26	確認				図　番　A-036

記号	場所	数量	SHD 21	1階－エントランス	1箇所
			1階	1箇所	2階 箇所
形状・寸法					
型　式			ステンレス製　両開きカマチドア＋FIX段窓		
仕　上			SS-M		
見　込			枠 100 mm	扉 40 mm	
ガ ラ ス			種別 強化ガラス	厚さ 12 mm	
付属金物			施錠　ｼﾘﾝﾀﾞｰ＋電気錠　SUS押し棒φ32		
			⊙丁番・⊙ドアチェック・フランス落し・水切		
			⊙吝摺（04 － SUS製）⊙SUS額縁（DP-1塗装）		
			⊙付属金物一式		
備　考			※消防協議により、電気錠とし熱感連動で自動的に解錠する事とする		

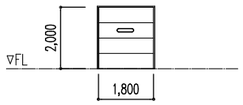
※熱感連動式

記号	場所	数量	OS 21	1階－荷さばき所	6箇所
			1階	6箇所	2階 箇所
形状・寸法					
型　式			ｱﾙﾐ製ｵｰﾊﾞｰｽﾗｲﾀﾞｰ　（手動ﾊﾟﾗﾝｽ式）（窓付）		
仕　上			パネル：カラーアルミ（指定色）		
見　込			枠 － mm	扉 － mm	
ガ ラ ス			種別 複層アクリル板	厚さ 3.0+6.0+3.0 mm	
付属金物			施錠　Ccy		
			・丁番・ドアチェック・フランス落し・水切		
			・吝摺		
			⊙付属金物一式　⊙防鳥ネット　⊙水切（ウエザーストラップ）		
備　考			⊙SUS三方枠　⊙SUSガイドレール		

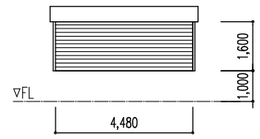
耐風圧性能　1,250Pa、水圧解錠装置付

記号	場所	数量	OS 22	1階－荷さばき所	1箇所
			1階	1箇所	2階 箇所
形状・寸法					
型　式			スチール製ｵｰﾊﾞｰｽﾗｲﾀﾞｰ　（手動ﾊﾟﾗﾝｽ式）（窓付）		
仕　上			パネル：化粧鋼板（指定色）		
見　込			枠 － mm	扉 － mm	
ガ ラ ス			種別 網入り透明ガラス	厚さ 6.8+6.0+6.8 mm	
付属金物			施錠　Ccy		
			・丁番・ドアチェック・フランス落し・水切		
			・吝摺		
			⊙付属金物一式　⊙防鳥ネット　⊙水切（ウエザーストラップ）		
備　考			⊙SUS三方枠　⊙SUSガイドレール		

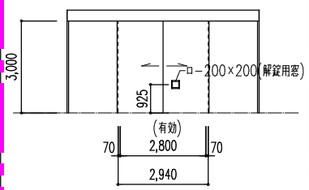
防火設備（告示1360号）　耐風圧性能　1,250Pa、水圧解錠装置付

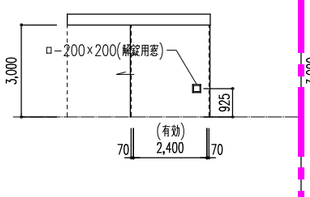
記号	場所	数量	IOS 23	1階－冷凍加工室	1箇所
			1階	1箇所	2階 箇所
形状・寸法					
型　式			ｱﾙﾐ製断熱ｵｰﾊﾞｰｽﾗｲﾀﾞｰ　（手動ﾊﾟﾗﾝｽ式）（窓付）		
仕　上			パネル：カラーアルミ鋼板（指定色）　パネル厚50		
見　込			枠 － mm	扉 － mm	
ガ ラ ス			種別 複層アクリル板	厚さ 3.0+6.0+3.0 mm	
付属金物			施錠　Ccy		
			・丁番・ドアチェック・フランス落し・水切		
			・吝摺		
			⊙付属金物一式　⊙防鳥ネット		
備　考			⊙枠廻り断熱ウレタン吹付充填t=50		

耐風圧性能　1,250Pa

記号	場所	数量	SS 21	1階－仲買人控室1	1箇所
			1階	1箇所	2階 箇所
形状・寸法					
型　式			モーター降下式手動スチール製重量防火シャッター（天井内収まり）		
仕　上			A-BE（スラットのみ亜鉛メッキ素地）		
見　込			枠 200（t=1.6）mm	扉 － mm	
ガ ラ ス			種別 －	厚さ － mm	
付属金物			施錠　－		
			・丁番・ドアチェック・フランス落し・水切		
			・吝摺（ SUS製 ）⊙座板（ SUS製 ）		
			⊙ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ（ SUS製 ）PL1.6+SUSｱﾝｸﾞﾙ⊙付属金物一式		
備　考			⊙安全装置付き　AC200.0.25A		

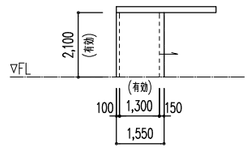
特定防火設備（認定番号CAS-1140）　熱感連動式　告示1369号

記号	場所	数量	HD 21	1階－荷さばき所	3箇所
			1階	3箇所	2階 箇所
形状・寸法					
型　式			手動両引きステンレス製ハンガードア		
仕　上			SS-M		
見　込			枠 － mm	扉 50 mm	
ガ ラ ス			種別 透明ガラス（解錠用窓）	厚さ 4.0 mm	
付属金物			施錠　ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠(引戸用鍵錠)　SUS引手		
			⊙監客仕様（レール、ガイドローラー、SUS仕様）		
			⊙吊金物一式　⊙防鳥ネット		
			⊙額縁(ステンレスDP－1塗装)⊙付属金物一式		
備　考					

記号	場所	数量	HD 22	1階－荷さばき所	1箇所
			1階	1箇所	2階 箇所
形状・寸法					
型　式			手動片引きステンレス製ハンガードア		
仕　上			SS-M		
見　込			枠 － mm	扉 50 mm	
ガ ラ ス			種別 透明ガラス（解錠用窓）	厚さ 4.0 mm	
付属金物			施錠　ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠(引戸用鍵錠)　SUS引手		
			⊙監客仕様（レール、ガイドローラー、SUS仕様）		
			⊙吊金物一式　⊙防鳥ネット		
			⊙額縁(ステンレスDP－1塗装)⊙付属金物一式		
備　考					

記号	場所	数量	HD 23	1階－荷さばき所	1箇所
			1階	1箇所	2階 箇所
形状・寸法			防火設備　告示1360号		
型　式			手動両引きｽﾃﾝﾚｽﾊﾝｶﾞｰﾄﾞｱ		
仕　上			SS-M		
見　込			枠 － mm	扉 50 mm	
ガ ラ ス			種別 －	厚さ － mm	
付属金物			施錠　ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠(引戸用鍵錠)　SUS引手		
			⊙監客仕様（レール、ガイドローラー、SUS仕様）		
			⊙吊金物一式　⊙防鳥ネット		
			⊙額縁(ステンレスDP－1塗装)⊙付属金物一式		
備　考					

記号	場所	数量	ID 21	1階－冷凍加工室	1箇所
			1階	1箇所	箇所
形状・寸法			※機械設備工事		
型　式			電動片引き防熱ドアー		
仕　上			カラー鋼板		
見　込			枠 mm	扉 150 mm	
ガ ラ ス			種別 －	厚さ － mm	
付属金物			施錠　－		
			・丁番・ドアチェック・フランス落し・水切		
			・吝摺（ SUS製 ）		
			⊙付属金物一式　無目センサー　制御盤　補助センサー		
			・SUS製ハセップレールカバー		
備　考					

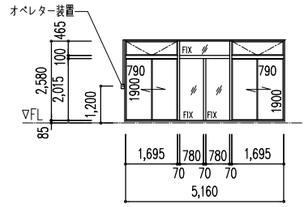
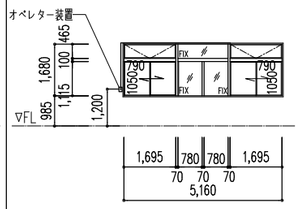
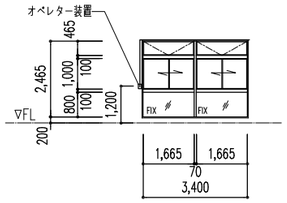
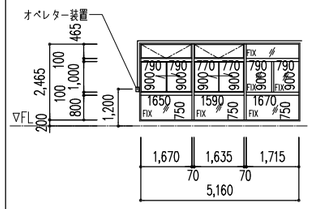
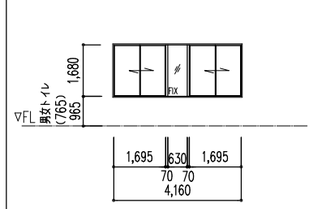
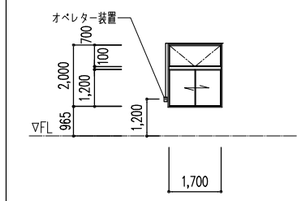
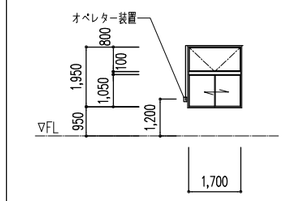
記号	場所	数量	PD 21	1階－冷凍加工室	1箇所
			1階	箇所	2階 箇所
形状・寸法					
型　式			電動片引きパネルドア		
仕　上			SUS鋼板		
見　込			枠 mm	扉 60	
ガ ラ ス			種別	厚さ	
付属金物			施錠		
			⊙ハンガー金物、・自動閉鎖装置		
			・吝摺（01 － SUS製）		
			⊙付属金物一式　⊙サニタリーカバー		
			⊙グラスウール24K充填		
備　考					

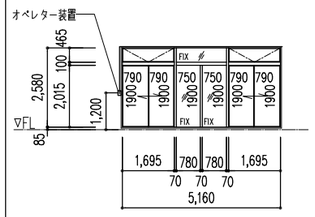
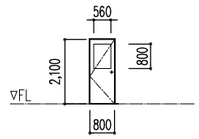
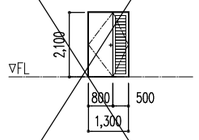
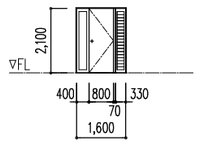
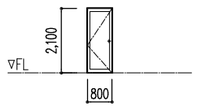
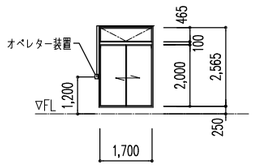
特定防火設備（告示1369号）　熱感連動式

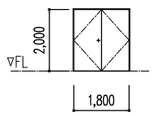
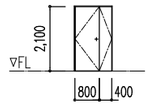
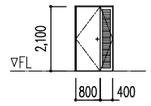
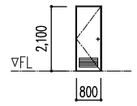
記号	場所	数量			
形状・寸法					
型　式					
仕　上					
見　込					
ガ ラ ス					
付属金物					
備　考					

増築（その２）工事範囲

工 事 名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺 A1：100 A3：200	確認	一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所	訂　正　事　項	DATE	CHECK	図　名	建具表(2)
作 成 日	2024. 2. 26			東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル 一級建築士事務所　登録（東京都）知事　第44606号 一級建築士登録　第190508号　大村　浩之				図　番	A-037

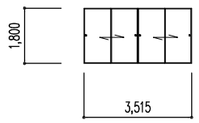
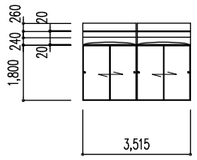
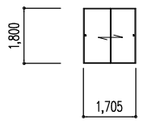
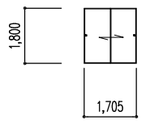
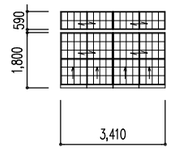
記号	場所	数量	AW 1	2階－集会室 漁協事務室（2）	3箇所	AW 2	2階－ 漁協事務室（2）	1箇所	AW 3	2階－休憩室	1箇所	AW 4	2階－休憩室	1箇所	AW 5	1階－男子トイレ　仲買人控室1 2階－男子トイレ　漁協事務室（1）	4箇所	AW 6	1階－通路	1箇所	AW 7	2階－廊下	1箇所
			1階	箇所	2階	1階	箇所	2階	1階	箇所	2階	1階	箇所	2階	1階	2箇所	2階	1階	1箇所	2階	1階	箇所	2階
形状・寸法					3箇所			1箇所			1箇所			1箇所			2箇所			1箇所			1箇所
型　式			アルミ製引違い窓＋ 段窓外倒し＋FIX連窓＋段層FIX			アルミ製　引違い窓＋段窓外倒し＋FIX2連段窓			アルミ製　引違い窓＋段窓外倒し2連＋FIX			アルミ製　引違い窓＋段窓外倒し2連＋FIX			アルミ製　引違い窓＋FIX＋引違い窓			アルミ製　引違い窓＋外倒し窓			アルミ製　引違い窓＋外倒し窓		
仕　上			カラー　B－1　酸化被膜9μ＋クリア12μ			カラー　B－1　酸化被膜9μ＋クリア12μ			カラー　B－1　酸化被膜9μ＋クリア12μ			カラー　B－1　酸化被膜9μ＋クリア12μ			カラー　B－1　酸化被膜9μ＋クリア12μ			カラー　B－1　酸化被膜9μ＋クリア12μ			カラー　B－1　酸化被膜9μ＋クリア12μ		
見　込			枠　70　mm	扉　－		枠　70　mm	扉　－		枠　70　mm	扉　－		枠　70　mm	扉　－		枠　70　mm	扉　－		枠　70　mm	扉　－		枠　70　mm	扉　－	
ガ ラ ス			種別　網入り透明ガラス	厚さ　6.8		種別　網入り透明ガラス	厚さ　6.8		種別　フロートガラス	厚さ　5		種別　フロートガラス	厚さ　5		種別　網入り透明ガラス	厚さ　6.8		種別　フロートガラス	厚さ　5.0		種別　フロートガラス	厚さ　5	
付属金物			施錠　クレセント			施錠　クレセント			施錠　クレセント			施錠　－			施錠　クレセント			施錠　クレセント			施錠　クレセント		
			⊙水切 ⊙アルミ額縁	⊙オペレーター装置		⊙水切 ⊙アルミ額縁	⊙オペレーター装置		⊙水切 ⊙アルミ額縁	⊙オペレーター装置		⊙水切 ⊙アルミ額縁	⊙オペレーター装置		⊙水切 ⊙アルミ額縁			⊙水切 ⊙アルミ額縁	⊙オペレーター装置		⊙水切 ⊙アルミ額縁	⊙オペレーター装置	
			⊙網戸			⊙網戸			⊙網戸						⊙網戸			⊙網戸			⊙網戸		
			⊙付属金物一式			⊙付属金物一式			⊙付属金物一式			⊙付属金物一式			⊙付属金物一式			⊙付属金物一式			⊙付属金物一式		
備　考																							

記号	場所	数量	AW 8	2階－倉庫　資料倉庫	2箇所				AD 1	1階－荷さばき所	1箇所	AD 2	1階－消火ポンプ室	1箇所	AD 3	1階－ 仲買人控室1	1箇所	AD 4	2階－漁協事務室（1）	1箇所	AD 5	2階－廊下	1箇所
			1階	箇所	2階				1階	1箇所	2階	1階	1箇所	2階	1階	1箇所	2階	1階	箇所	2階	1階	箇所	2階
形状・寸法																							
型　式			アルミ製引違い窓＋ 段窓外倒し＋FIX連窓＋段層FIX						片開きアルミ製　フラッシュドア　（額付）			親子開きアルミ製　フラッシュドア　（ガラリ付）			親子開きアルミ製　フラッシュドア　＋ガラリ戸			片開きアルミ製　カマチドア			引き違いアルミ製　掃き出し窓		
仕　上			カラー　B－1　酸化被膜9μ＋クリア12μ																				
見　込			枠　70　mm	扉　－					枠　100 mm	扉　40		枠　100 mm	扉　40		枠　100 mm	扉　40		枠　100 mm	扉　40		枠　70 mm	扉　－	
ガ ラ ス			種別　フロートガラス	厚さ　5.0					種別　網入り型板ガラス	厚さ　6.8		種別	厚さ		種別　型板ガラス	厚さ　4.0		種別　フロートガラス	厚さ　5.0		種別　フロートガラス	厚さ　5.0	
付属金物			施錠　クレセント						施錠　ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠、　レバーハンドル			施錠　ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠、　レバーハンドル			施錠　ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠、　レバーハンドル			施錠　ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠、　レバーハンドル			施錠　クレセント		
			⊙水切 ⊙アルミ額縁	⊙オペレーター装置					⊙丁番 ⊙アチェック・水切　・フランス落し			⊙丁番 ⊙アチェック　⊙フランス落し			⊙丁番 ⊙アチェック　⊙フランス落し			⊙丁番 ⊙ドアチェック　・フランス落し			⊙丁番 ⊙ドアチェック　・フランス落し		
			⊙網戸						⊙沓摺（01 － SUS製）			⊙沓摺（01 － SUS製）			⊙沓摺（01 － SUS製）			⊙沓摺（01 － SUS製）			⊙沓摺（01 － SUS製）		
			⊙付属金物一式						⊙付属金物一式			⊙付属金物一式			⊙付属金物一式			⊙付属金物一式			⊙付属金物一式		
備　考																							

記号	場所	数量				STD 1	1階－荷さばき所、ポンプ室	3箇所				WD 1	2階－漁協事務室（2）	2箇所	WD 2	2階－ 集会室　倉庫　資料倉庫	4箇所	WD 3	2階－ 湯沸室 1階－ 湯沸室	3箇所			
						1階	3箇所	2階	箇所			1階	箇所	2階	2箇所	1階	箇所	2階	4箇所	1階	1箇所	2階	2箇所
形状・寸法						 防火設備（告示1360号）																	
型　式						ステンレス製両開き　フラッシュドア						親子開きベニヤ　フラッシュドア			親子開きベニヤ　フラッシュドア　（ガラリ付）			片開きベニヤ　フラッシュドア　（ガラリ付）					
仕　上												ポリエステル合板			ポリエステル合板			ポリエステル合板					
見　込						70　mm	扉　40　mm					枠　110 mm	扉　40		枠　110 mm	扉　40		枠　110 mm	扉　40				
ガ ラ ス						種別　－	厚さ　－　mm					種別	厚さ		種別	厚さ		種別	厚さ				
付属金物						施錠　ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠、　ケースハンドル						施錠　ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、　レバーハンドル			施錠　ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、　レバーハンドル			施錠　ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、　レバーハンドル					
						⊙丁番 ⊙アチェック・フランス落し・戸当り						⊙丁番 ⊙アチェック　⊙フランス落し			⊙丁番 ⊙アチェック　⊙フランス落し			⊙丁番 ⊙ドアチェック　・フランス落し					
						⊙沓摺（04 － SUS製）						⊙沓摺（01 － SUS製）			⊙沓摺（01 － SUS製）			⊙沓摺（01 － SUS製）					
						⊙付属金物一式						⊙付属金物一式			⊙付属金物一式			⊙付属金物一式					
備　考																							

特記事項　網戸:　引違窓－可動網戸　とり出し窓、片引き窓－プリッツ網戸　外倒し窓－固定網戸　とする

工 事 名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺 A1：100 A3：200	一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所	訂　正　事　項	DATE	CHECK	図　名	建具表(3)（既設建具）
		確認	東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル 一級建築士事務所　登録（東京都）知事　第44606号 一級建築士登録　第190508号　大村　浩之				図　番	A-038
作 成 日	2024.2.26							

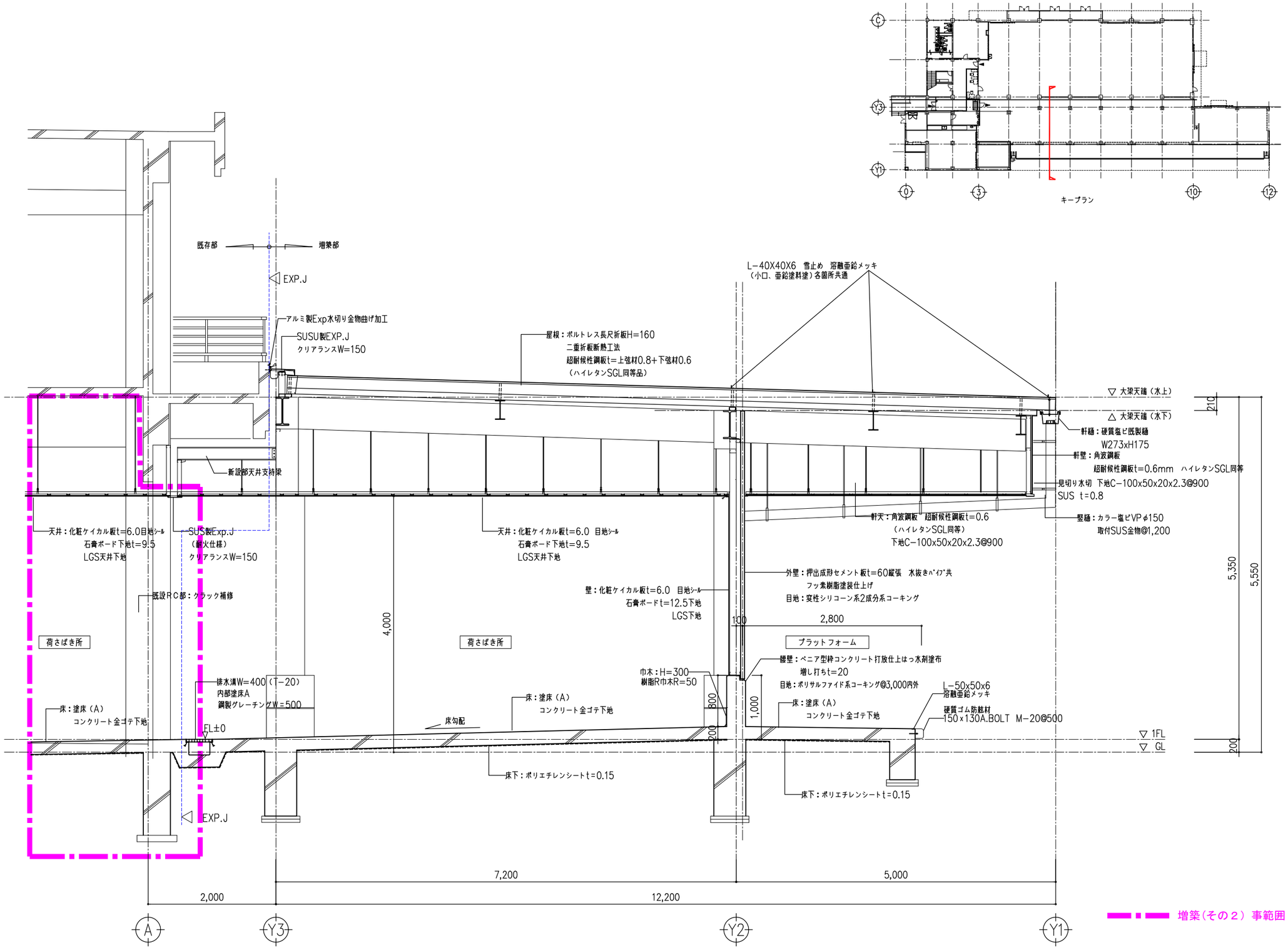
記号	場所	数量	F 1	2階－休憩室	1箇所	F 2	2階－休憩室	1箇所	F 3	2階－休憩室	1箇所	F 4	2階－休憩室	1箇所				S 1	2階－休憩室	2箇所	S 2	2階－休憩室	1箇所
			1階	箇所	2階 1箇所	1階	箇所	2階 1箇所	1階	箇所	2階 1箇所	1階	箇所	2階 1箇所				1階	箇所	2階 2箇所	1階	箇所	2階 1箇所
形状・寸法																							
型　式			引違い両面フスマ			ランマ付4枚引違い両面フスマ			引違い両面フスマ			引違い両面フスマ						ランマ付4枚引違い障子戸			引違い障子戸		
仕　上			両面フスマ（鳥ノ紙）			両面フスマ（鳥ノ紙）			両面フスマ（鳥ノ紙）			片面フスマ（鳥ノ紙）						和紙			和紙		
見　込			枠 mm	扉		枠 mm	扉		枠 mm	扉		枠 mm	扉					フロート　透明 t＝3.0					
材　質			杉	厚さ		杉	厚さ		杉	厚さ		杉	厚さ					杉			杉		
付属金物			施錠			施錠			施錠			施錠						引手			引手		
			⊙掛り手			⊙掛り手			⊙掛り手			⊙掛り手											
			⊙付属金物一式			⊙付属金物一式			⊙付属金物一式			⊙付属金物一式											
備　考																							

記号	場所	数量																					
形状・寸法																							
型　式																							
仕　上																							
ガ ラ ス																							
材　質																							
付属金物																							
備　考																							

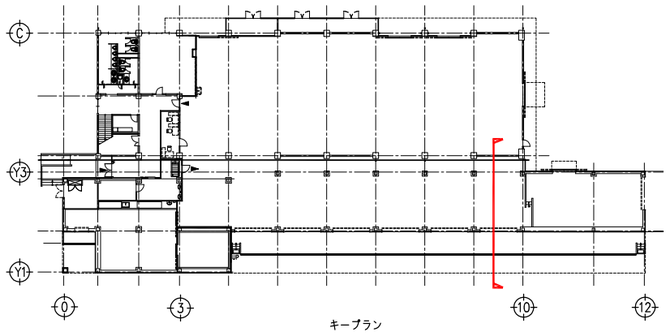
記号	場所	数量																					
形状・寸法																							
型　式																							
仕　上																							
見　込																							
ガ ラ ス																							
付属金物																							
備　考																							

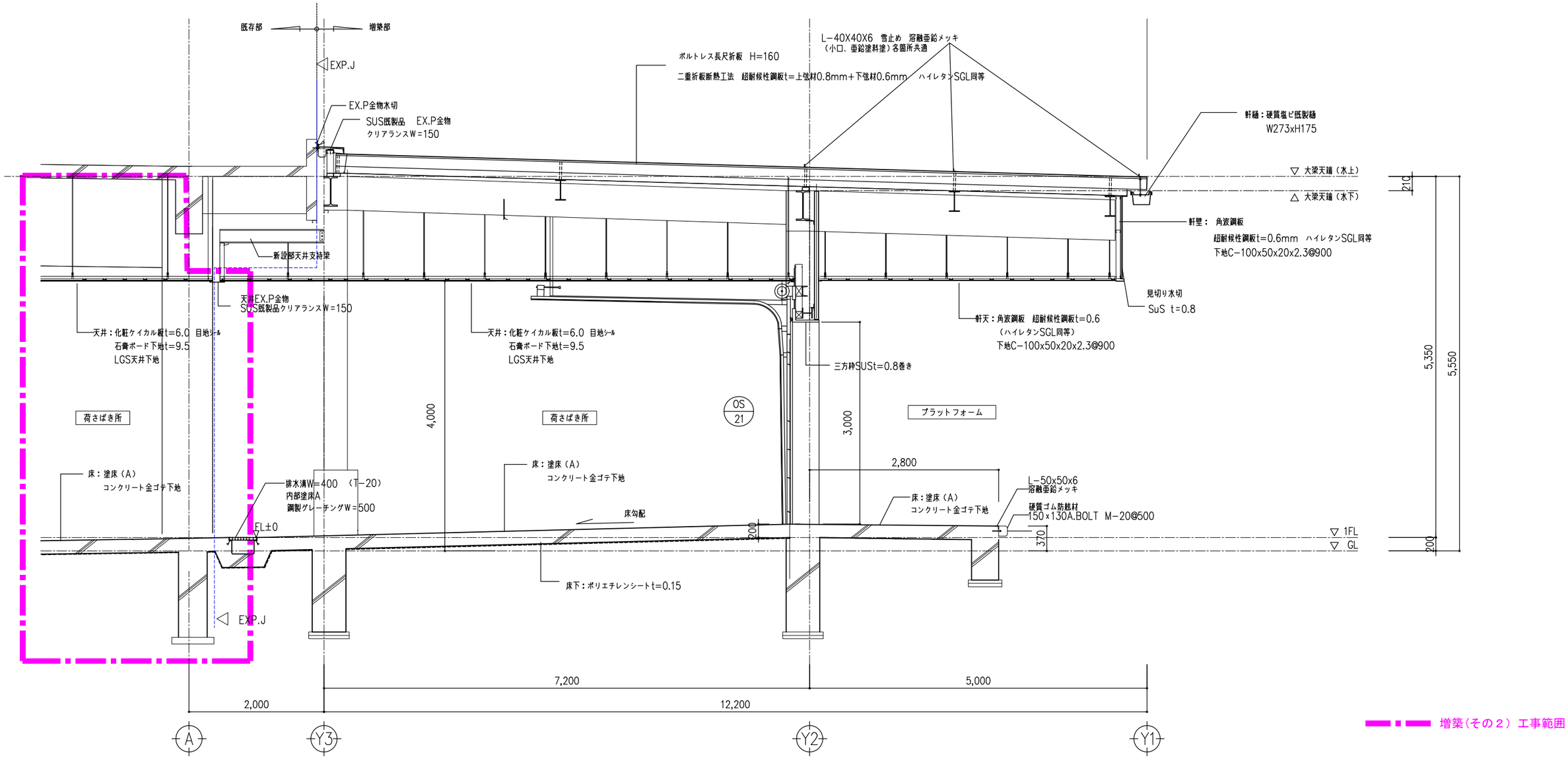
特記事項　網戸:　引違窓－可動網戸　とり出し窓、片引き窓－プリッツ網戸　外倒し窓－固定網戸　とする

工 事 名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築(その２) 工事	縮尺		一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所	訂　正　事　項	DATE	CHECK	図　名	建具表(4)（既設建具）
		A1：100 A3：200		東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル					
		確認		一級建築士事務所　登録(東京都)知事　第44606号				図　番	A-039
作 成 日	2024.2.26			一級建築士登録　第190508号　大村　浩之					

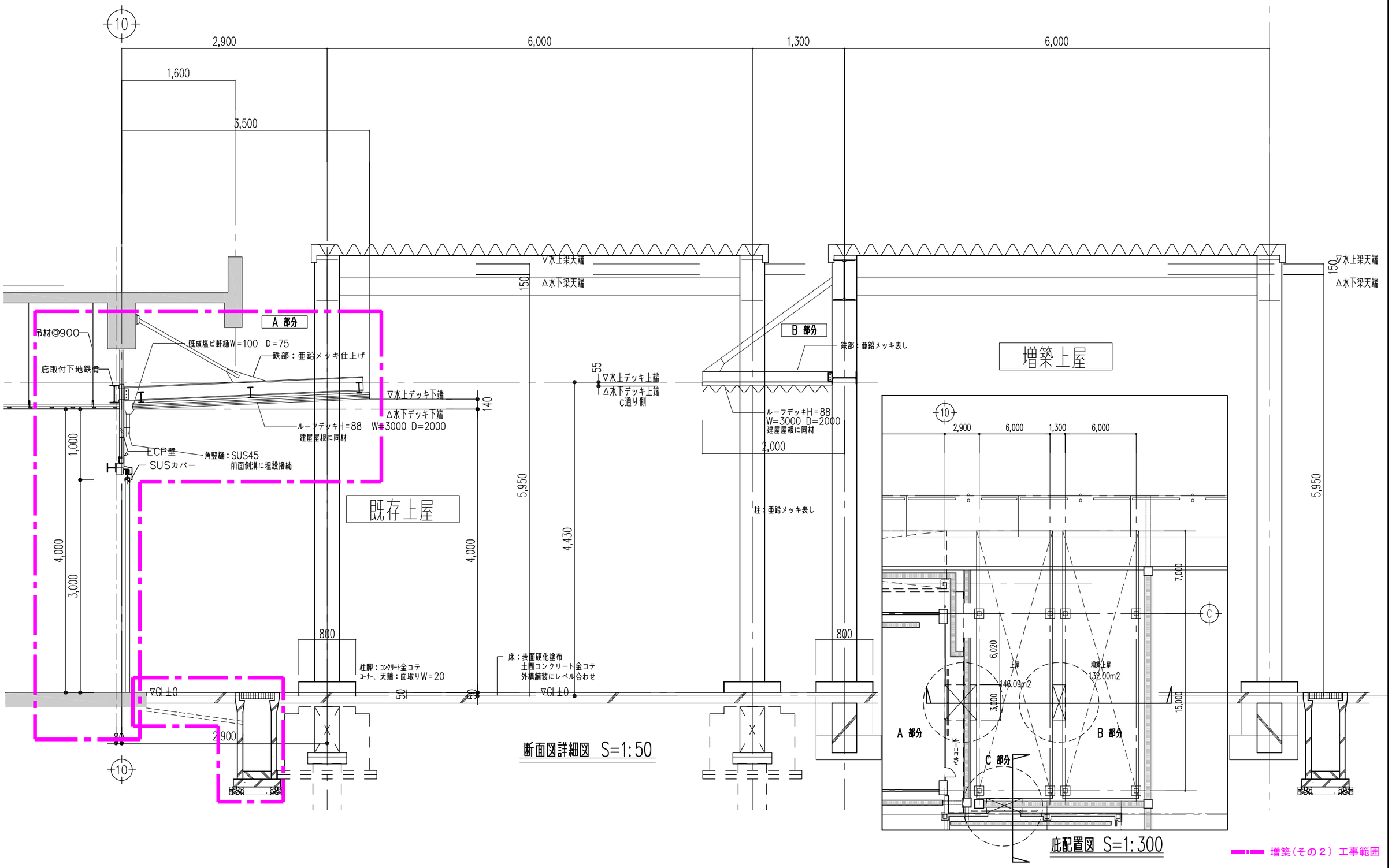


工事名	とやま市漁業協同組合 岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺 A1： 30 A3： 60			一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所 東京都千代田区岩本町3-4-6 トナカイタワーズビル 一級建築士事務所 登録（東京都）知事 第44606号 一級建築士登録 第190508号 大村 浩之	訂 正 事 項	DATE	CHECK	図 名	矩計図（1）
作成日	2024.2.26	確認							図 番	A-040

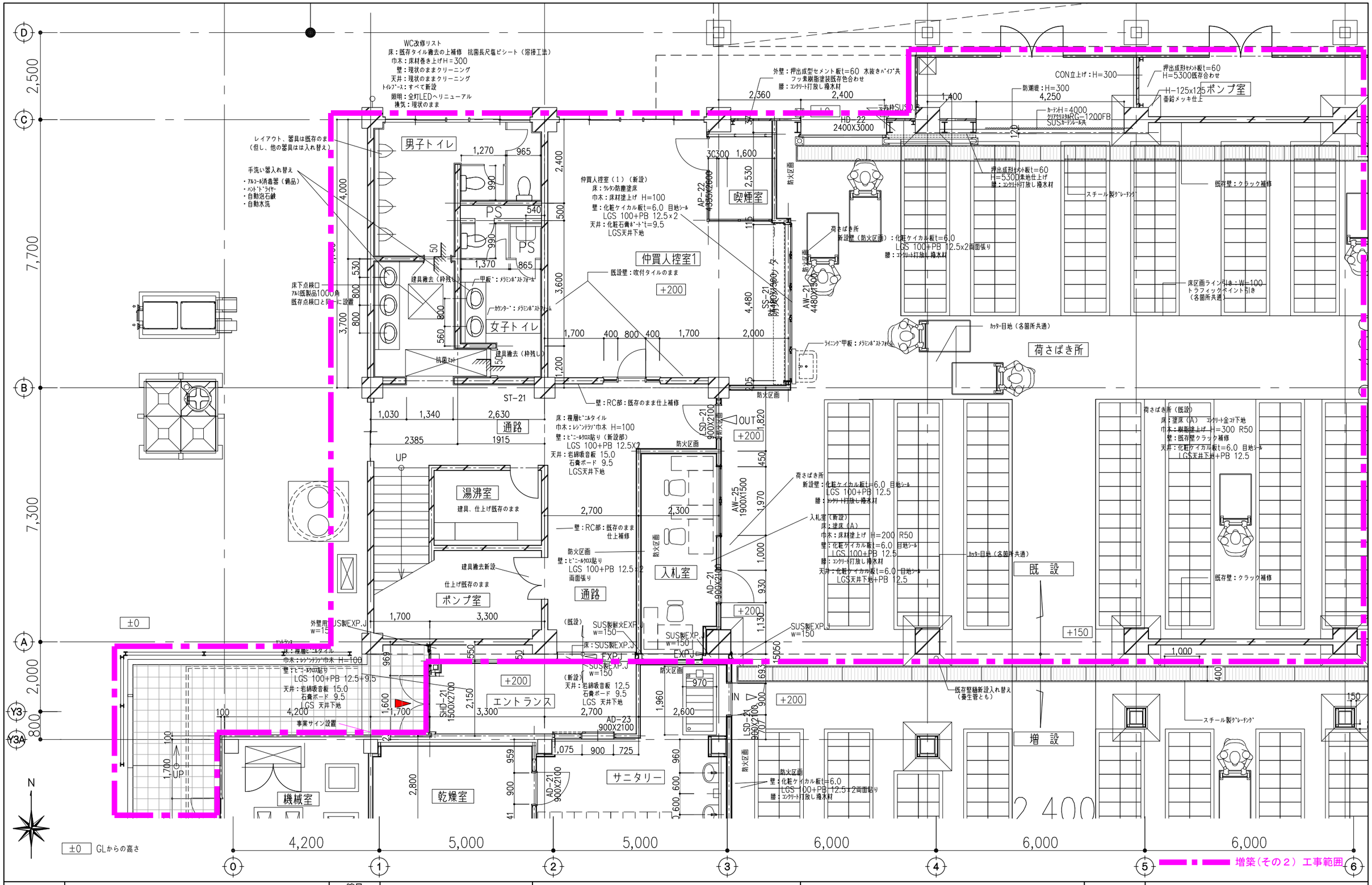




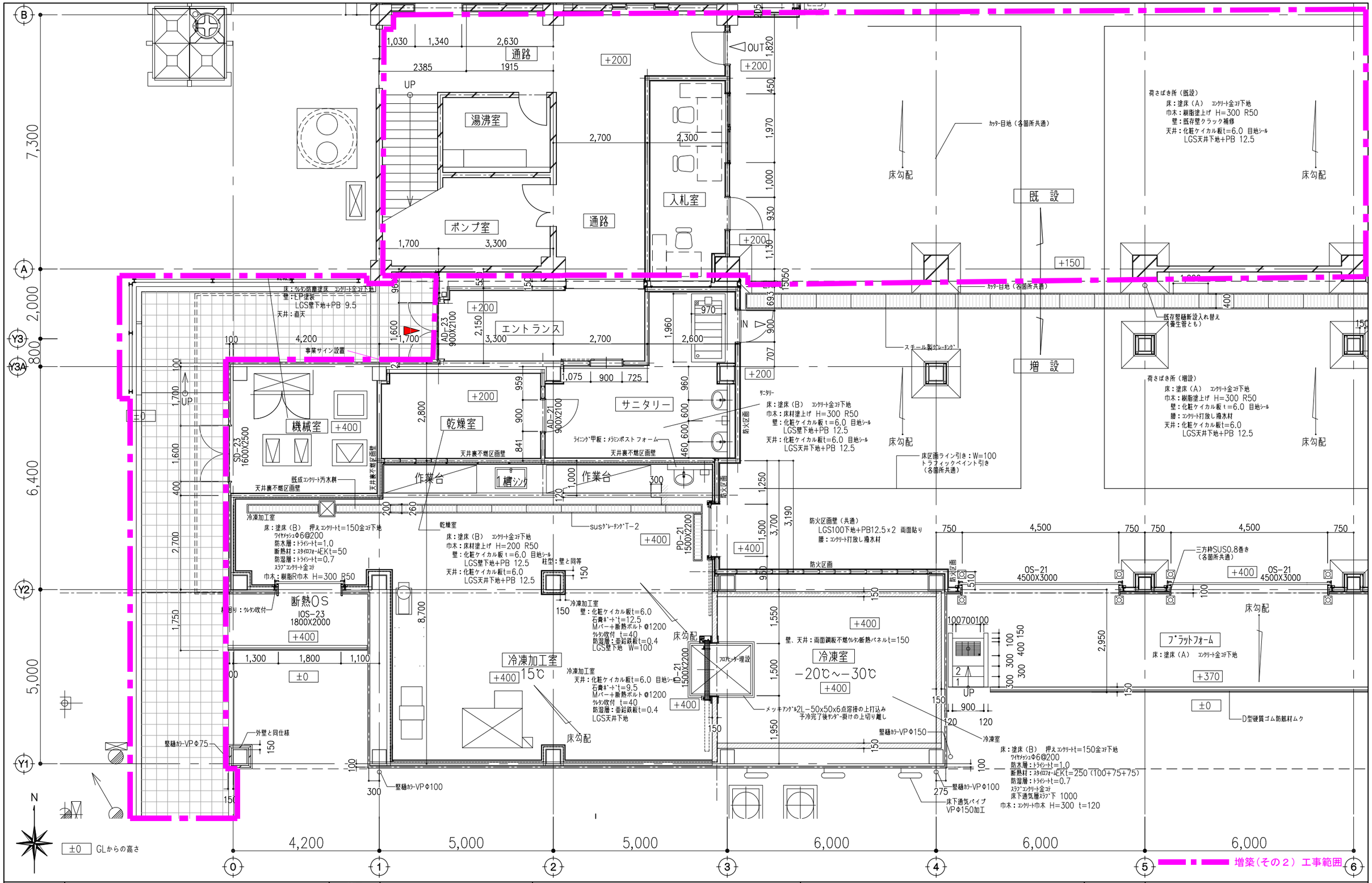
工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺 A1：30 A3：60	一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所 東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル 一級建築士事務所　登録（東京都）知事　第44606号 一級建築士登録　第190508号　大村　浩之	訂　正　事　項	DATE	CHECK	図　名	矩計図（2）
作成日	2024.2.26	確認					図　番	A-041



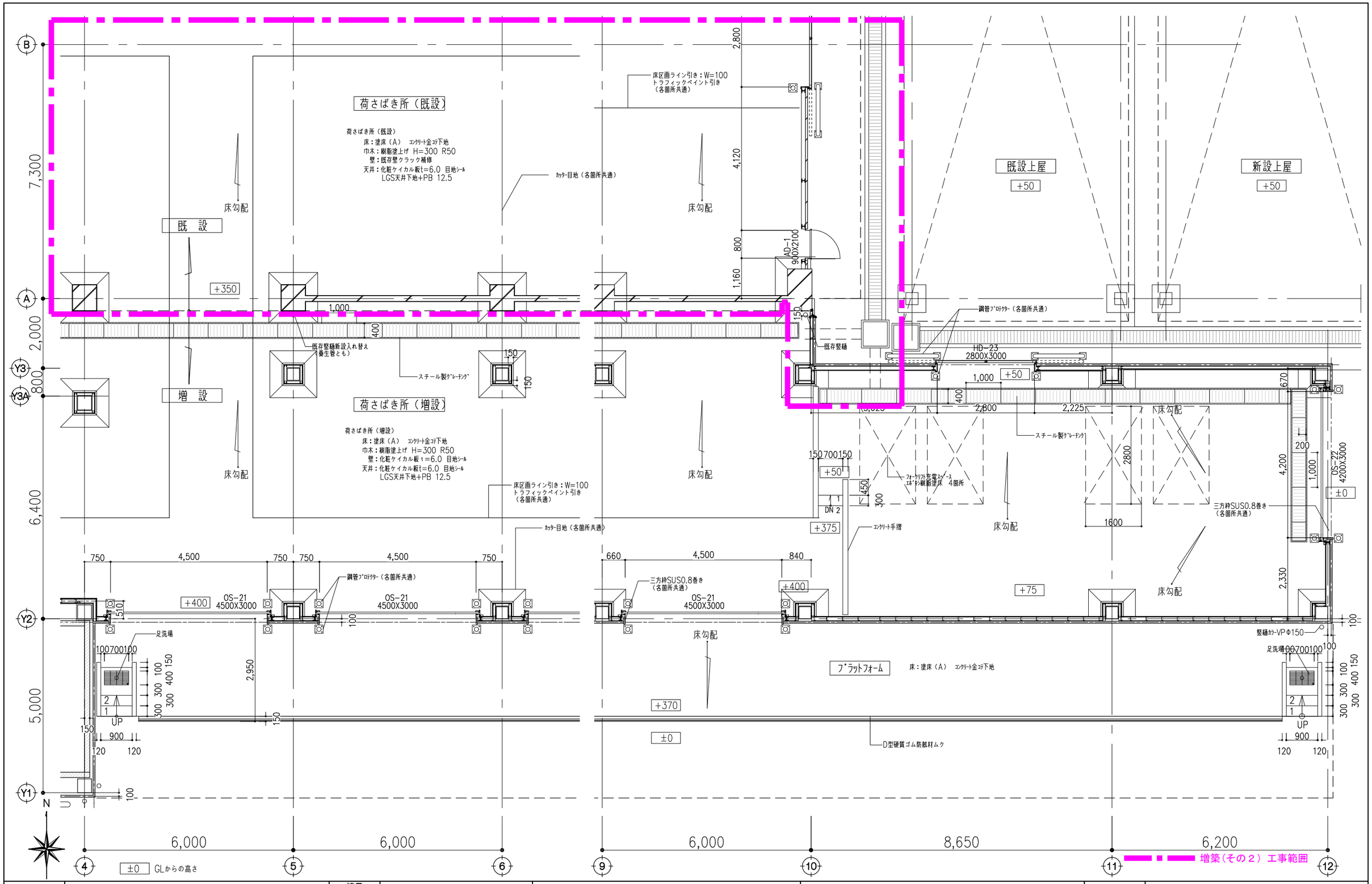
工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺 A1：25 A3：50		一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所	訂正事項	DATE	CHECK	図名	増築上屋_庇部分詳細図（1）
		確認		東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル 一級建築士事務所　登録（東京都）知事　第44606号 一級建築士登録　第190508号　大村　浩之				図番	A-045
作成日	2024.2.26								



工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺 A1：50 A3：100	一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所	訂正事項	DATE	CHECK	図名	1階平面詳細図（１）
		確認	東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル 一級建築士事務所　登録（東京都）知事　第44606号 一級建築士登録　第190508号　大村　浩之				図番	A-047
作成日	2024.2.26							



工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺 A1：50 A3：100	一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所 東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル 一級建築士事務所　登録（東京都）知事　第44606号 一級建築士登録　第190508号　大村　浩之	訂正事項	DATE	CHECK	図名	1階平面詳細図（2）
作成日	2024.2.26	確認					図番	A-048



工事名	とやま市漁業協同組合　岩瀬地方卸売市場 増築（その２）工事	縮尺 A1：50 A3：100	一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所 東京都千代田区岩本町3-4-6　トナカイタワーズビル 一級建築士事務所　登録（東京都）知事　第44606号 一級建築士登録　第190508号　大村　浩之	訂　正　事　項	DATE	CHECK	図　名	1階平面詳細図（3）
作成日	2024.2.26	確認					図　番	A-049